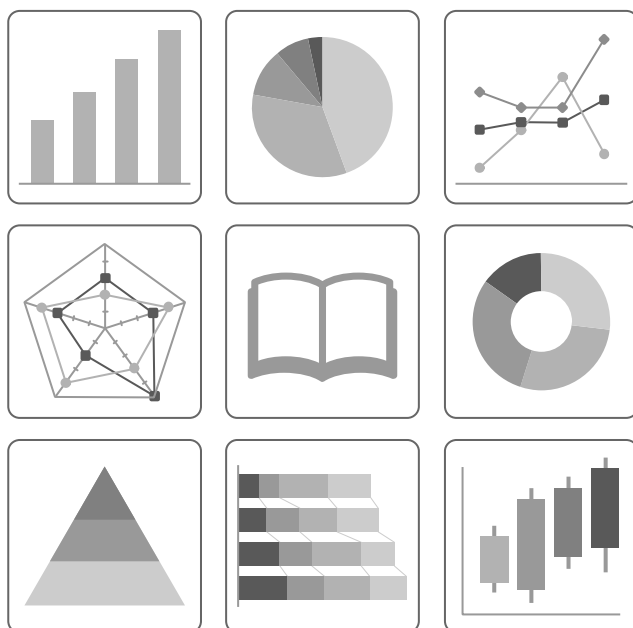


小矢部市 子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査 調査結果報告書



平成 31 年 3 月

小 矢 部 市

目 次

調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査対象	1
3 調査期間	1
4 調査方法	1
5 回収状況	1
6 調査結果の表示方法	1
調査結果	2
1 就学前児童保護者調査	2
(1) お住まいの地域について	2
(2) お子さんご家族の状況について	3
(3) お子さんの育ちをめぐる環境について	5
(4) お子さんの保護者の就労状況について	9
(5) お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	16
(6) お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について	25
(7) お子さんの土曜と日曜日・休日の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	34
(8) お子さんの病気の際の対応について	35
(9) お子さんの不定期の教育・保育事業や一時預かり等の利用について	43
(10) 小学校就学後の放課後の過ごし方について	50
(11) 育児休業や短時間勤務制度等、職場の両立支援制度について	56
(12) 地域の子育て支援事業全般について	65
2 小学1～4年生保護者調査	67
(1) お住まいの地域について	67
(2) お子さんご家族の状況について	67
(3) お子さんの育ちをめぐる環境について	69
(4) お子さんの保護者の就労状況について	73
(5) お子さんの平日・土曜日の「定期的な保育事業」の利用状況について	81
(6) お子さんの放課後児童クラブ(学童保育)の利用希望について	86
(7) お子さんの「不定期」な保育事業や一時預かり等の利用について	91
(8) お子さんの「不定期」な子育て支援事業の利用状況について	98
(9) お子さんの病気やケガの際の対応について	103
(10) 地域の子育て支援事業全般について	108

調査の概要

1 調査の目的

小矢部市子ども・子育て支援事業計画の策定の基礎資料として、調査を実施するものです。

2 調査対象

小矢部市在住の就学前のお子さんを対象とし、無作為抽出

3 調査期間

平成 30 年 12 月 10 日から平成 30 年 12 月 21 日

4 調査方法


就学前児童保護者 保育所等を通じて配布・回収（一部郵送による配布・回収）

小学生の保護者 小学校を通じて配布・回収

5 回収状況

	配 布 数	有効回答数	有効回答率
就学前児童保護者	1,259 通	996 通	79.1%
小学生 1～4 年生保護者	835 通	759 通	90.9%

6 調査結果の表示方法

- ・ 回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・ 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・ クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・ 調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）

調査結果

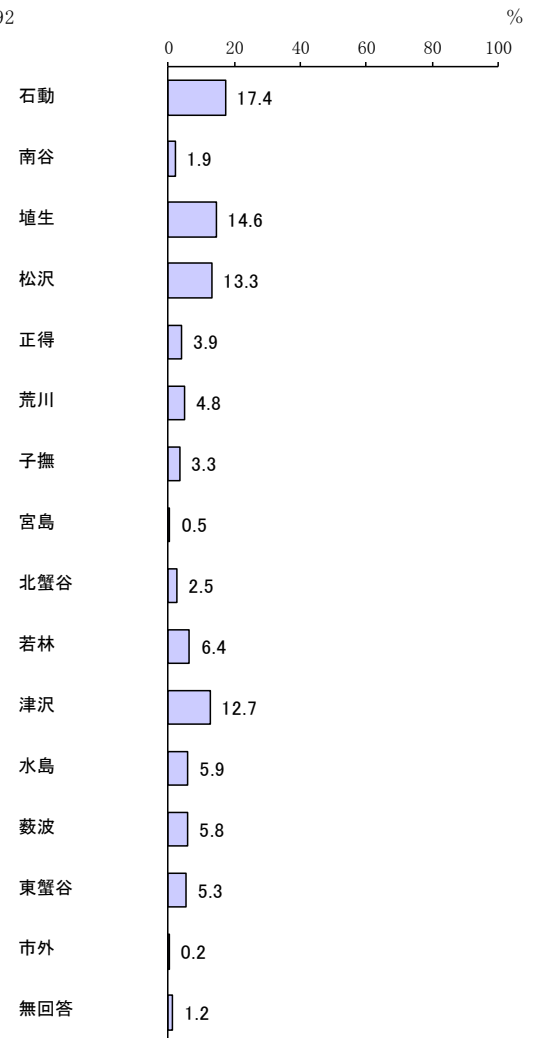
1 就学前児童保護者調査

(1) お住まいの地域について

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに をつけてください。

「石動」の割合が 17.4%と最も高く、次いで「埴生」の割合が 14.6%、「松沢」の割合が 13.3%となっています。

回答者数 = 992

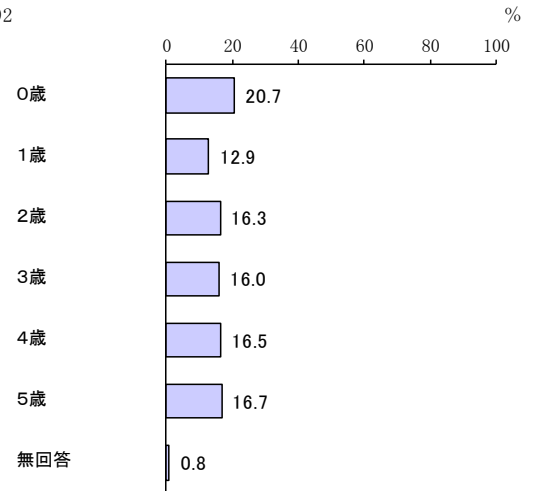


(2) お子さんご家族の状況について

問2 お子さんの生年月をご記入ください。(内に数字でご記入ください。)

「0歳」の割合が20.7%と最も高く、次いで「5歳」の割合が16.7%、「4歳」の割合が16.5%となっています。

回答者数 = 992

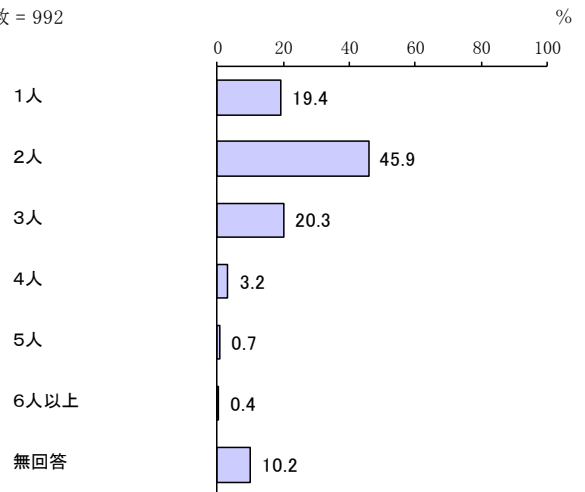


問3 お子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。お子さんを含めた人数を 内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

(ア) きょうだい数

「2人」の割合が45.9%と最も高く、次いで「3人」の割合が20.3%、「1人」の割合が19.4%となっています。

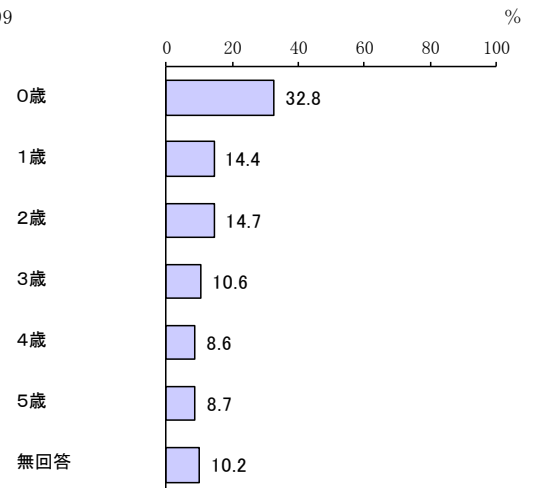
回答者数 = 992



(イ) 末子の年齢

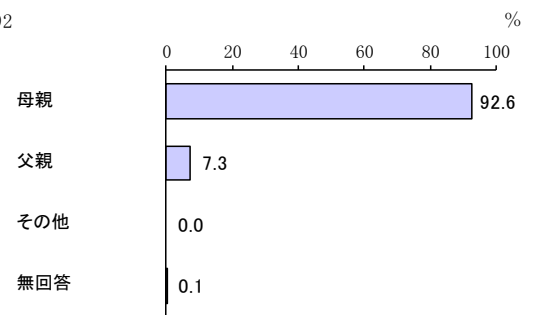
「0歳」の割合が32.8%と最も高く、次いで「2歳」の割合が14.7%、「1歳」の割合が14.4%となっています。

回答者数 = 699



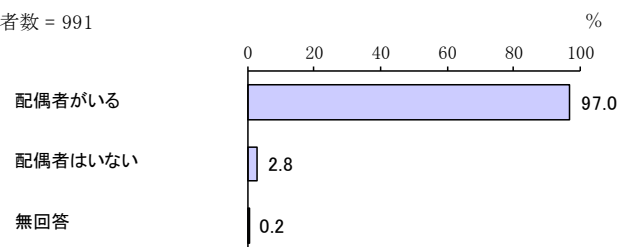
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに をつけてください。

「母親」の割合が 92.6%、「父親」の割合が 7.3%となっています。 回答者数 = 992



問5 問4で、「1.母親」又は「2.父親」に○をつけた方にうかがいます。この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに をつけてください。

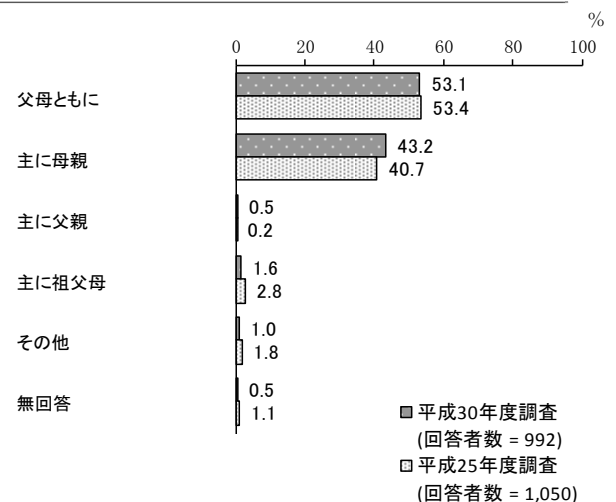
「配偶者がいる」の割合が 97.0%、「配偶者はいない」の割合が 2.8%となっています。 回答者数 = 991



問6 お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに をつけてください。

「父母ともに」の割合が 53.1%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が 43.2%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

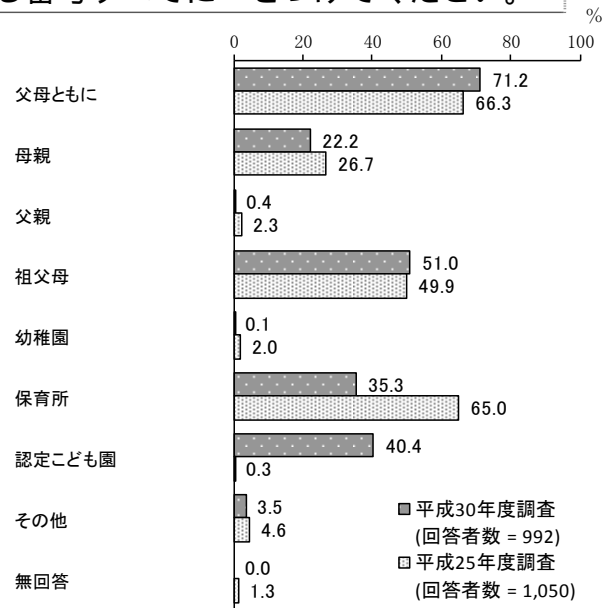


(3) お子さんの育ちをめぐる環境について

問7 お子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(子育て施設)ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに をつけてください。

「父母ともに」の割合が 71.2%と最も高く、次いで「祖父母」の割合が 51.0%、「認定こども園」の割合が 40.4%となっています。

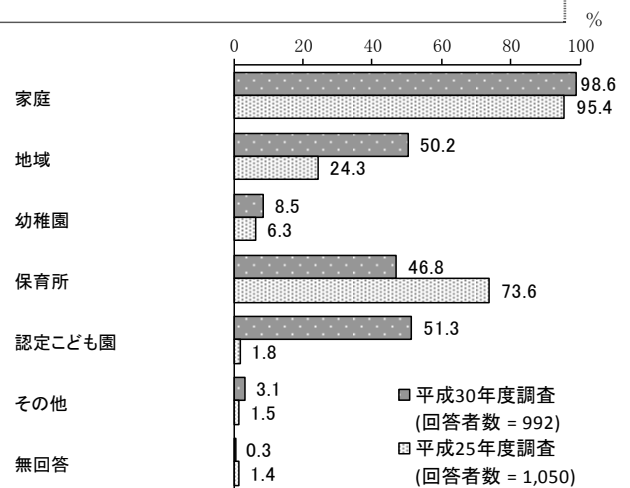
平成 25 年度調査と比較すると、「認定こども園」の割合が増加しています。一方、「保育所」の割合が減少しています。



問8 お子さんの子育て(教育を含む)に、影響すると思われる環境すべてに をつけてください。

「家庭」の割合が 98.6%と最も高く、次いで「認定こども園」の割合が 51.3%、「地域」の割合が 50.2%となっています。

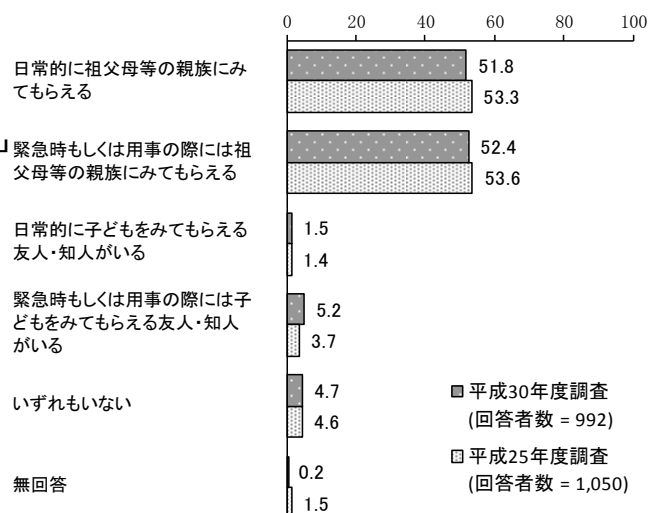
平成 25 年度調査と比較すると、「地域」「認定こども園」の割合が増加しています。一方、「保育所」の割合が減少しています。



問9 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに をつけてください。

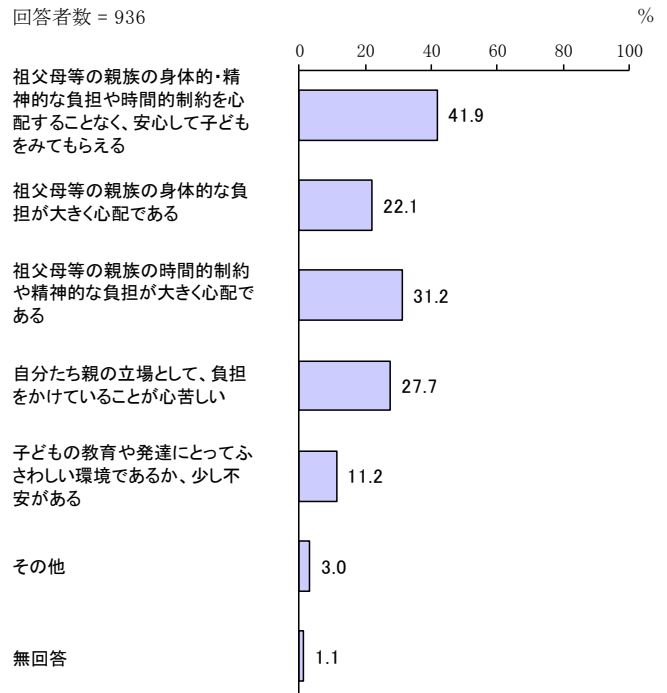
「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 52.4%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 51.8%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



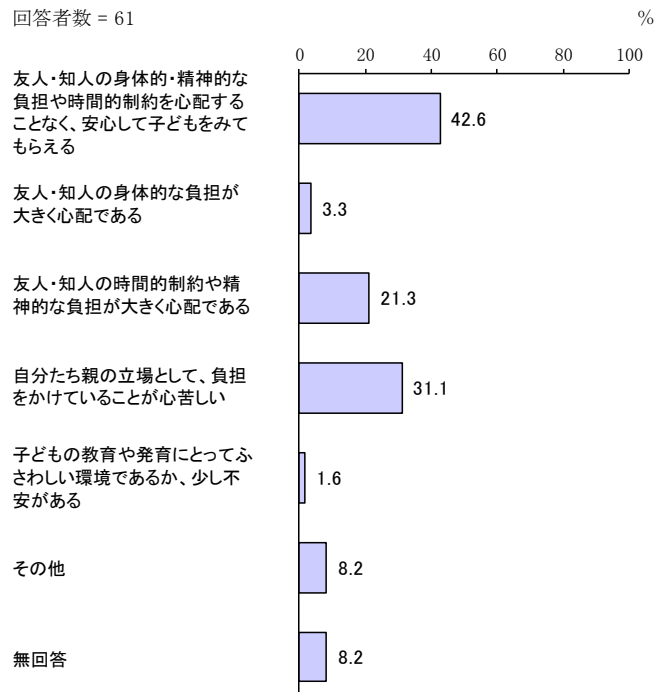
問9-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに をつけてください。

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が41.9%と最も高く、次いで「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が31.2%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が27.7%となっています。



問9-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに をつけてください。

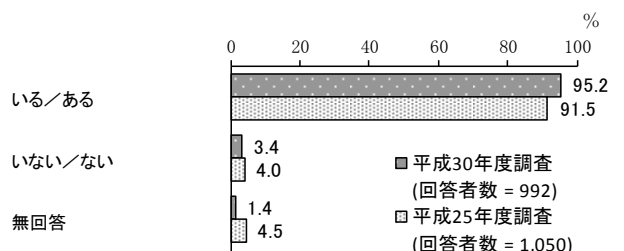
「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が42.6%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が31.1%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が21.3%となっています。



問10 お子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに をつけてください。

「いる/ある」の割合が95.2%、「いない/ない」の割合が3.4%となっています。

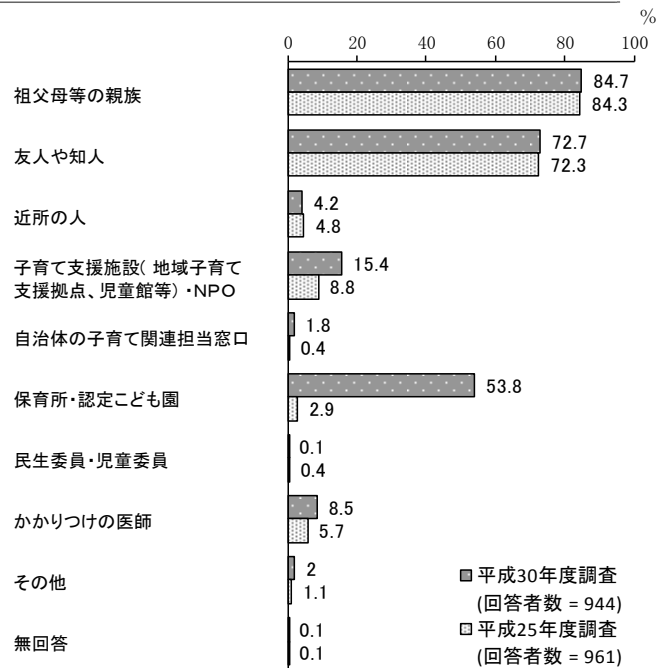
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 10-1 お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(施設)ですか。当てはまる番号すべてに をつけてください。

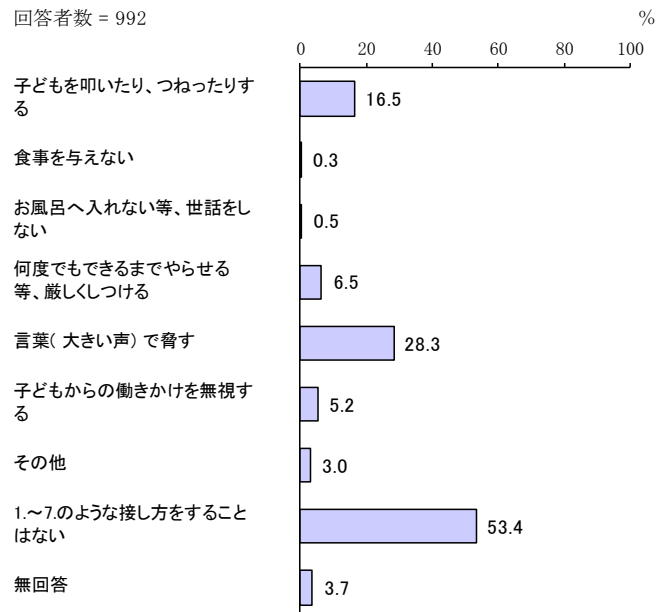
「祖父母等の親族」の割合が 84.7%と最も高く、次いで「友人や知人」の割合が 72.7%、「保育所・認定こども園」の割合が 53.8%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「子育て支援施設(地域子育て支援拠点、児童館等)・NPO」「保育所・認定こども園」の割合が増加しています。



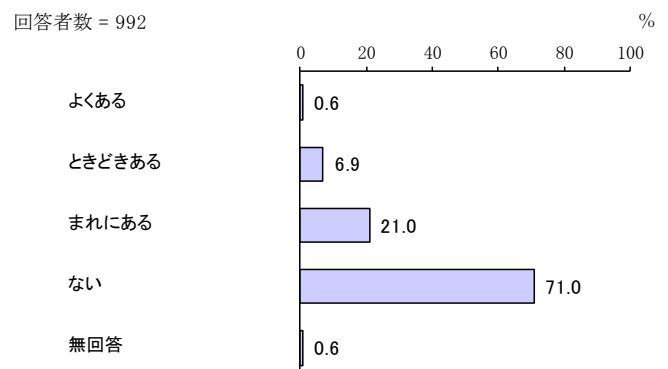
問 12 お子さんへの接し方について、自分が当てはまると思う番号すべてに をつけてください。

「1.~7.のような接し方をする事はない」の割合が 53.4%と最も高く、次いで「言葉(大きい声)で脅す」の割合が 28.3%、「子どもを叩いたり、つねったりする」の割合が 16.5%となっています。



問 13 自分は子どもを虐待しているかもしれないと思うときがありますか。当てはまる番号1つに をつけてください。

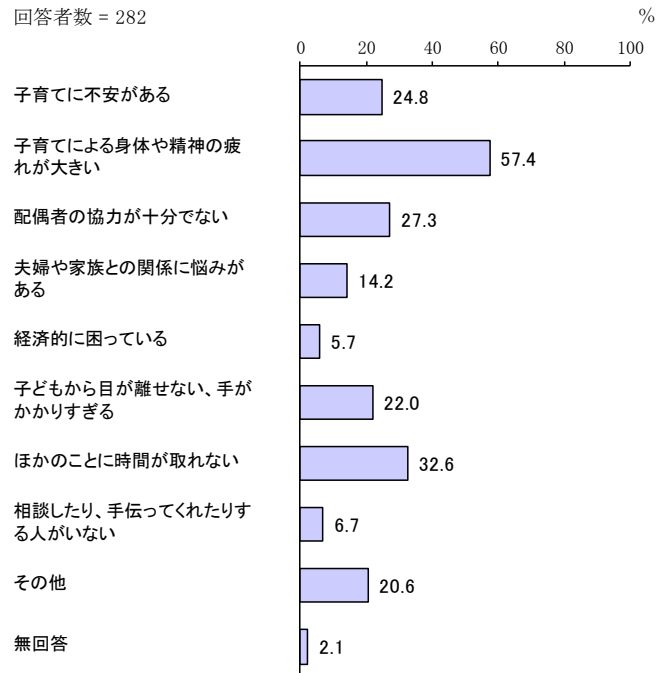
「ない」の割合が 71.0%と最も高く、次いで「まれにある」の割合が 21.0%となっています。



問 13-1 虐待しているかもしれないと思ったとき、ご自分はどのような状況でしたか。
当てはまる番号すべてに をつけてください。

「子育てによる身体や精神の疲れが大きい」の割合が 57.4%と最も高く、次いで「ほかのことに時間が取れない」の割合が 32.6%、「配偶者の協力が十分でない」の割合が 27.3%となっています。

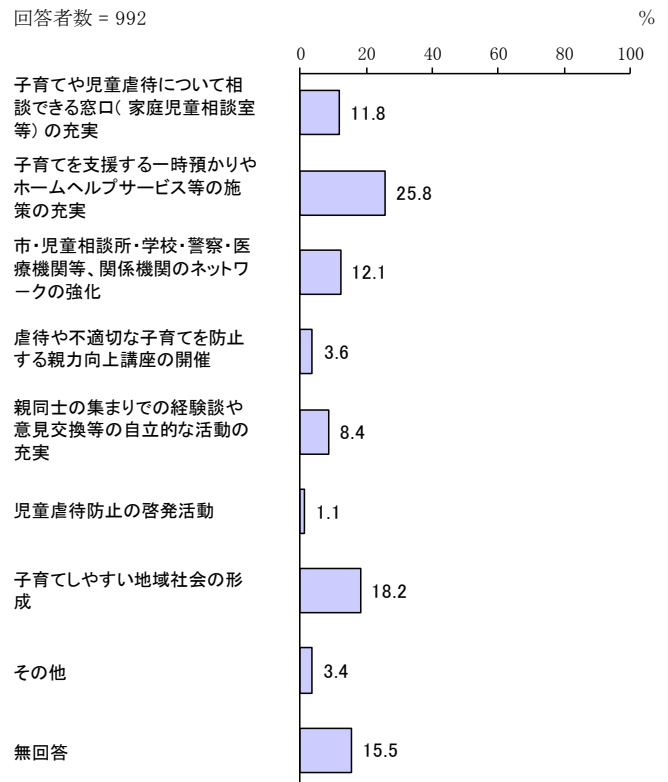
回答者数 = 282



問 14 児童虐待や不適切な子育ての防止について、最も効果的だと思う番号 1 つに をつけてください。

「子育てを支援する一時預かりやホームヘルプサービス等の施策の充実」の割合が 25.8%と最も高く、次いで「子育てしやすい地域社会の形成」の割合が 18.2%、「市・児童相談所・学校・警察・医療機関等、関係機関のネットワークの強化」の割合が 12.1%となっています。

回答者数 = 992



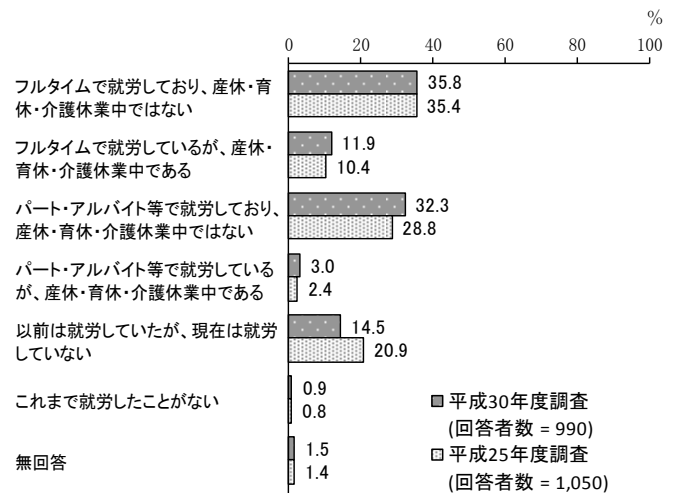
(4) お子さんの保護者の就労状況について

問 15 お子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。

ア 母親

「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が35.8%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が32.3%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が14.5%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が減少しています。

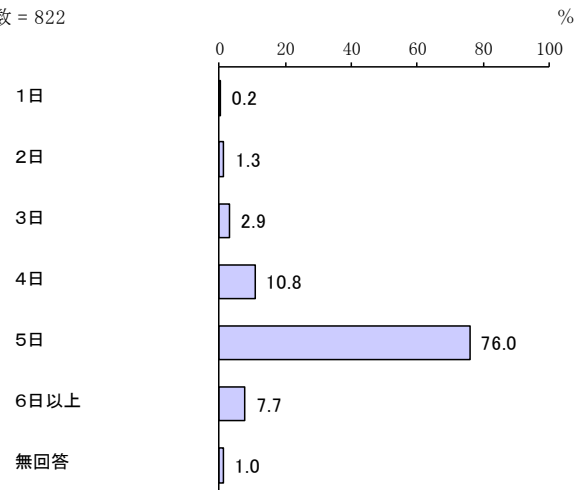


(1)-1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(内に数字でご記入ください。)

(ア) 1週当たりの就労日数

「5日」の割合が76.0%と最も高く、次いで「4日」の割合が10.8%となっています。

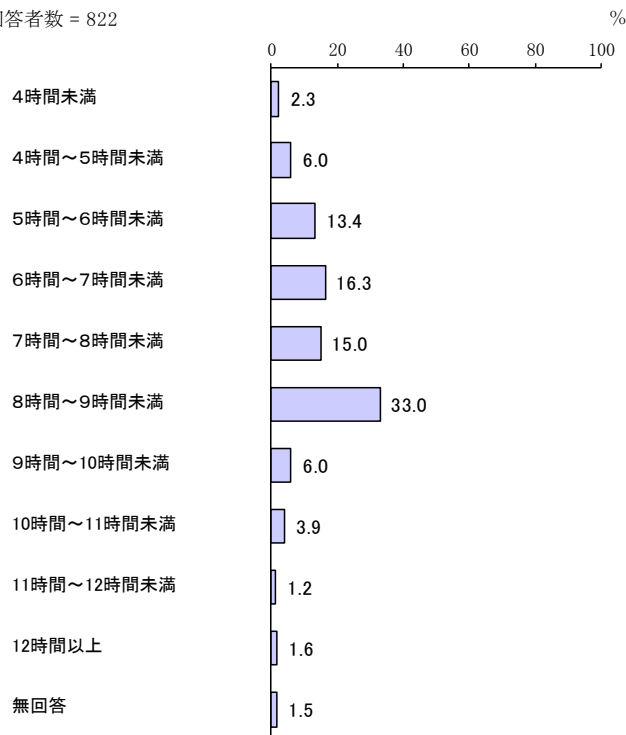
回答者数 = 822



(イ) 1日当たりの就労日数

「8時間～9時間未満」の割合が33.0%と最も高く、次いで「6時間～7時間未満」の割合が16.3%、「7時間～8時間未満」の割合が15.0%となっています。

回答者数 = 822

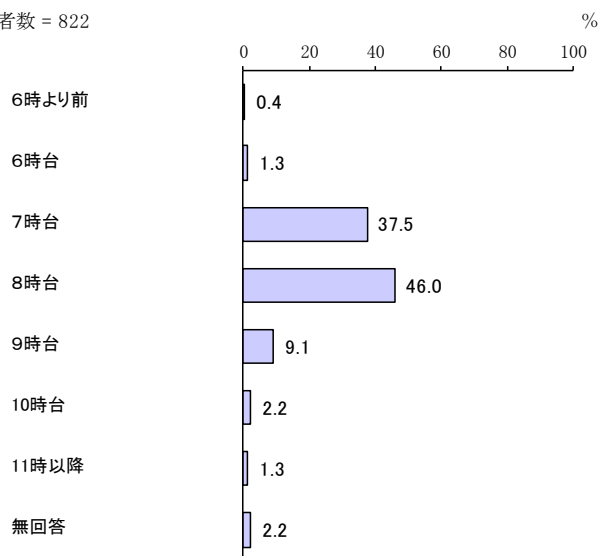


(1)-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、(例) 8時30分、18時00分のように24時間制でお答えください。(内に数字でご記入ください。)

(ア) 家を出る時間

「8時台」の割合が46.0%と最も高く、次いで「7時台」の割合が37.5%となっています。

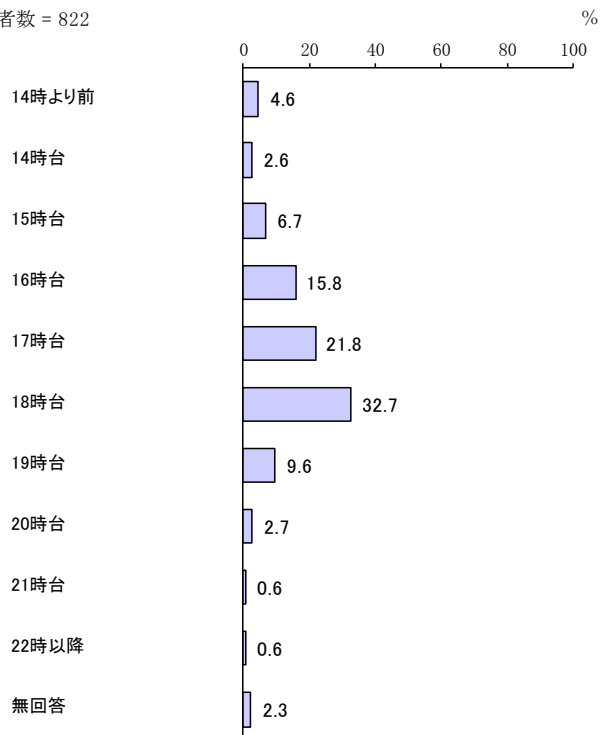
回答者数 = 822



(イ) 帰宅時刻

「18 時台」の割合が 32.7%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 21.8%、「16 時台」の割合が 15.8%となっています。

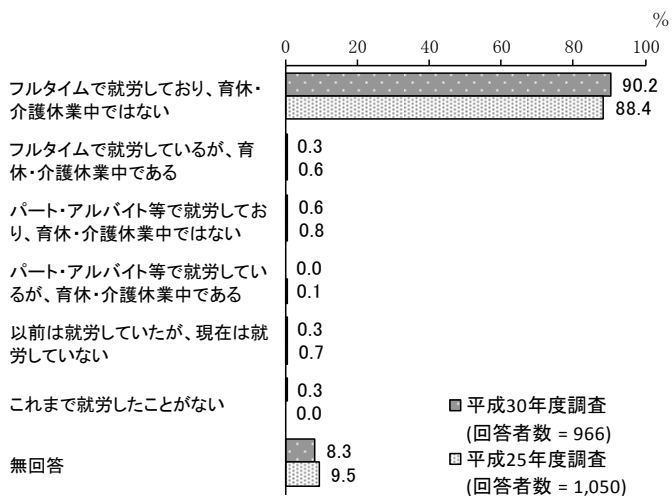
回答者数 = 822



イ 父親

「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が 90.2%と最も高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

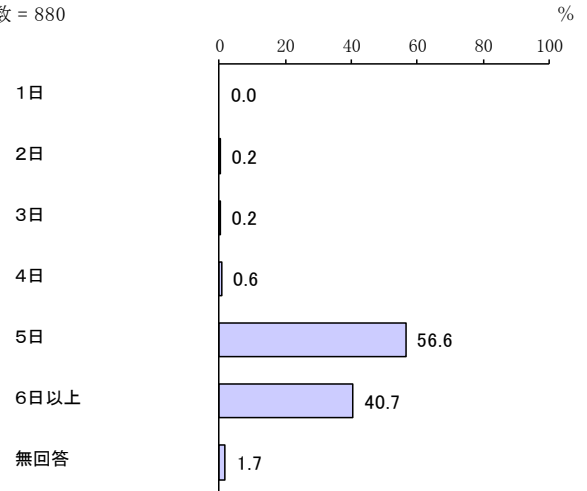


(2)-1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(内に数字でご記入ください。)

(ア) 1週当たりの就労日数

「5日」の割合が56.6%と最も高く、次いで「6日以上」の割合が40.7%となっています。

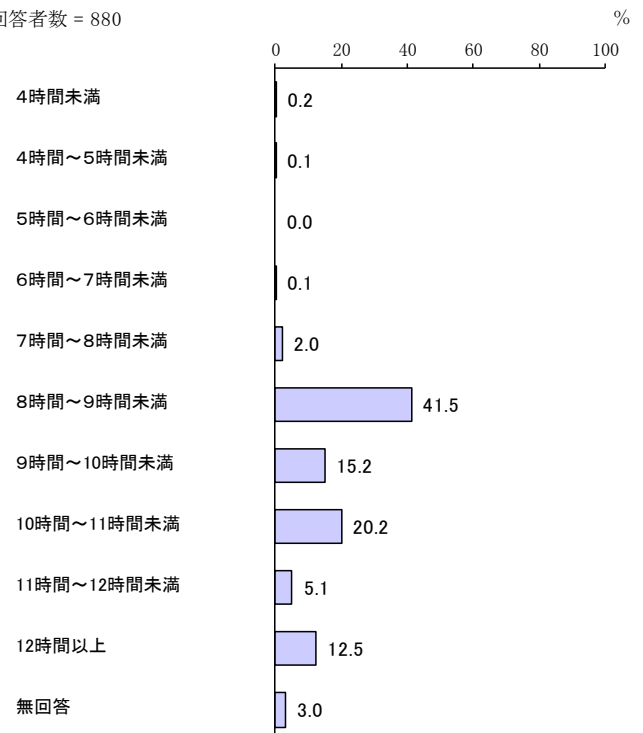
回答者数 = 880



(イ) 1日当たりの就労時間

「8時間～9時間未満」の割合が41.5%と最も高く、次いで「10時間～11時間未満」の割合が20.2%、「9時間～10時間未満」の割合が15.2%となっています。

回答者数 = 880

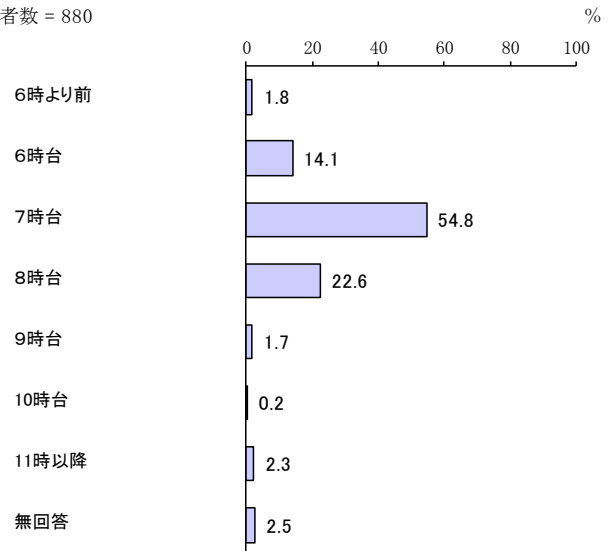


(2)-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、(例) 8時30分、18時00分のように24時間制でお答えください。(内に数字でご記入ください。)

(ア) 家を出る時間

「7時台」の割合が54.8%と最も高く、次いで「8時台」の割合が22.6%、「6時台」の割合が14.1%となっています。

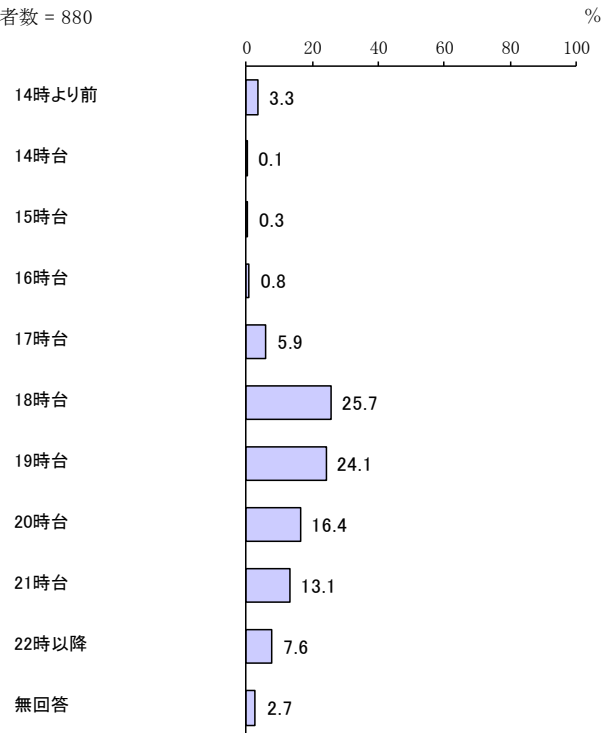
回答者数 = 880



(イ) 帰宅時刻

「18時台」の割合が25.7%と最も高く、次いで「19時台」の割合が24.1%、「20時台」の割合が16.4%となっています。

回答者数 = 880

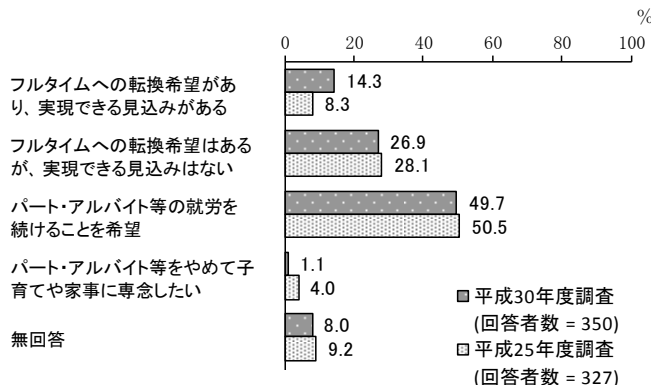


問 16 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに をつけてください。

ア 母親

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が 49.7%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が 26.9%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合が 14.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合が増加しています。



イ 父親

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 4 件となっています。「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 1 件となっています。

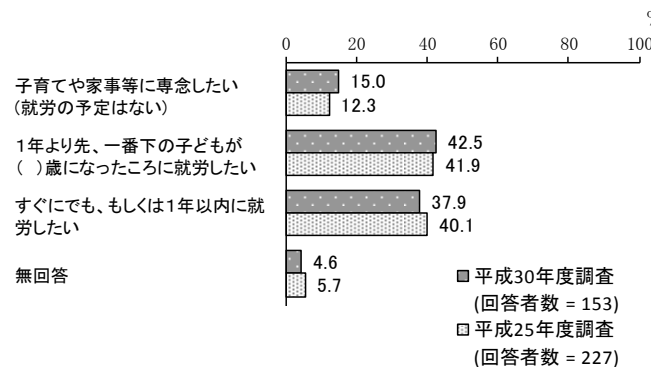
平成 25 年度調査と比較すると、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が増加しています。一方、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合が減少しています。

問 17 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号1つに をつけ、該当する記号には1つに をつけ、該当する 内には数字をご記入ください。

ア 母親

「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」の割合が 42.5%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が 37.9%、「子育てや家事等に専念したい(就労の予定はない)」の割合が 15.0%となっています。

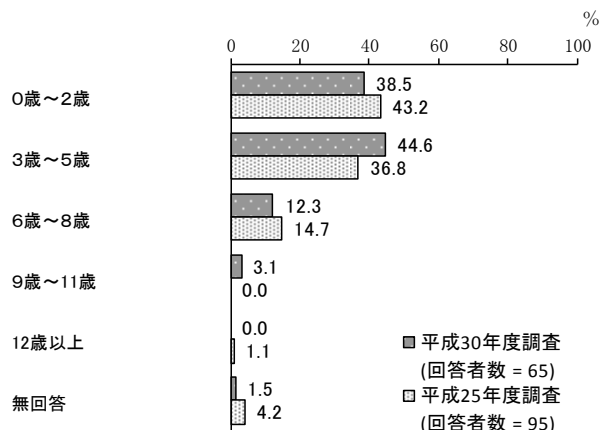
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(ア) 就労希望時の子どもの年齢

「3歳～5歳」の割合が44.6%と最も高く、次いで「0歳～2歳」の割合が38.5%、「6歳～8歳」の割合が12.3%となっています。

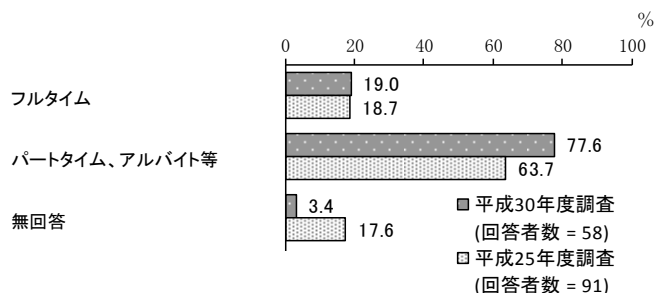
平成25年度調査と比較すると、「3歳～5歳」の割合が増加しています。



(イ) 希望する就労形態

「フルタイム」の割合が19.0%、「パートタイム、アルバイト等」の割合が77.6%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「パートタイム、アルバイト等」の割合が増加しています。

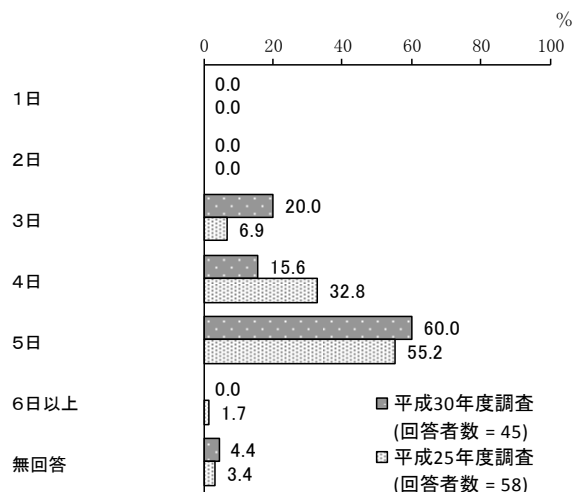


パートタイム、アルバイト等

(ア) 1週当たり希望就労日数

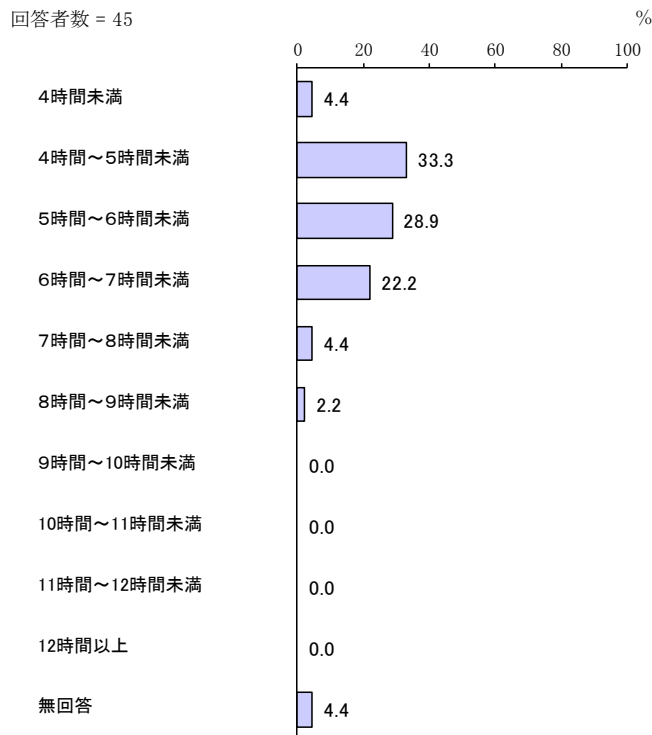
「5日」の割合が60.0%と最も高く、次いで「3日」の割合が20.0%、「4日」の割合が15.6%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「3日」の割合が増加しています。一方、「4日」の割合が減少しています。



(イ) 母親の1日当たり希望就労時間

「4時間～5時間未満」の割合が33.3%と最も高く、次いで「5時間～6時間未満」の割合が28.9%、「6時間～7時間未満」の割合が22.2%となっています。



イ 父親

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が1件となっています。

(ア) 父親の就労希望時の子どもの年齢

有効回答がありませんでした。

(イ) 父親の希望する就労形態

「フルタイム」が1件、「パートタイム、アルバイト等」が0件となっています。

パートタイム、アルバイト等

(ア) 父親の1週当たり希望就労日数

有効回答がありませんでした。

(イ) 父親の1日当たり希望就労時間

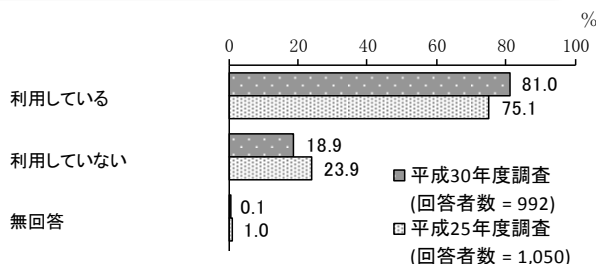
有効回答がありませんでした。

(5) お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問 18 お子さんは現在、幼稚園や保育所等の「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに をつけてください。

「利用している」の割合が81.0%、「利用していない」の割合が18.9%となっています。

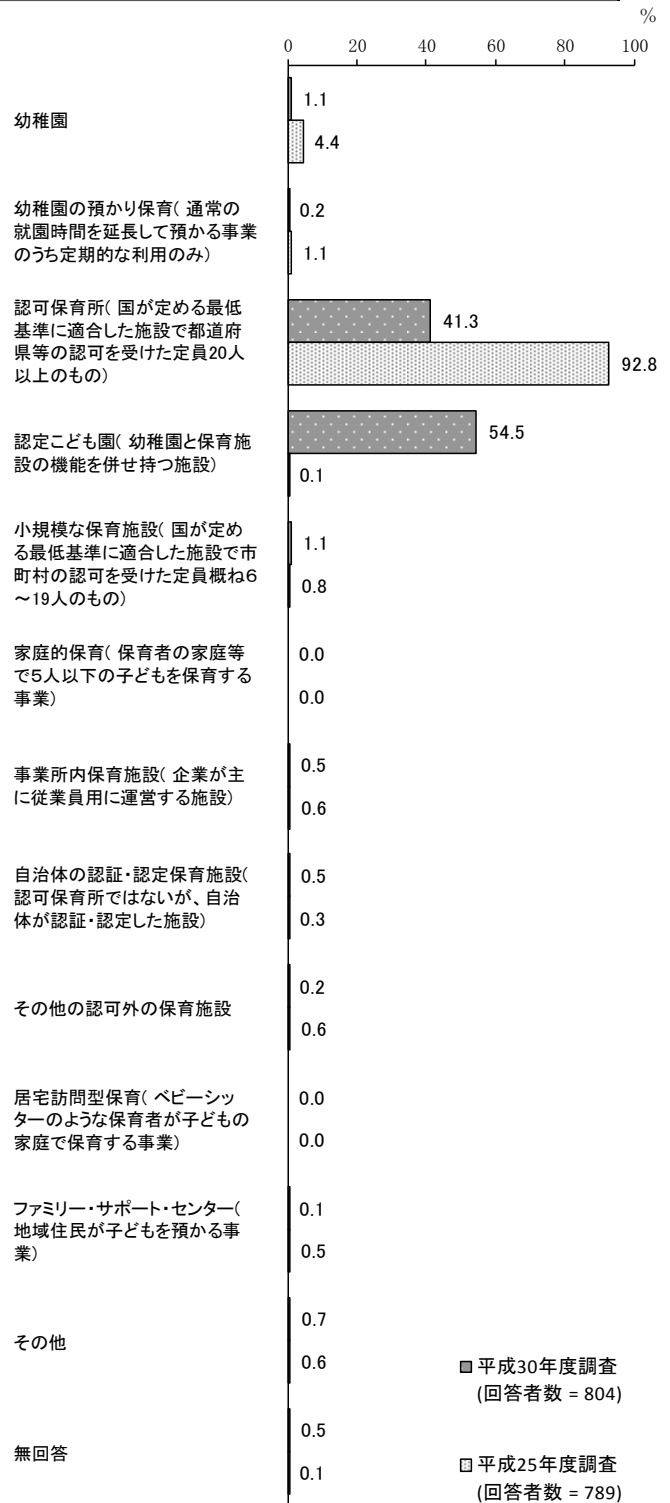
平成25年度調査と比較すると、「利用している」の割合が増加しています。一方、「利用していない」の割合が減少しています。



問 18-1 お子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてにつけてください。

「認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)」の割合が 54.5%と最も高く、次いで「認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの)」の割合が 41.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)」の割合が増加しています。一方、「認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの)」の割合が減少しています。



【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、0歳で「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数（件）	幼稚園	幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）	認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）	認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）	小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの）	家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業）	事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）	自治体が認証・認定した施設（認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設）	自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設）	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）	ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	その他	無回答
0歳	74	1.4	-	21.6	73.0	-	-	4.1	-	-	-	-	1.4	1.4	-
1歳	90	-	-	46.7	50.0	3.3	-	1.1	-	-	-	-	-	-	-
2歳	149	1.3	-	36.9	56.4	1.3	-	-	1.3	-	-	-	-	1.3	1.3
3歳	157	0.6	-	45.2	52.9	0.6	-	-	-	-	-	-	-	0.6	-
4歳	161	1.9	0.6	46.6	47.2	1.9	-	-	0.6	0.6	-	-	-	-	0.6
5歳	166	1.2	0.6	42.8	54.8	-	-	-	0.6	0.6	-	-	-	1.2	0.6

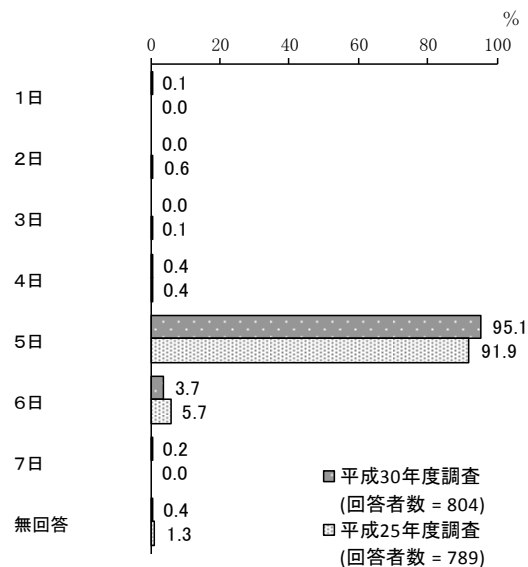
問 18-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間(何時何分～何時何分)かを、内に具体的な数字でご記入ください。時間は、(例)9時30分、18時30分のように24時間制でご記入ください。

ア 現在

(ア) 1週当たり利用日数

「5日」の割合が95.1%と最も高くなっています。

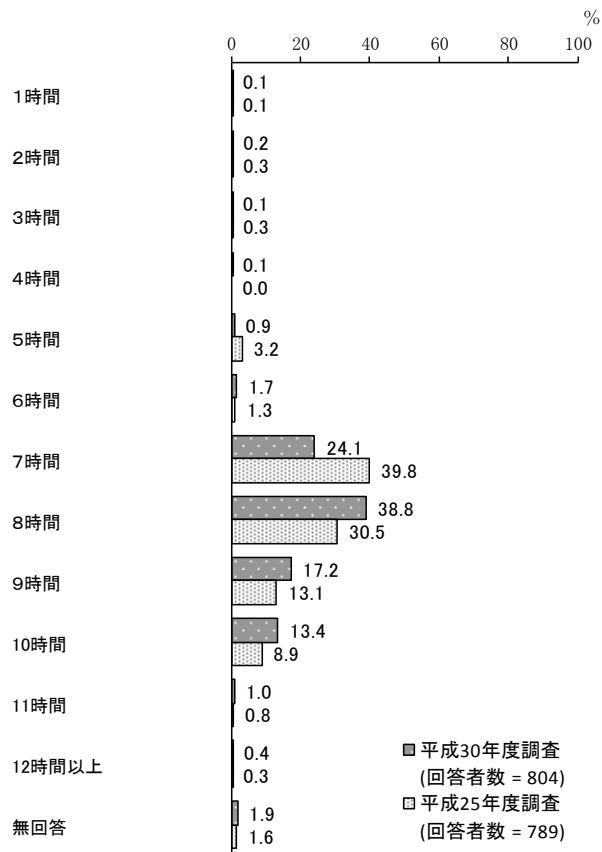
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(イ) 1日あたり利用時間

「8時間」の割合が38.8%と最も高く、次いで「7時間」の割合が24.1%、「9時間」の割合が17.2%となっています。

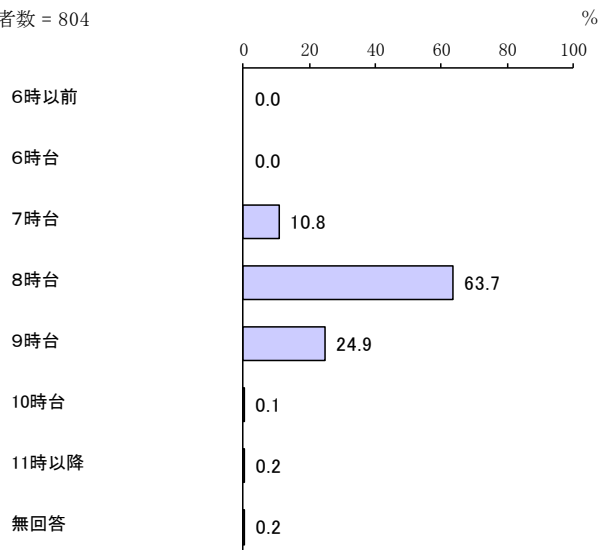
平成25年度調査と比較すると、「8時間」の割合が増加しています。一方、「7時間」の割合が減少しています。



(ウ) 利用開始時間

「8時台」の割合が63.7%と最も高く、次いで「9時台」の割合が24.9%、「7時台」の割合が10.8%となっています。

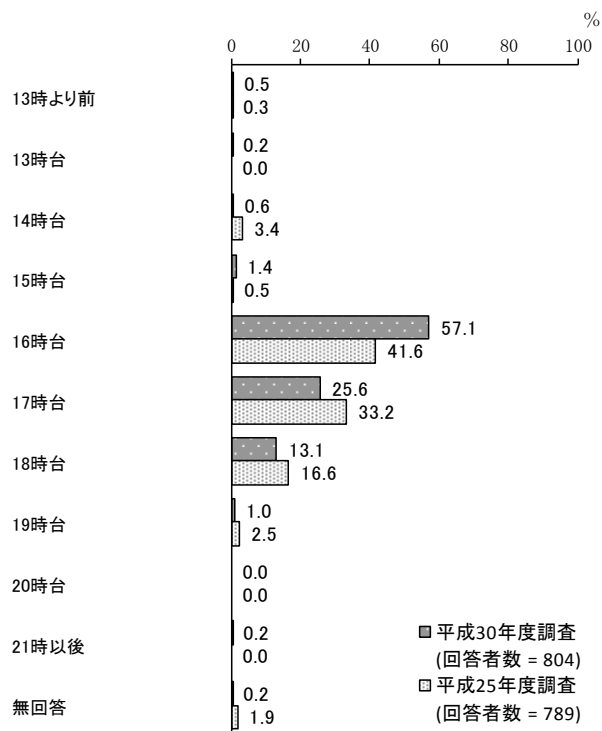
回答者数 = 804



(エ) 利用終了時間

「16時台」の割合が57.1%と最も高く、次いで「17時台」の割合が25.6%、「18時台」の割合が13.1%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「16時台」の割合が増加しています。一方、「17時台」の割合が減少しています。

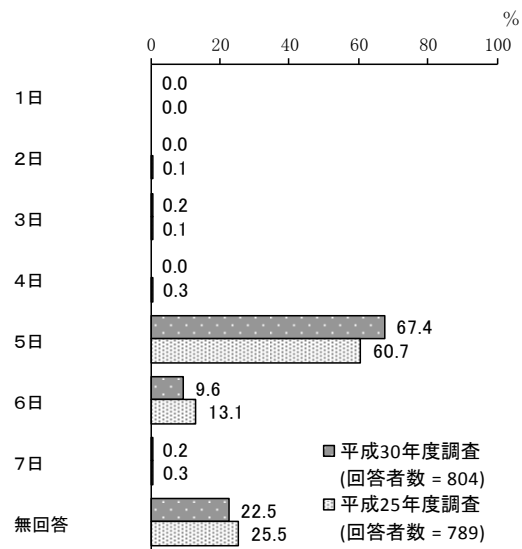


イ 希望

(ア) 1週あたり利用日数

「5日」の割合が67.4%と最も高くなっています。

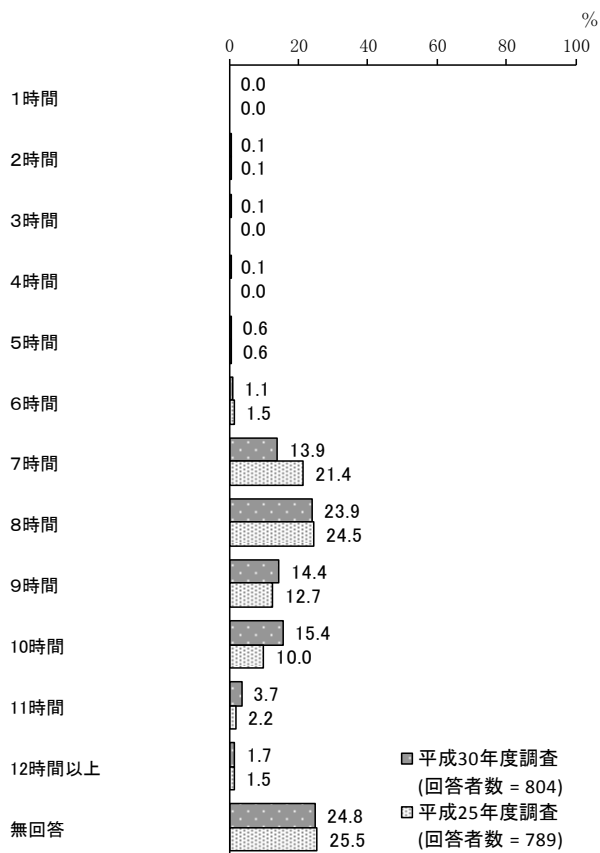
平成25年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。



(イ) 1日あたり利用時間

「8時間」の割合が23.9%と最も高く、次いで「10時間」の割合が15.4%、「9時間」の割合が14.4%となっています。

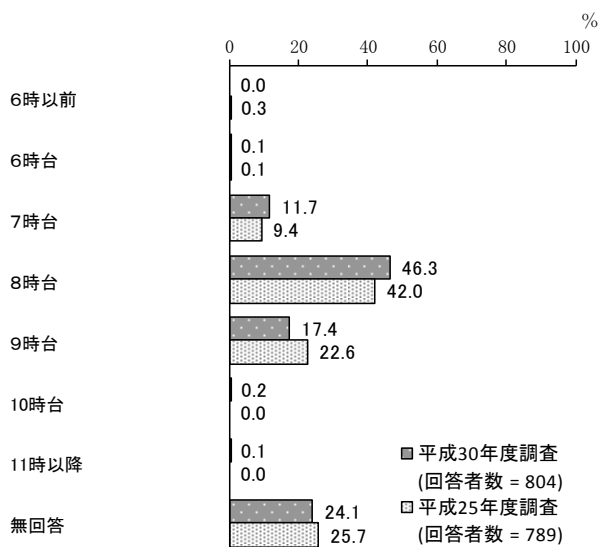
平成25年度調査と比較すると、「10時間」の割合が増加しています。一方、「7時間」の割合が減少しています。



(ウ) 利用開始時間

「8時台」の割合が46.3%と最も高く、次いで「9時台」の割合が17.4%、「7時台」の割合が11.7%となっています。

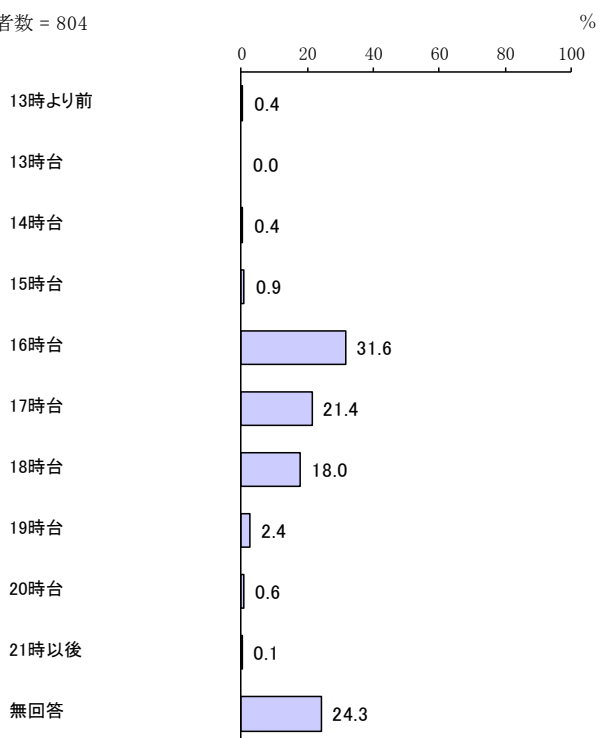
平成25年度調査と比較すると、「9時台」の割合が減少しています。



(エ) 利用終了時間

「16時台」の割合が31.6%と最も高く、次いで「17時台」の割合が21.4%、「18時台」の割合が18.0%となっています。

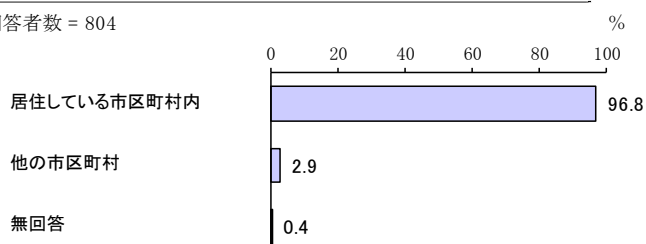
回答者数 = 804



問 18-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。当てはまる番号1つに をつけてください。

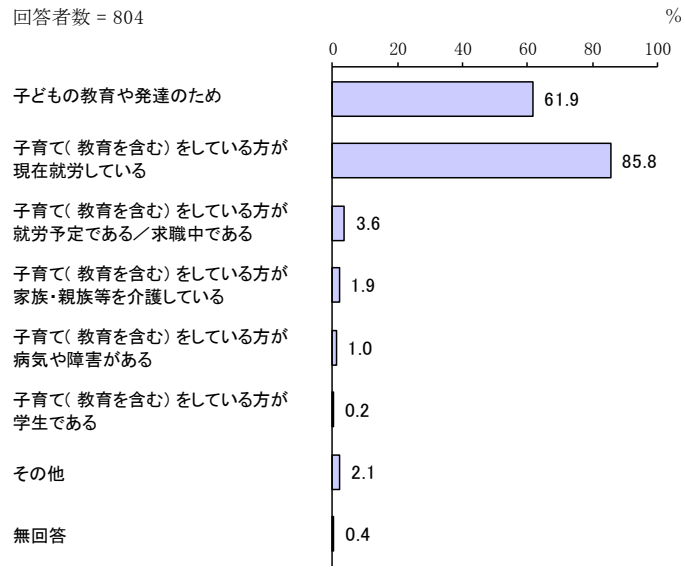
「居住している市区町村内」の割合が96.8%、「他の市区町村」の割合が2.9%となっています。

回答者数 = 804



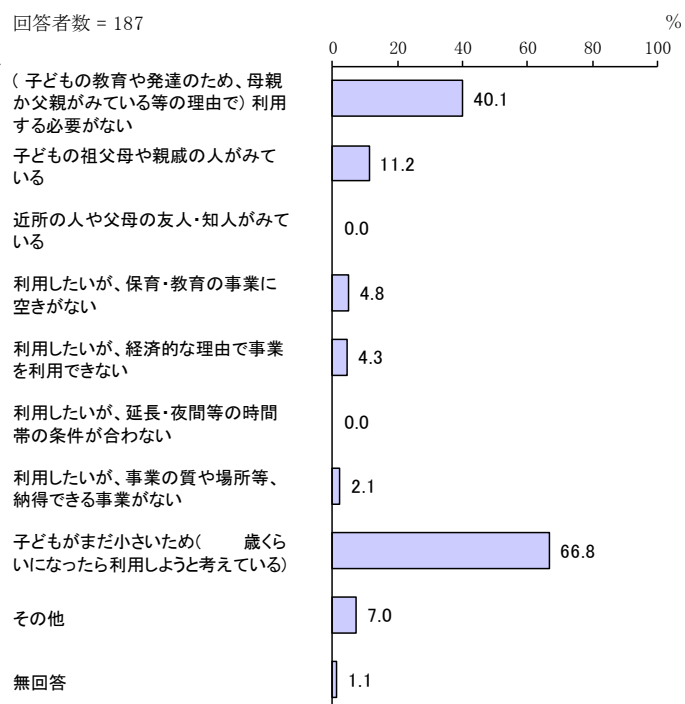
問 18-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに をつけてください。

「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」の割合が 85.8%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」の割合が 61.9%となっています。



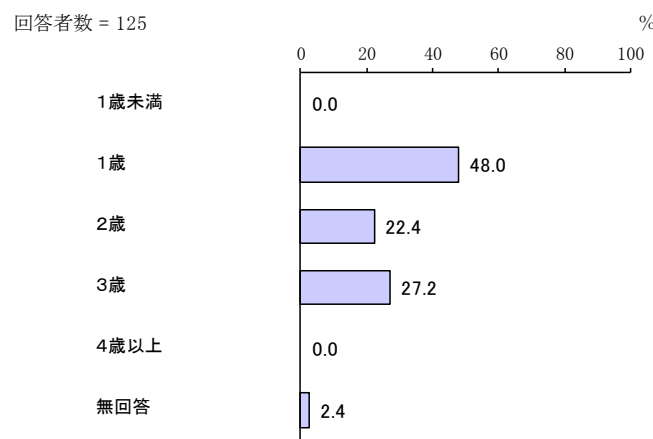
問 18-5 利用していない理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに をつけてください。

「子どもがまだ小さいため(歳くらいになったら利用しようと考えている)」の割合が 66.8%と最も高く、次いで「(子どもの教育や発達のため、母親か父親がみている等の理由で)利用する必要がない」の割合が 40.1%、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」の割合が 11.2%となっています。



利用を希望する子どもの年齢

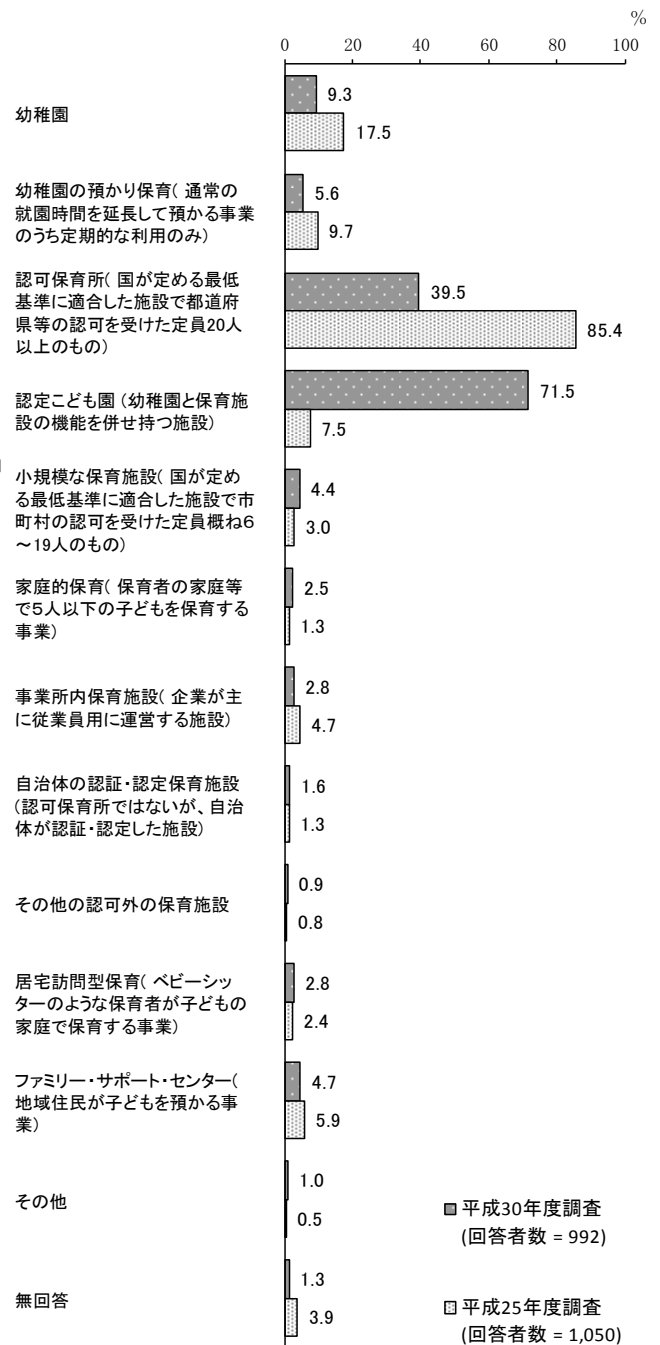
「1歳」の割合が 48.0%と最も高く、次いで「3歳」の割合が 27.2%、「2歳」の割合が 22.4%となっています。



問 19 現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに をつけてください。

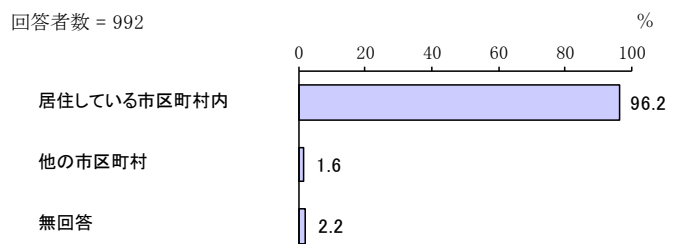
「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」の割合が 71.5%と最も高く、次いで「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの）」の割合が 39.5%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」の割合が増加しています。一方、「幼稚園」「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの）」の割合が減少しています。



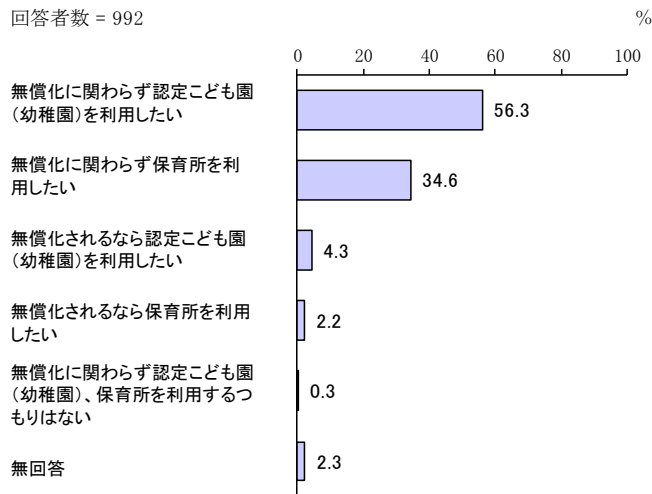
問 19-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。当てはまる番号 1 つに をつけてください。

「居住している市区町村内」の割合が 96.2%、「他の市区町村」の割合が 1.6%となっています。



問 20 2019 年 10 月から 3 ～ 5 歳児を対象に幼児教育・保育の無償化を実施することが予定されています。無償化が実施された場合、お子さんの平日の教育・保育事業の利用についてどのように考えますか。当てはまる番号 1 つに をつけてください。

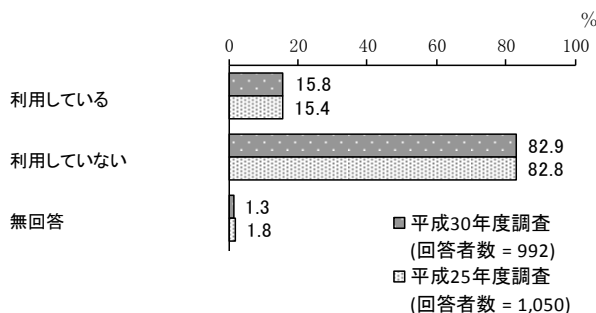
「無償化に関わらず認定こども園(幼稚園)を利用したい」の割合が 56.3%と最も高く、次いで「無償化に関わらず保育所を利用したい」の割合が 34.6%となっています。



(6) お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

問 21 お子さんは、現在、地域子育て支援拠点施設を利用していますか。当てはまる番号 1 つに をつけ、利用している場合は、おおよその利用回数(頻度)を 内に数字でご記入ください。

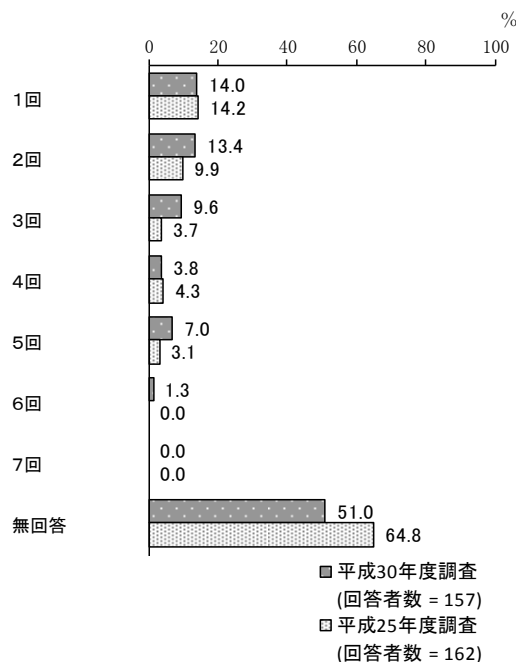
「利用している」の割合が 15.8%、「利用していない」の割合が 82.9%となっています。
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



ア 利用している

(ア) 1 週当たり利用回数

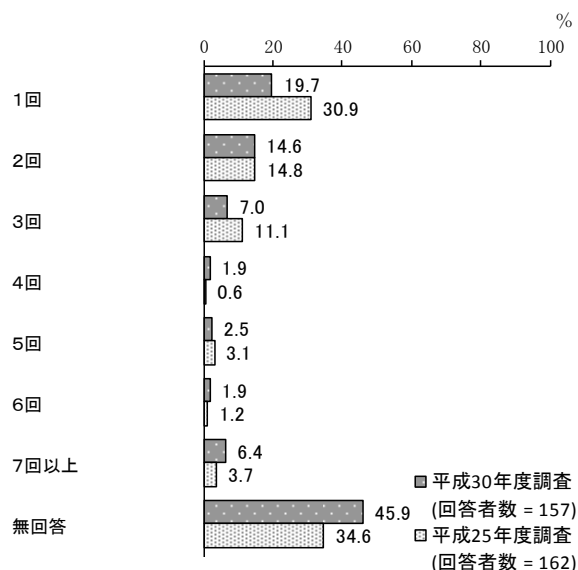
「1 回」の割合が 14.0%と最も高く、次いで「2 回」の割合が 13.4%となっています。
平成 25 年度調査と比較すると、「3 回」の割合が増加しています。



(イ) 1か月当たり利用回数

「1回」の割合が19.7%と最も高く、次いで「2回」の割合が14.6%となっています。

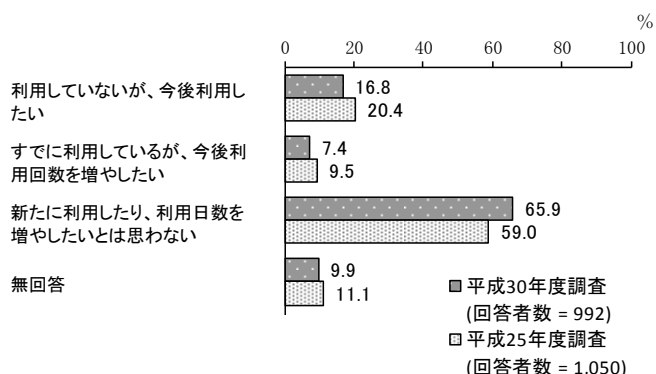
平成25年度調査と比較すると、「1回」の割合が減少しています。



問22 問21のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用回数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号1つに をつけて、おおよその利用回数(頻度)を 内に数字でご記入ください。なお、これらの事業の利用は無料です。

「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が65.9%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」の割合が16.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が増加しています。

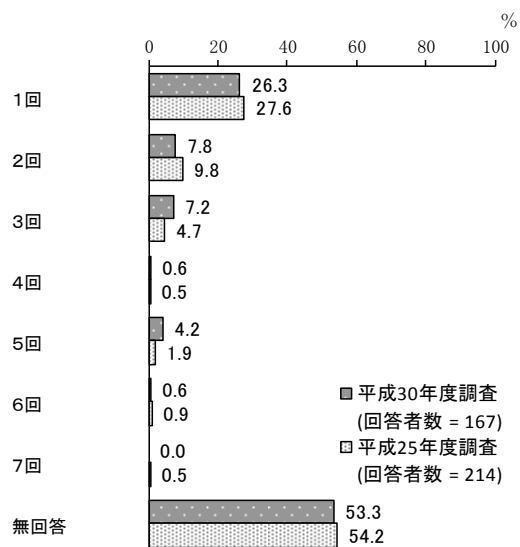


ア 利用していないが、今後利用したい

(ア) 利用していないが、今後利用したい

「1回」の割合が26.3%と最も高くなっています。

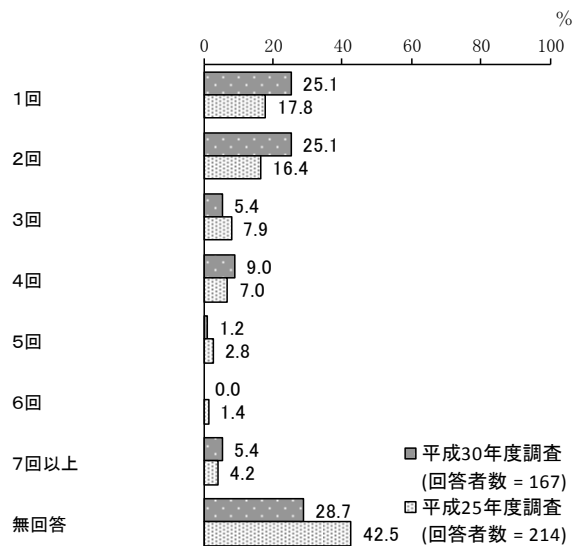
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(イ) 利用していないが、今後利用したい

「1回」、「2回」の割合が25.1%と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、「1回」「2回」の割合が増加しています。

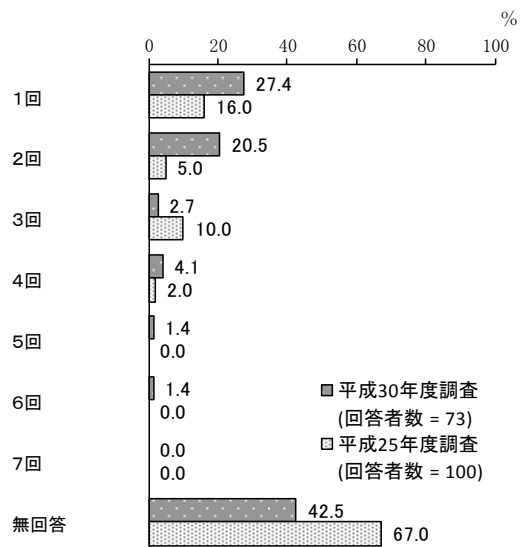


イ) すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい

(ア) すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい

「1回」の割合が27.4%と最も高く、次いで「2回」の割合が20.5%となっています。

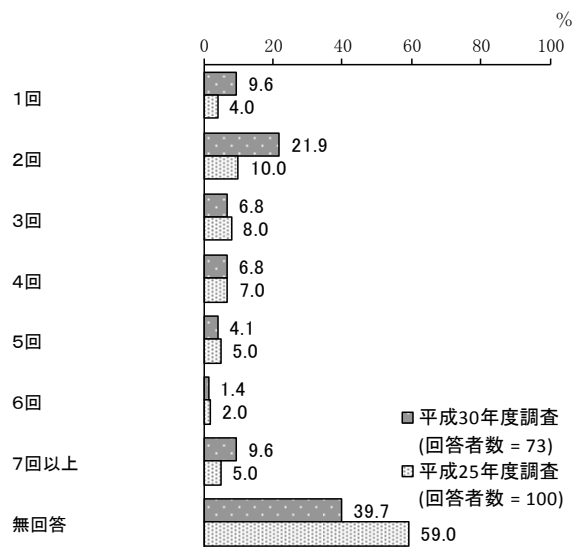
平成25年度調査と比較すると、「1回」「2回」の割合が増加しています。一方、「3回」の割合が減少しています。



(イ) すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい

「2回」の割合が21.9%と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、「1回」「2回」の割合が増加しています。

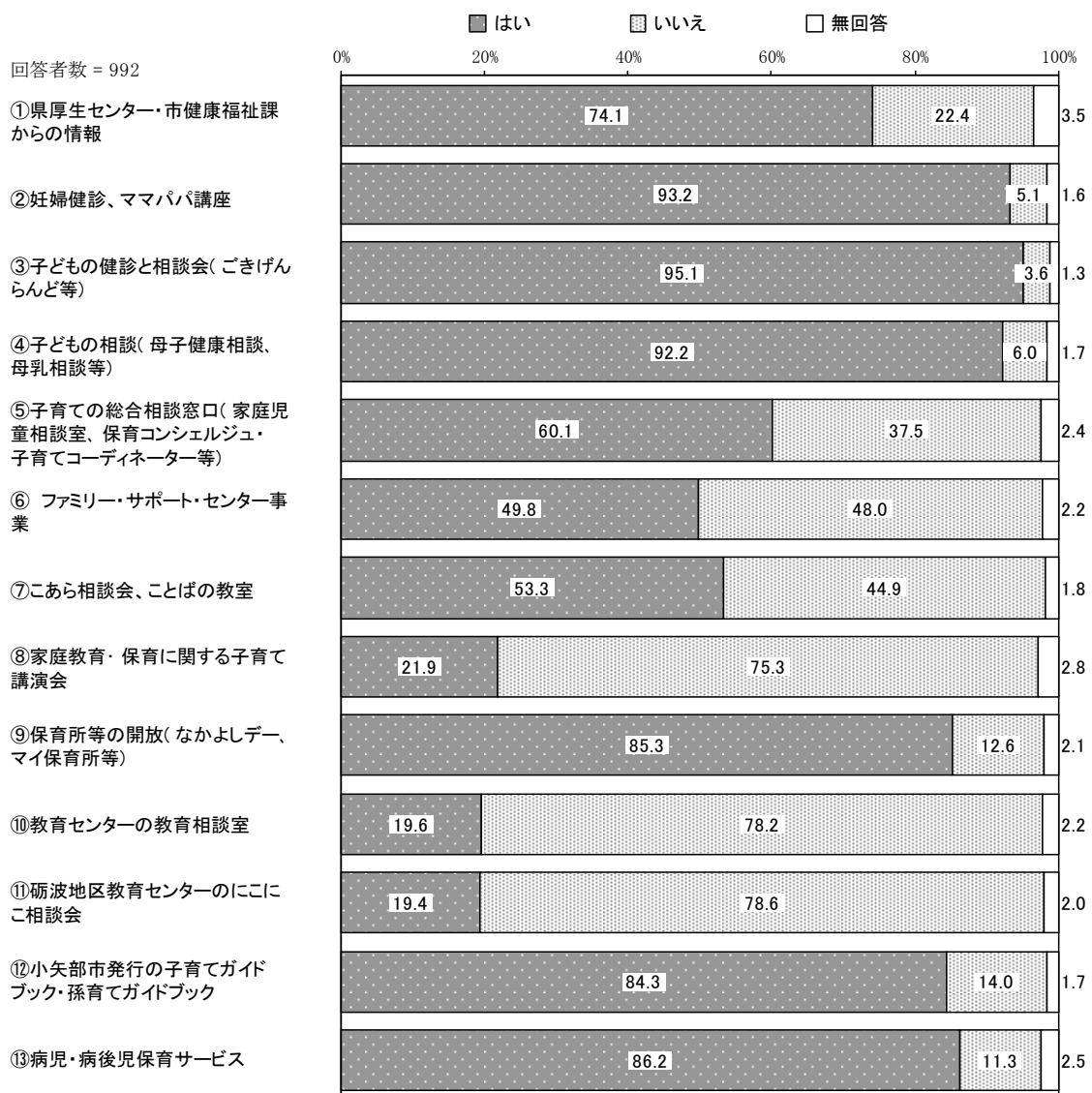


問 23 下記の子育て支援事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに をつけてください。

ア 知っている

知っているをみると、他に比べ、妊婦健診、ママパパ講座、子どもの健診と相談会（ごきげんらんど等）、子どもの相談（母子健康相談、母乳相談）で「はい」の割合が、家庭教育・保育に関する子育て講演会、教育センターの教育相談室、砺波地区教育センターのにこにこ相談会で「いいえ」の割合が高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、妊婦健診、ママパパ講座、子どもの健診と相談会（ごきげんらんど等）、こあら相談会、ことばの教室、砺波地区教育センターのにこにこ相談会、小矢部市発行の子育てガイドブック・孫育てガイドブックで「はい」の割合が、子育ての総合相談窓口（家庭児童相談室、保育コンシェルジュ・子育てコーディネーター等）、家庭教育・保育に関する子育て講演会で「いいえ」の割合が増加しています。一方、子育ての総合相談窓口（家庭児童相談室、保育コンシェルジュ・子育てコーディネーター等）、家庭教育・保育に関する子育て講演会で「はい」の割合が、こあら相談会、ことばの教室、小矢部市発行の子育てガイドブック・孫育てガイドブックで「いいえ」の割合が減少しています。



平成 25 年度調査

回答者数 = 1,050

①県厚生センター・市健康福祉課からの情報

②妊婦健診、ママパパ講座

③子どもの健診と相談会(ごきげんらんど等)

④子どもの相談(母子健康相談、母乳相談等)

⑤子育ての総合相談窓口(家庭児童相談室、保育コンシェルジュ、子育てコーディネーター等)

⑥こあら相談会、ことばの教室

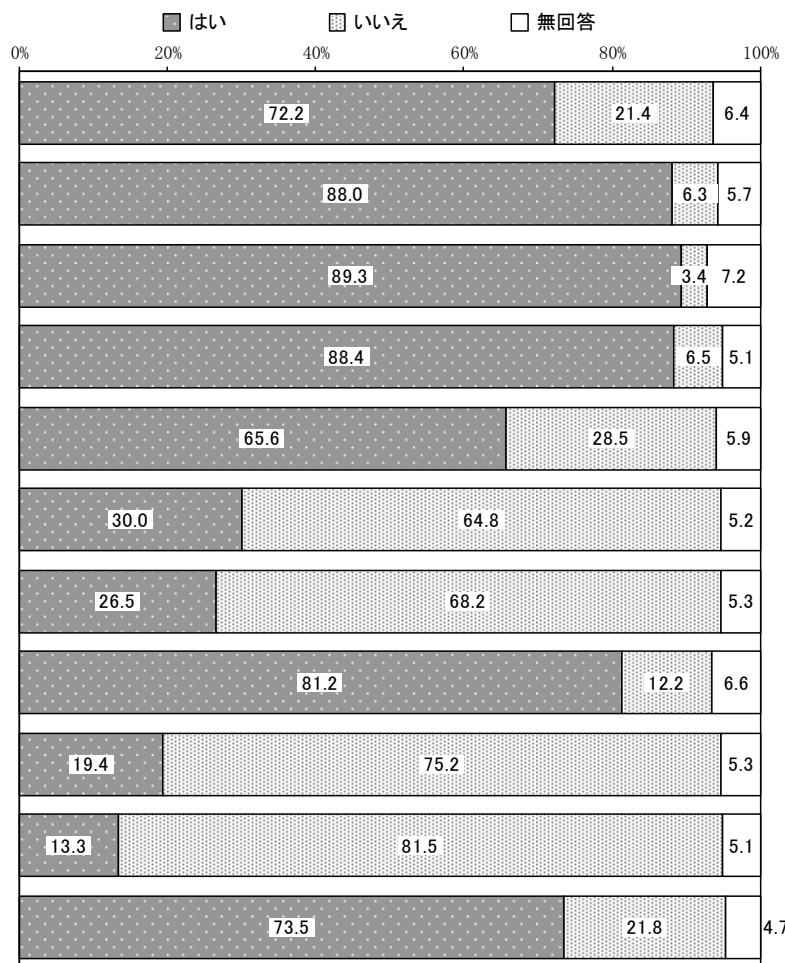
⑦家庭教育・保育に関する子育て講演会

⑧保育所等の開放(なかよしデー、マイ保育所等)

⑨教育センターの教育相談室

⑩砺波地区教育センターののこにこ相談会

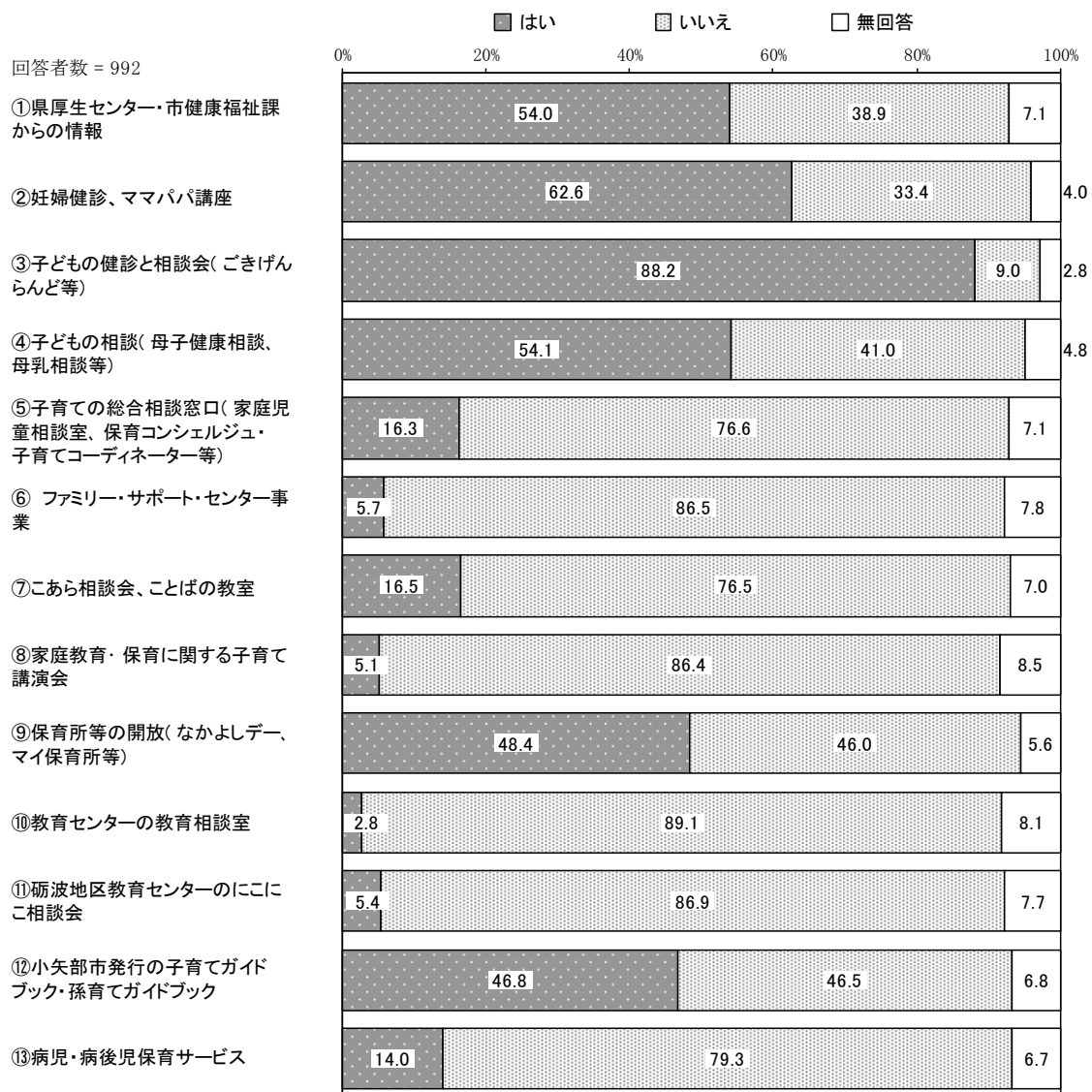
⑪小矢部市発行の子育てガイドブック・孫育てガイドブック



イ 利用したことがある

利用したことがあるをみると、他に比べ、子どもの健診と相談会(ごきげんらんど等)で「はい」の割合が、教育センターの教育相談室で「いいえ」の割合が高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、妊婦健診、ママパパ講座、子どもの相談(母子健康相談、母乳相談等)、こあら相談会、ことばの教室、小矢部市発行の子育てガイドブック・孫育てガイドブックで「はい」の割合が、家庭教育・保育に関する子育て講演会で「いいえ」の割合が増加しています。一方、小矢部市発行の子育てガイドブック・孫育てガイドブックで「いいえ」の割合が減少しています。



平成 25 年度調査

回答者数 = 1,050

① 県厚生センター・市健康福祉課からの情報

② 妊婦健診、ママパパ講座

③ 子どもの健診と相談会(ごきげんらんど等)

④ 子どもの相談(母子健康相談、母乳相談等)

⑤ 子育ての総合相談窓口(家庭児童相談室、保育コンシェルジュ・子育てコーディネーター等)

⑥ こあら相談会、ことばの教室

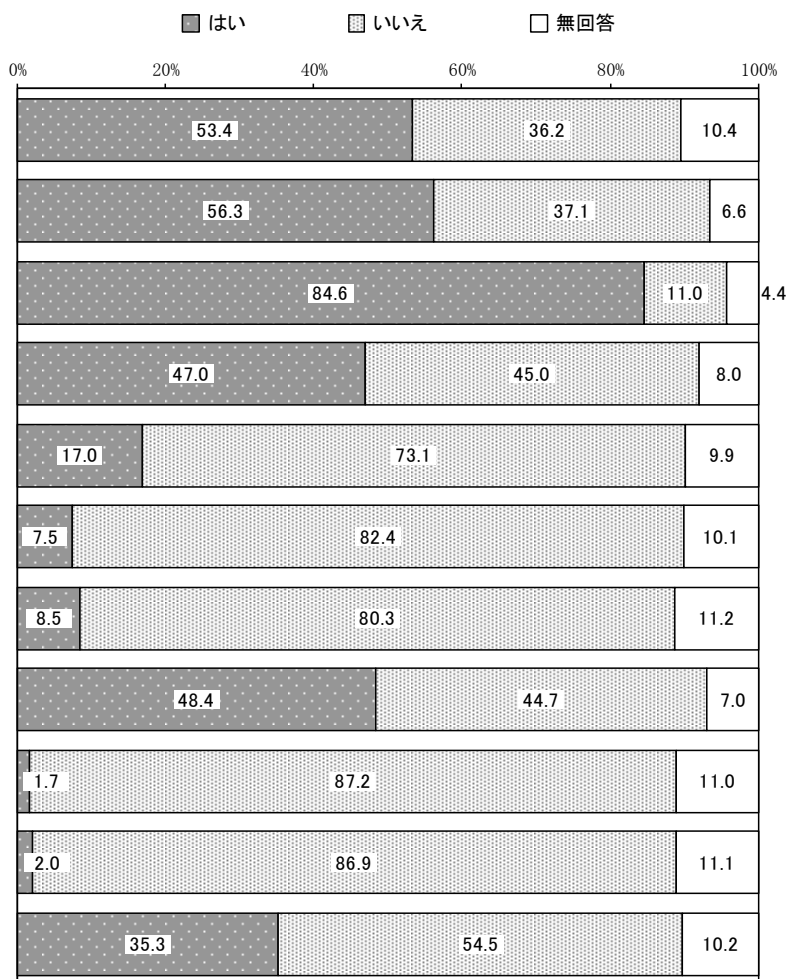
⑦ 家庭教育・保育に関する子育て講演会

⑧ 保育所等の開放(なかよしデー、マイ保育所等)

⑨ 教育センターの教育相談室

⑩ 砺波地区教育センターのにこにこ相談会

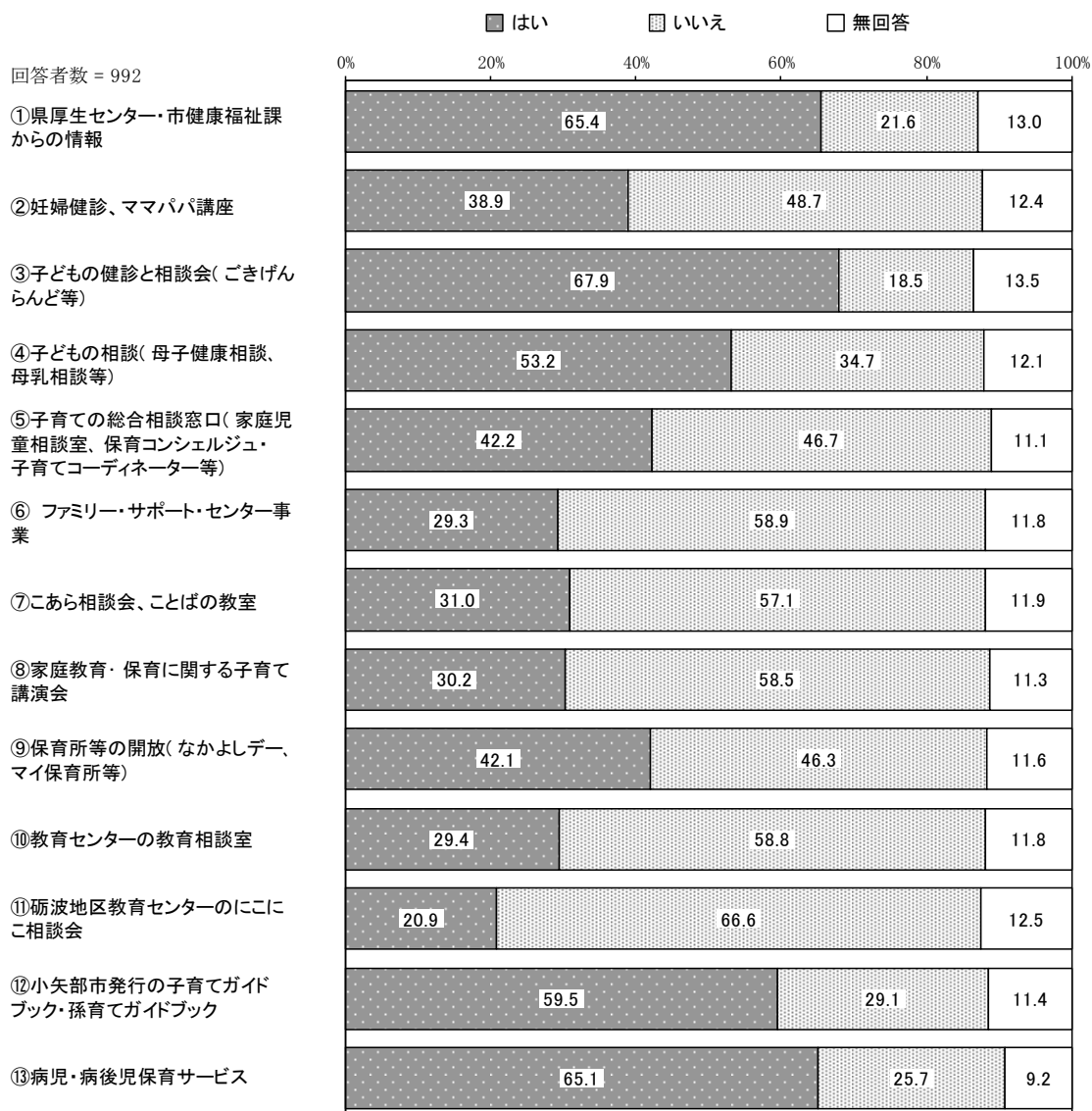
⑪ 小矢部市発行の子育てガイドブック・孫育てガイドブック



ウ 今後利用したい

今後利用したいをみると、他に比べ、子どもの健診と相談会(ごきげんらんど等)で「はい」の割合が、砺波地区教育センターのにここ相談会で「いいえ」の割合が高くなっています。

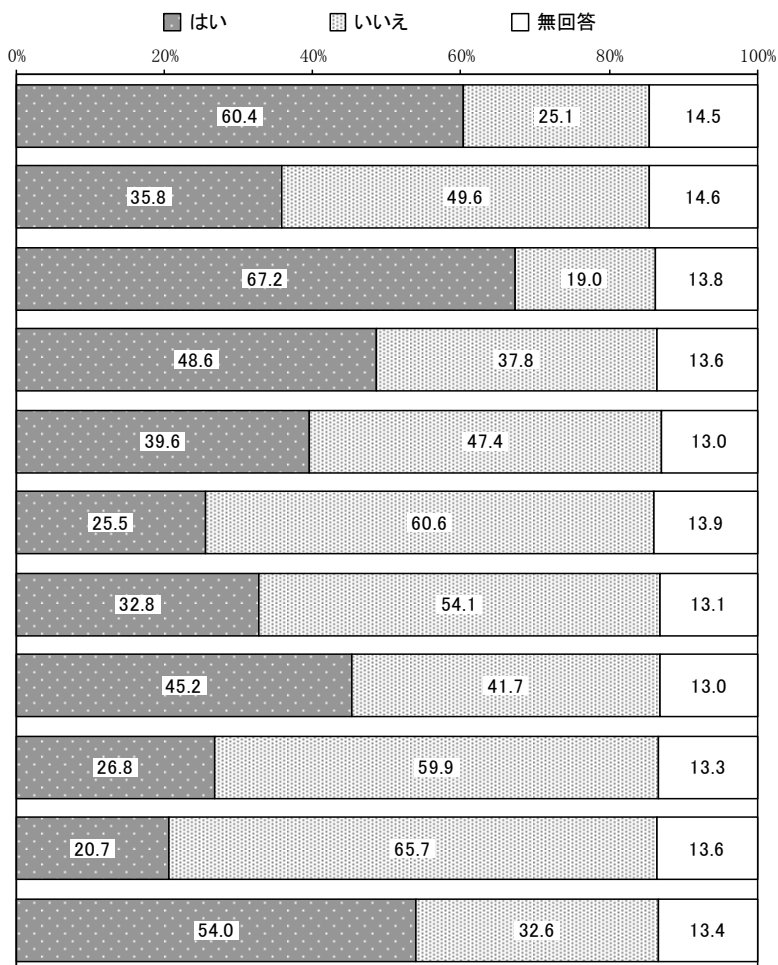
平成25年度調査と比較すると、県厚生センター・市健康福祉課からの情報、こあら相談会、ことばの教室、小矢部市発行の子育てガイドブック・孫育てガイドブックで「はい」の割合が増加しています



平成 25 年度調査

回答者数 = 1,050

- ①県厚生センター・市健康福祉課からの情報
- ②妊婦健診、ママパパ講座
- ③子どもの健診と相談会(ごきげんらんど等)
- ④子どもの相談(母子健康相談、母乳相談等)
- ⑤子育ての総合相談窓口(家庭児童相談室、保育コンシェルジュ・子育てコーディネーター等)
- ⑥こあら相談会、ことばの教室
- ⑦家庭教育・保育に関する子育て講演会
- ⑧保育所等の開放(なかよしデー、マイ保育所等)
- ⑨教育センターの教育相談室
- ⑩砺波地区教育センターののこにこ相談会
- ⑪小矢部市発行の子育てガイドブック・孫育てガイドブック

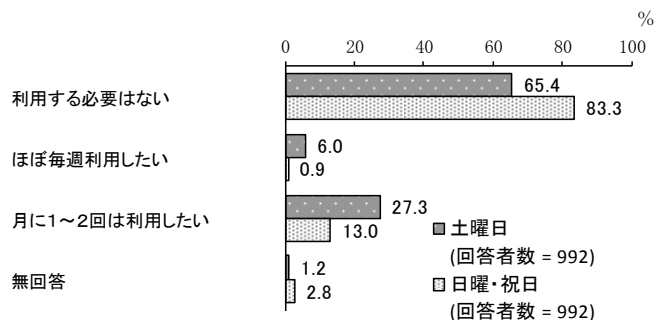


(7) お子さんの土曜と日曜日・休日の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問 24 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか(一時的な利用は除きます)。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 9時30分～18時30分のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

土曜日では、「利用する必要はない」の割合が65.4%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が27.3%となっています。

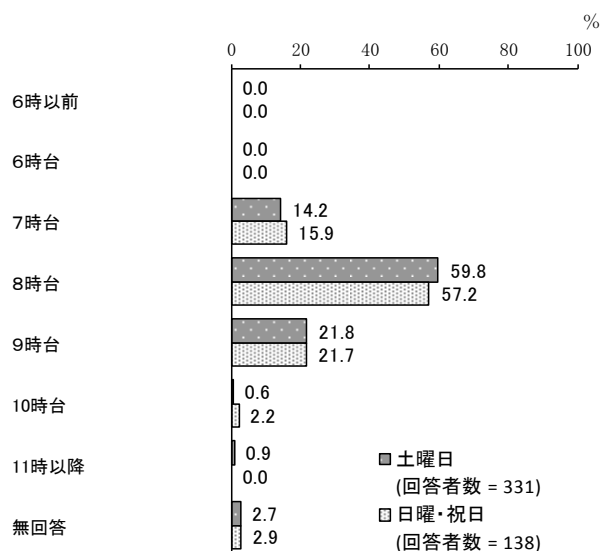
日曜・祝日では、「利用する必要はない」の割合が83.3%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が13.0%となっています。



(ア) 利用開始時間

土曜日では、「8時台」の割合が59.8%と最も高く、次いで「9時台」の割合が21.8%、「7時台」の割合が14.2%となっています。

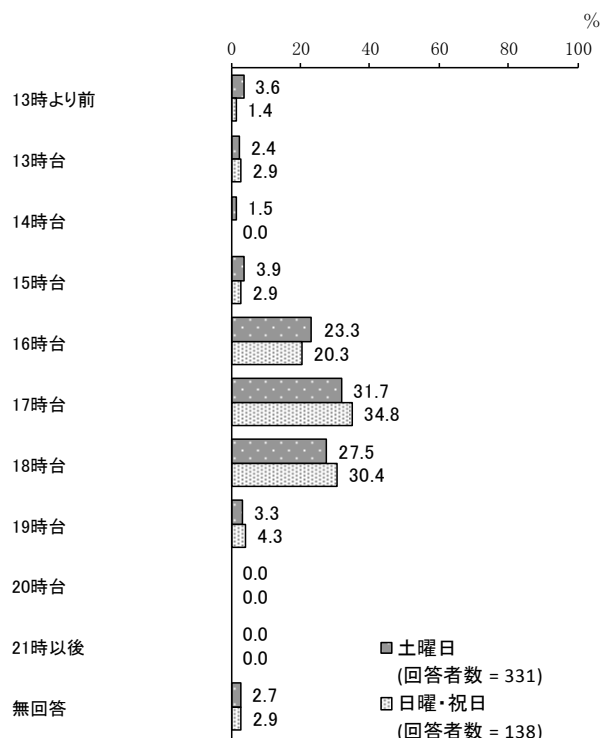
日曜・祝日では、「8時台」の割合が57.2%と最も高く、次いで「9時台」の割合が21.7%、「7時台」の割合が15.9%となっています。



(イ) 利用終了時間

土曜日では、「17時台」の割合が31.7%と最も高く、次いで「18時台」の割合が27.5%、「16時台」の割合が23.3%となっています。

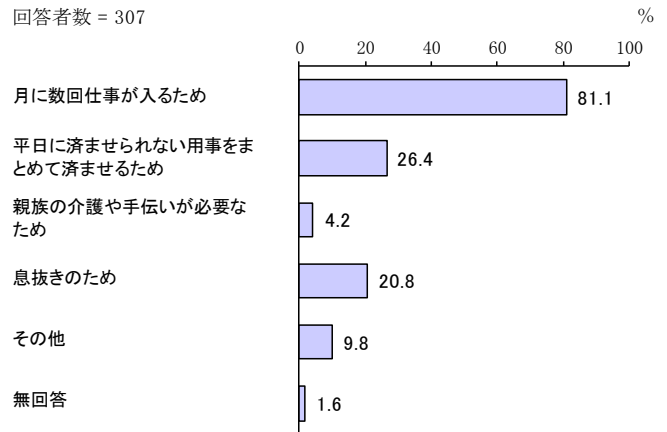
日曜・祝日では、「17時台」の割合が34.8%と最も高く、次いで「18時台」の割合が30.4%、「16時台」の割合が20.3%となっています。



問 24-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてにつけてください。

「月に数回仕事が入るため」の割合が 81.1% と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」の割合が 26.4%、「息抜きのため」の割合が 20.8% となっています。

回答者数 = 307

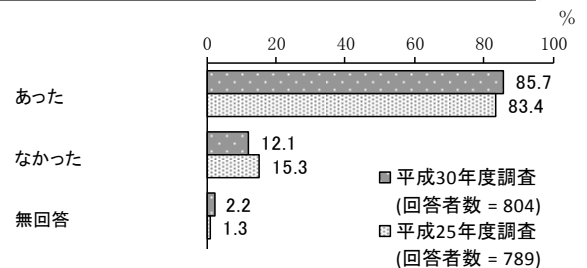


(8) お子さんの病気の際の対応について

問 25 この1年間に、お子さんが病気やケガで通常の教育・保育事業を利用できなかったことはありますか。当てはまる番号1つにつけてください。

「あった」の割合が 85.7%、「なかった」の割合が 12.1% となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、0歳～3歳で「あった」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	あった	なかった	無回答
0歳	74	87.8	12.2	-
1歳	90	88.9	8.9	2.2
2歳	149	87.9	9.4	2.7
3歳	157	87.9	10.2	1.9
4歳	161	83.2	14.9	1.9
5歳	166	81.9	14.5	3.6

【母の就労状況別】

母親の就労状況別で見ると、他に比べ、フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中であるで「あった」の割合が高くなっています。

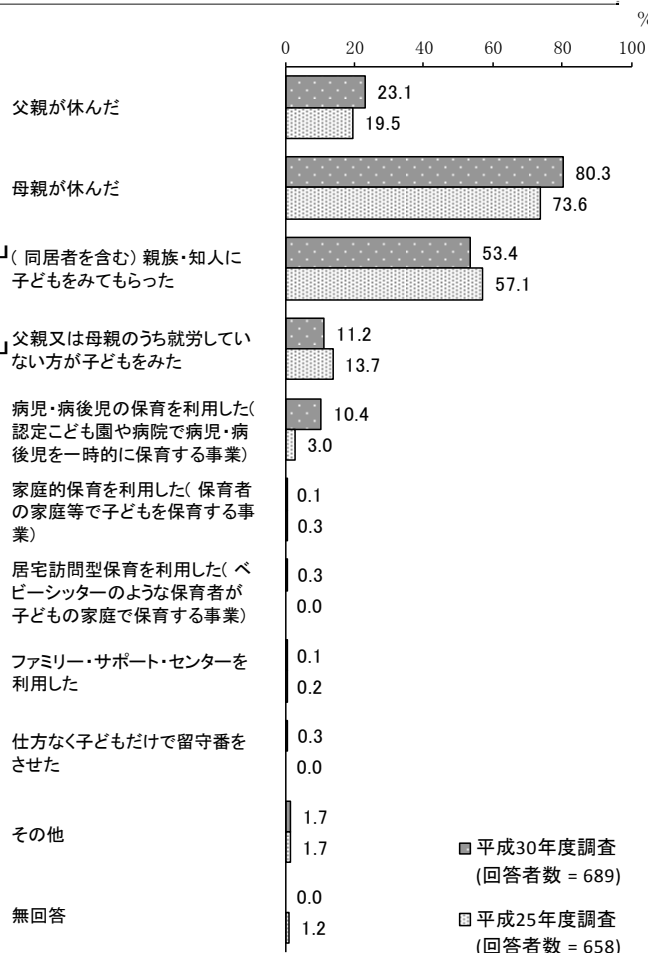
単位：％

区分	有効回答数(件)	あった	なかった	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	341	87.1	10.6	2.3
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	55	90.9	9.1	-
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	312	84.9	13.8	1.3
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	14	71.4	21.4	7.1
以前は就労していたが、現在は就労していない	65	80.0	12.3	7.7
これまで就労したことがない	3	66.7	33.3	-

問 25-1 あった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてを見つけ、それぞれのおよその日数も 内に数字でご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)。

「母親が休んだ」の割合が80.3%と最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が53.4%、「父親が休んだ」の割合が23.1%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「母親が休んだ」「病児・病後児の保育を利用した(認定こども園や病院で病児・病後児を一時的に保育する事業)」の割合が増加しています。



対処方法

対処方法をみると、他に比べ、父親が休んだで「1日」の割合が、母親が休んだで「10日」の割合が多くなっています。また、病児・病後児の保育を利用した(認定こども園や病院で病児・病後児を一時的に保育する事業)で「5日」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11 ～ 15日	16 ～ 20日	21日 以上	無回答
父親が休んだ	159	33.3	23.3	19.5	3.1	12.6	-	0.6	-	-	1.3	0.6	-	0.6	5.0
母親が休んだ	553	9.0	11.6	11.2	3.6	15.7	1.8	5.2	1.3	-	17.5	3.4	6.3	3.4	9.8
(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	368	12.0	16.0	16.8	4.6	14.1	1.4	3.0	1.1	0.3	11.4	2.2	4.9	1.4	10.9
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	77	3.9	5.2	11.7	5.2	15.6	1.3	7.8	-	-	14.3	3.9	9.1	9.1	13.0
病児・病後児の保育を利用した(認定こども園や病院で病児・病後児を一時的に保育する事業)	72	23.6	11.1	15.3	1.4	19.4	1.4	2.8	-	-	9.7	2.8	1.4	4.2	6.9
家庭的保育を利用した(保育者の家庭等で子どもを保育する事業)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
居宅訪問型保育を利用した(ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)	2	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
ファミリー・サポート・センターを利用した	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
その他	12	8.3	8.3	-	-	16.7	-	16.7	-	-	8.3	8.3	-	8.3	25.0

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、0歳で「母親が休んだ」「父親が休んだ」「病児・病後児の保育を利用した(認定こども園や病院で病児・病後児を一時的に保育する事業)」の割合が、1歳で「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	父親が休んだ	母親が休んだ	(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した(認定こども園や病院で病児・病後児を一時的に保育する事業)	家庭的保育を利用した(保育者の家庭等で子どもを保育する事業)	居宅訪問型保育を利用し(ベビシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
0歳	65	35.4	95.4	53.8	10.8	23.1	1.5	1.5	1.5	3.1	4.6	-
1歳	80	23.8	86.3	62.5	8.8	17.5	-	-	-	-	2.5	-
2歳	131	22.9	84.0	48.1	8.4	10.7	-	-	-	-	3.1	-
3歳	138	21.7	76.1	47.8	17.4	5.1	-	-	-	-	0.7	-
4歳	134	18.7	74.6	51.5	12.7	9.0	-	-	-	-	-	-
5歳	136	22.8	75.7	60.3	8.1	6.6	-	0.7	-	-	1.5	-

【母の就労状況別】

母の就労状況別でみると、他に比べ、パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではないで「母親が休んだ」の割合が、フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではないで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が高くなっています。また、以前は就労していたが、現在は就労していないで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が高くなっています。

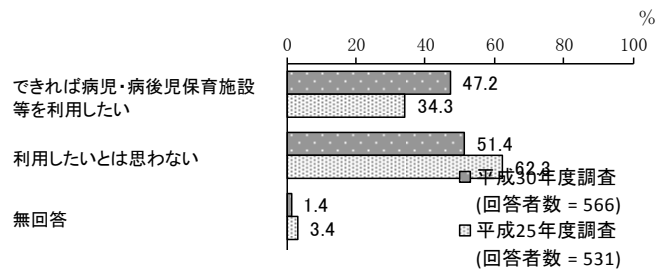
単位：%

区分	有効回答数(件)	父親が休んだ	母親が休んだ	(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した(認定こども園や病院で病児・病後児を一時的に保育する事業)	家庭的保育を利用した(保育者の家庭等で子どもを保育する事業)	居宅訪問型保育を利用し(ベビシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	297	32.3	82.5	66.0	2.7	12.8	-	0.3	-	0.3	1.0	-
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	50	28.0	72.0	48.0	16.0	2.0	-	-	-	-	6.0	-
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	265	15.1	92.5	47.5	5.3	10.6	0.4	0.4	0.4	0.4	1.5	-
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	10	20.0	70.0	20.0	30.0	10.0	-	-	-	-	-	-
以前は就労していたが、現在は就労していない	52	9.6	23.1	21.2	80.8	5.8	-	-	-	-	3.8	-
これまで就労したことがない	2	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-

問 25-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに をつけてください。
 利用したいと思う場合は、望ましい事業形態について当てはまる記号すべてに をつけ、およその日数についても 内に数字でご記入ください。利用したいとは思わない場合は、その理由について当てはまる記号すべてに をつけてください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が47.2%、「利用したいとは思わない」の割合が51.4%となっています。

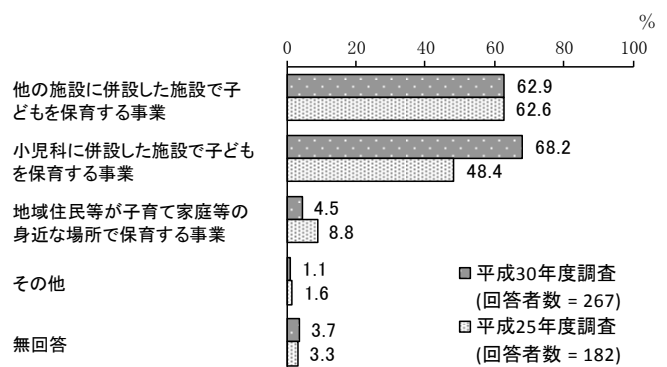
平成25年度調査と比較すると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が増加しています。一方、「利用したいとは思わない」の割合が減少しています。



ア できれば病児・病後児保育施設等を利用したい

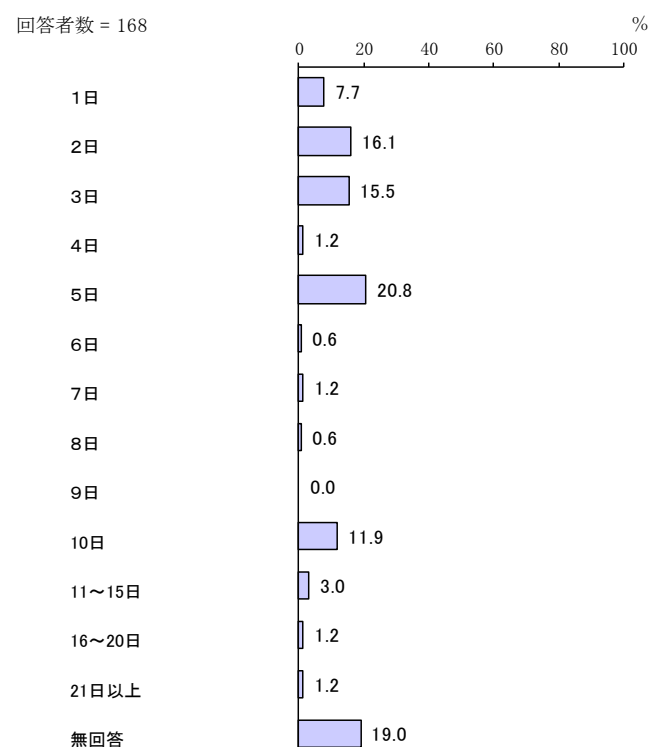
「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が68.2%と最も高く、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が62.9%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が増加しています。



(ア) 他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業

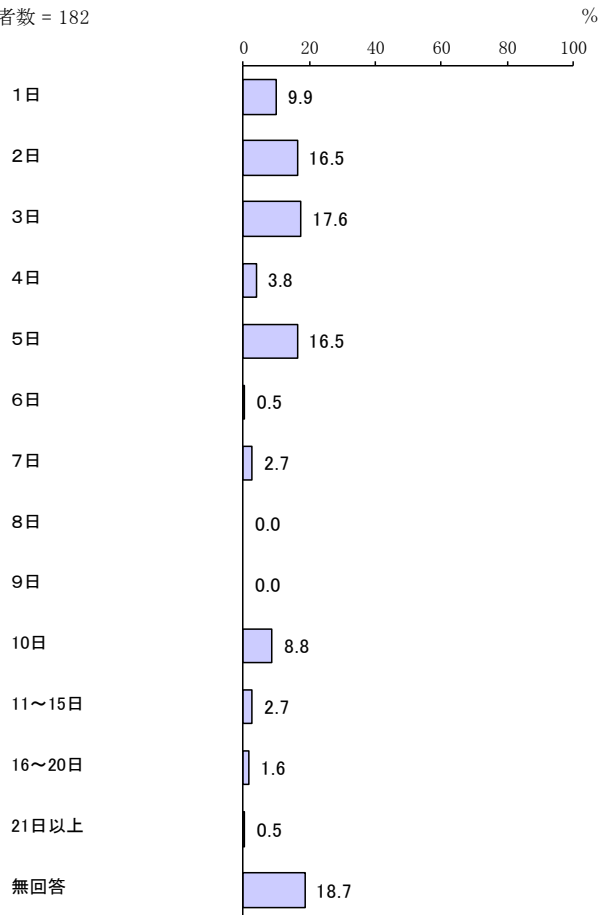
「5日」の割合が20.8%と最も高く、次いで「2日」の割合が16.1%、「3日」の割合が15.5%となっています。



(イ) 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業

「3日」の割合が17.6%と最も高く、次いで「2日」、「5日」の割合が16.5%となっています。

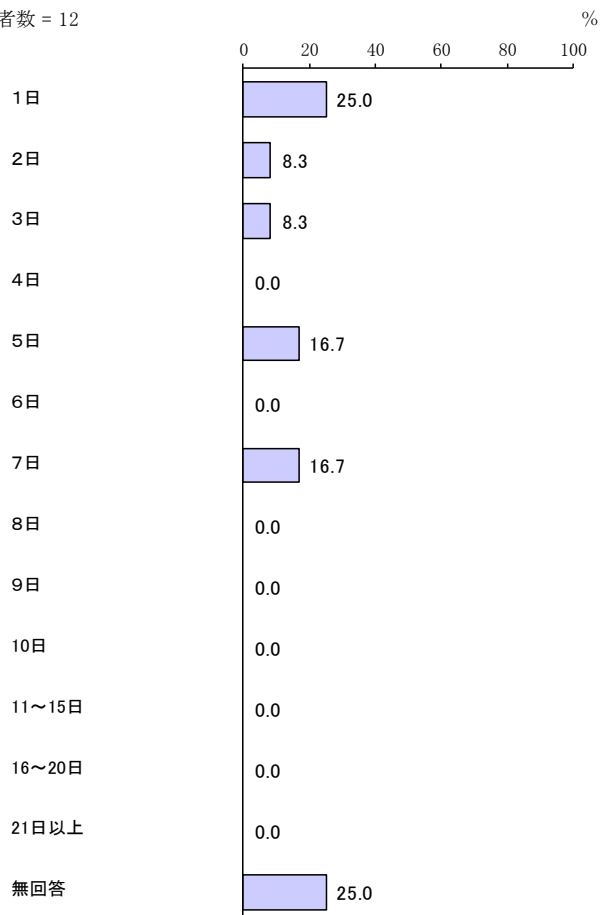
回答者数 = 182



(ウ) 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業

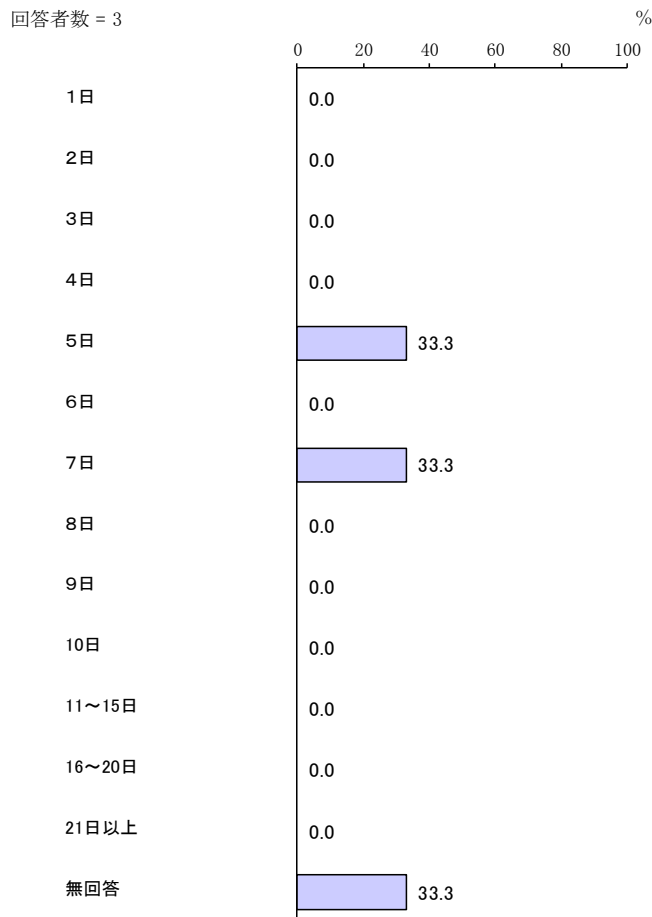
「1日」の割合が25.0%と最も高く、次いで「5日」、「7日」の割合が16.7%となっています。

回答者数 = 12



(エ) その他

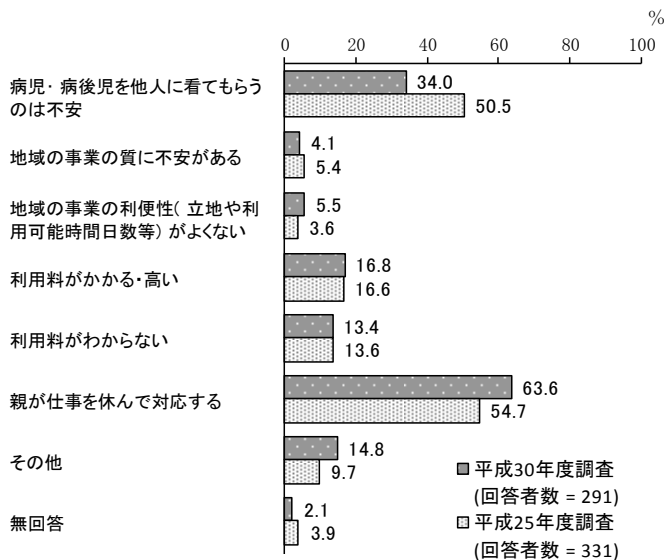
「5日」、「7日」が1件となっています。



イ 利用したいとは思わない

「親が仕事を休んで対応する」の割合が63.6%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」の割合が34.0%、「利用料がかかる・高い」の割合が16.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「親が仕事を休んで対応する」の割合が増加しています。一方、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」の割合が減少しています。

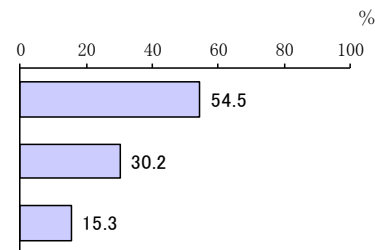


問 25-3 その際、「できれば仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに をつけ、仕事を休んで看たかとおよその日数についても数字でご記入ください。「休んで看ることは非常に難しい」と思われた場合、その理由について当てはまる記号すべてに をつけてください。

「できれば仕事を休んで看たい」の割合が 54.5%、「休んで看ることは非常に難しい」の割合が 30.2%となっています。

回答者数 = 464

できれば仕事を休んで看たい
休んで看ることは非常に難しい
無回答

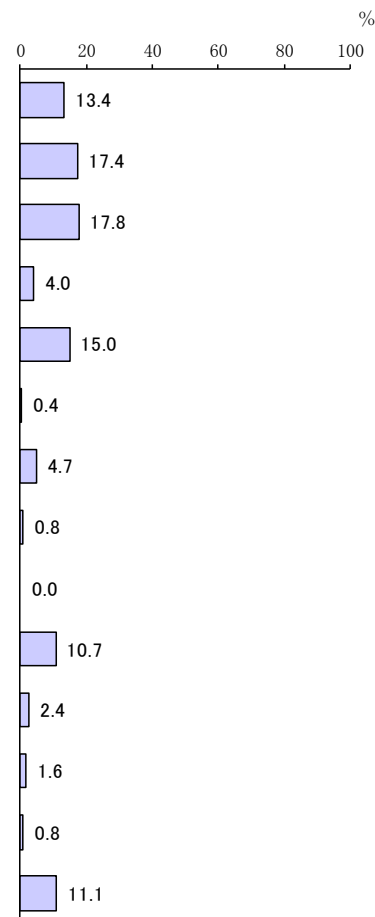


ア できれば仕事を休んで看たい日数

「3日」の割合が 17.8%と最も高く、次いで「2日」の割合が 17.4%、「5日」の割合が 15.0%となっています。

回答者数 = 253

1日
2日
3日
4日
5日
6日
7日
8日
9日
10日
11~15日
16~20日
21日以上
無回答

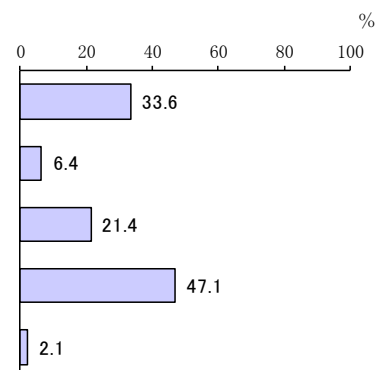


イ 休んで看ることは非常に難しい

「子どもの看護を理由に休みがとれない」の割合が 33.6%と最も高く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」の割合が 21.4%となっています。

回答者数 = 140

子どもの看護を理由に休みがとれない
自営業なので休めない
休暇日数が足りないので休めない
その他
無回答

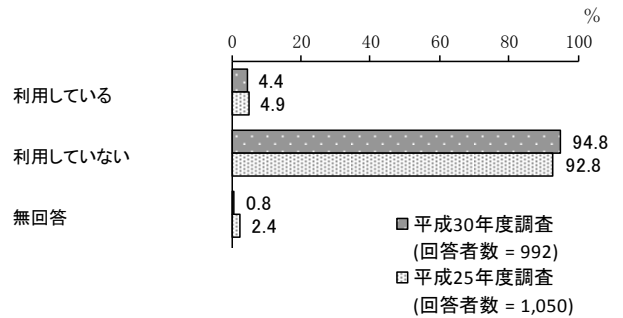


(9) お子さんの不特定の教育・保育事業や一時預かり等の利用について

問 26 お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、不定期に利用している教育・保育事業はありますか。当てはまる番号1つに をつけてください。

「利用している」の割合が 4.4%、「利用していない」の割合が 94.8%となっています。

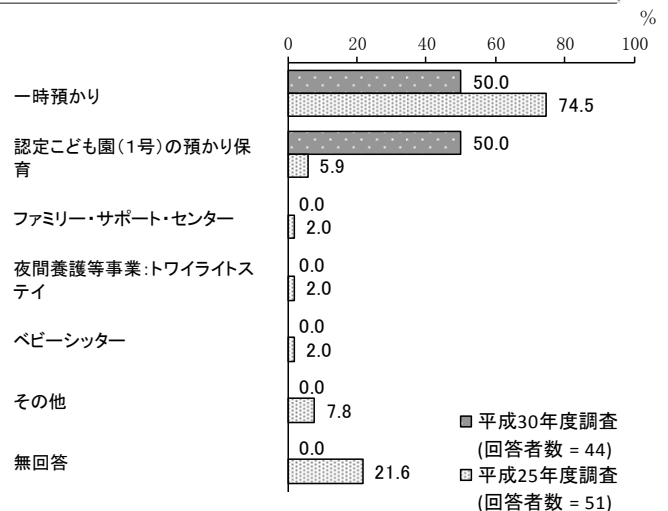
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 26-1 利用している場合は、当てはまる番号すべてに をつけ、1年間の利用日数(おおよそ)も 内に数字でご記入ください。

「一時預かり」、「認定こども園(1号)の預かり保育」の割合が 50.0%と最も高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「認定こども園(1号)の預かり保育」の割合が増加しています。一方、「一時預かり」の割合が減少しています。



利用日数

利用日数をみると、他に比べ、認定こども園（1号）の預かり保育で「21日以上」の割合が、一時預かりで「2日」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11～15日	16～20日	21日以上	無回答
一時預かり	22	13.6	9.1	22.7	-	9.1	-	-	-	-	36.4	9.1	-	-	-
認定こども園（1号）の預かり保育	22	-	9.1	13.6	-	-	4.5	-	-	-	9.1	4.5	4.5	45.5	9.1
ファミリー・サポート・センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
夜間養護等事業：トワイライトステイ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ベビーシッター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問 26-2 現在、利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに をつけてください。

「特に利用する必要がない」の割合が 84.8% と最も高く、次いで「事業の利用方法(手続き等)がわからない」の割合が 11.8% となっています。

回答者数 = 940

特に利用する必要がない

利用したい事業が地域にない

地域の事業の質に不安がある

地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数等)がよい

利用料がかかる・高い

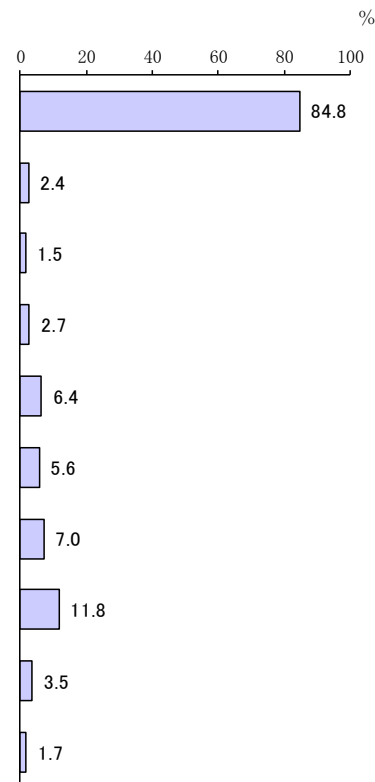
利用料がわからない

自分が事業の対象者になるのかどうかわからない

事業の利用方法(手続き等)がわからない

その他

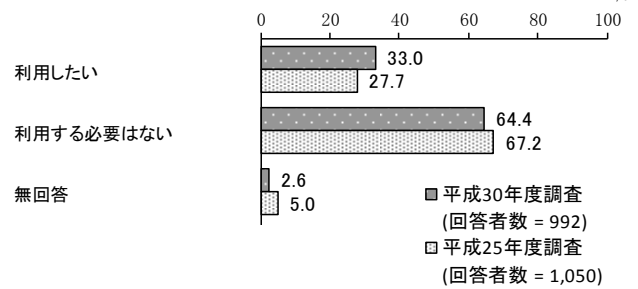
無回答



問 27 今後、お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、不定期に事業を利用する必要があると思いますか。当てはまる番号1つに をつけてください。なお、事業の利用にあたっては一定の利用料がかかります。

「利用したい」の割合が33.0%、「利用する必要はない」の割合が64.4%となっています。

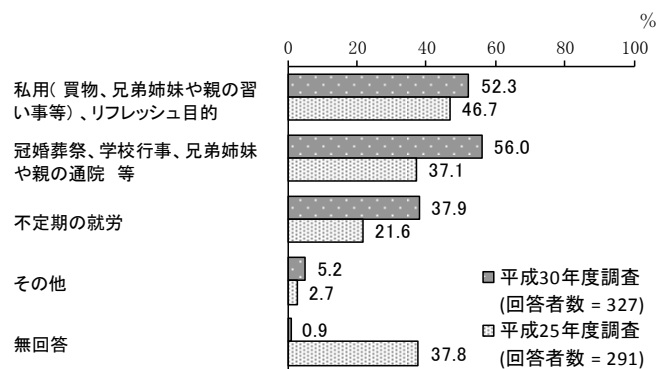
平成 25 年度調査と比較すると、「利用したい」の割合が増加しています。



問 27-1 利用したい目的に当てはまる番号すべてに をつけ、必要と思われる年間の日数を 内に数字でご記入ください。

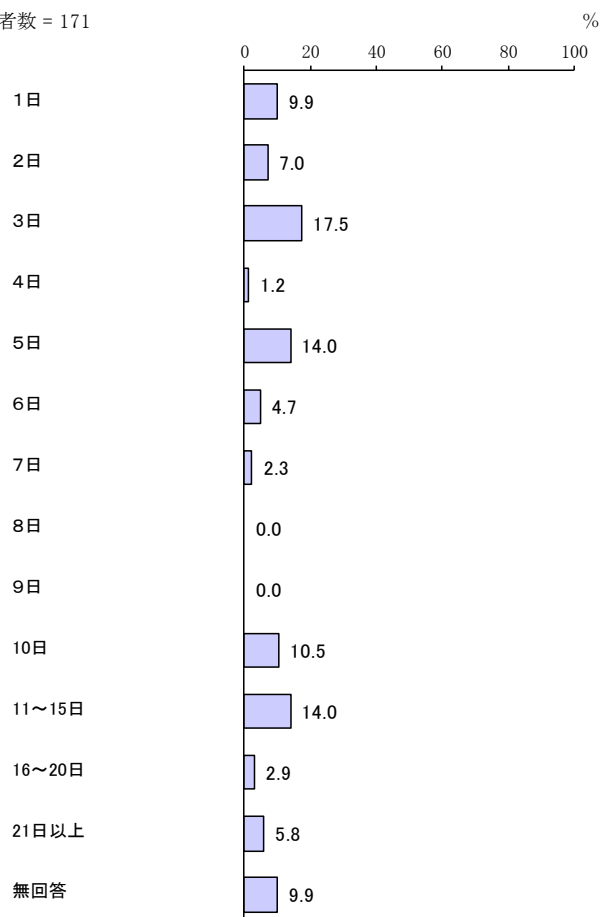
「冠婚葬祭、学校行事、兄弟姉妹や親の通院等」の割合が56.0%と最も高く、次いで「私用(買物、兄弟姉妹や親の習い事等)、リフレッシュ目的」の割合が52.3%、「不定期の就労」の割合が37.9%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「私用(買物、兄弟姉妹や親の習い事等)、リフレッシュ目的」「冠婚葬祭、学校行事、兄弟姉妹や親の通院 等」「不定期の就労」の割合が増加しています。



ア 私用(買物、兄弟姉妹や親の習い事等)、リフレッシュ目的

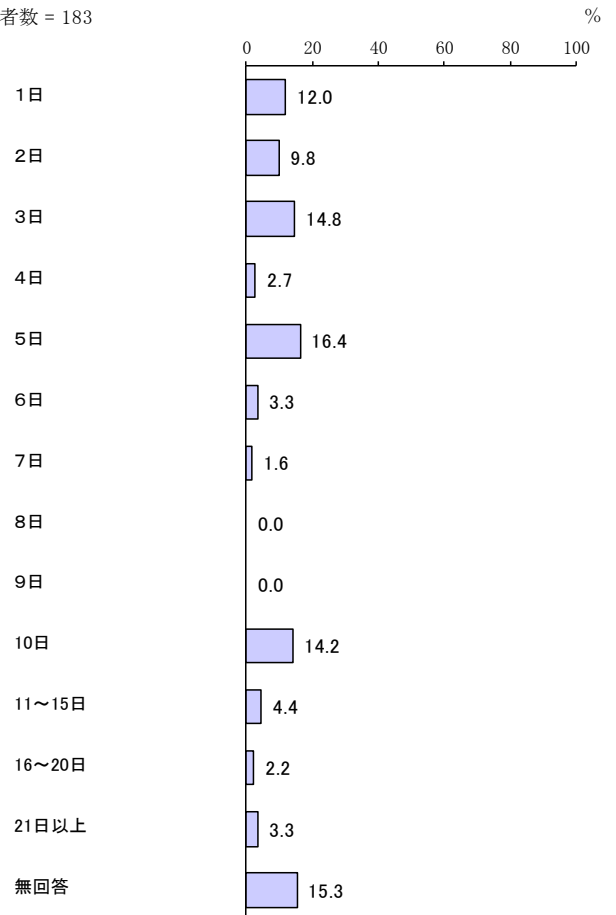
「3日」の割合が17.5%と最も高く、次いで「5日」、「11~15日」の割合が14.0%となっています。



イ 冠婚葬祭、学校行事、兄弟姉妹や親の通院等

「5日」の割合が16.4%と最も高く、次いで「3日」の割合が14.8%、「10日」の割合が14.2%となっています。

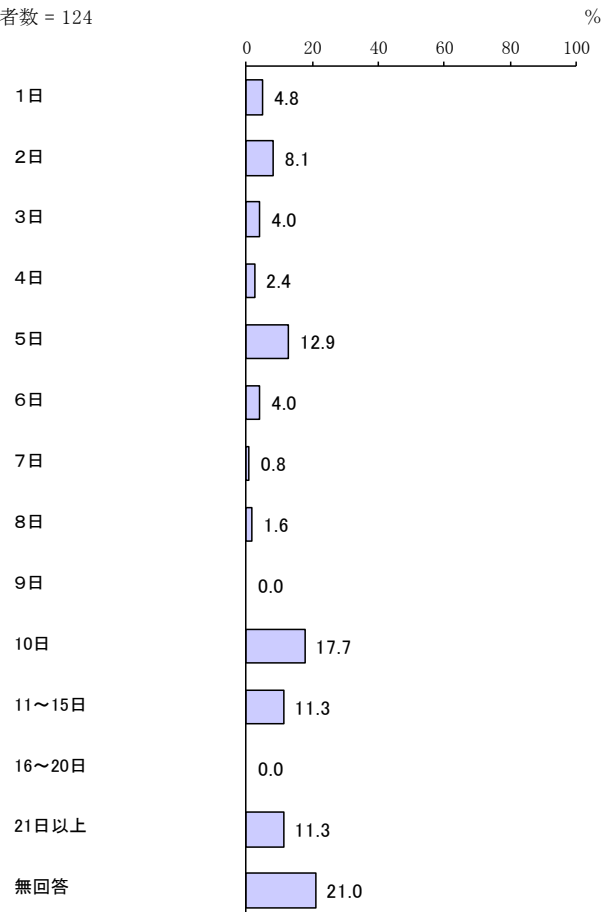
回答者数 = 183



ウ 不定期の就労

「10日」の割合が17.7%と最も高く、次いで「5日」の割合が12.9%、「11~15日」、「21日以上」の割合が11.3%となっています。

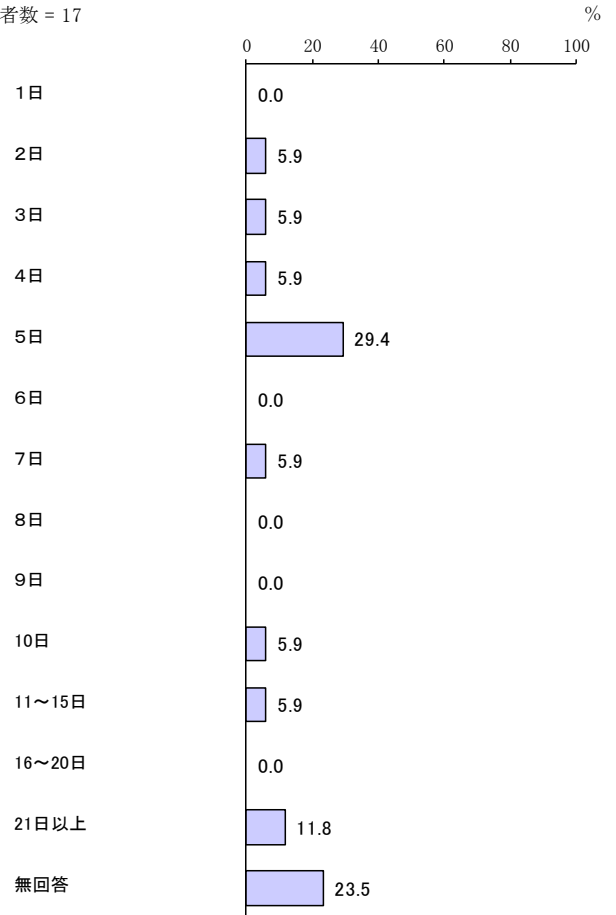
回答者数 = 124



エ その他

「5日」の割合が29.4%と最も高く、次いで「21日以上」の割合が11.8%となっています。

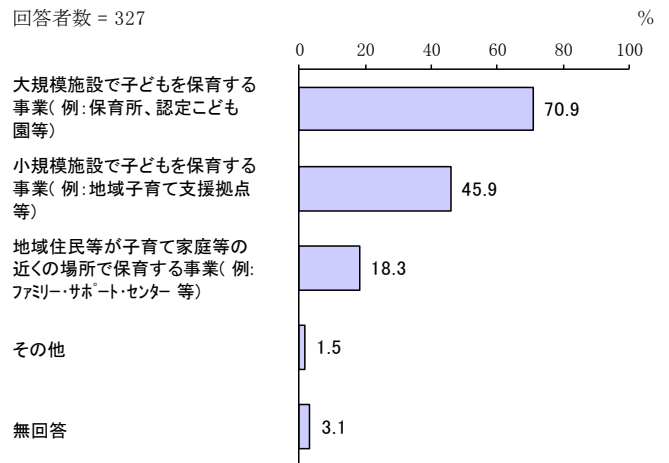
回答者数 = 17



問 27-2 問 27-1 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるか。当てはまる番号すべてに をつけてください。

「大規模施設で子どもを保育する事業(例：保育所、認定こども園等)」の割合が70.9%と最も高く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業(例：地域子育て支援拠点等)」の割合が45.9%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業(例：ファミリー・サポート・センター等)」の割合が18.3%となっています。

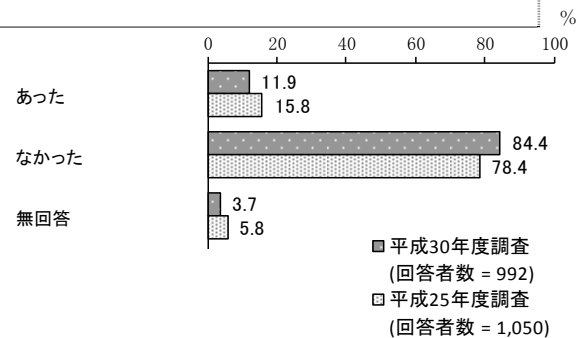
回答者数 = 327



問 28 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気等)により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。当てはまる番号1つに をつけてください。

「あった」の割合が11.9%、「なかった」の割合が84.4%となっています。

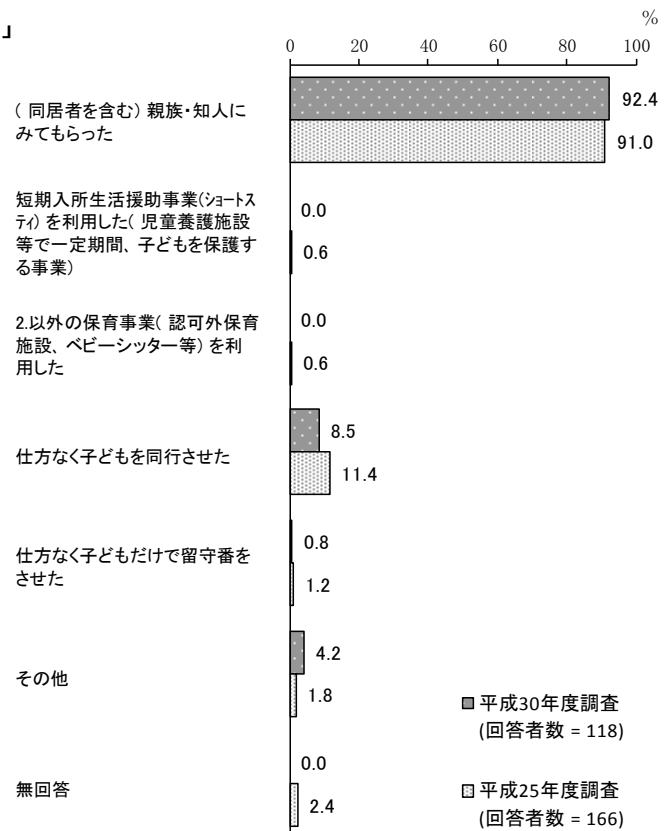
平成25年度調査と比較すると、「なかった」の割合が増加しています。



問 28-1 あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに をつけ、それぞれの日数も 内に数字でご記入ください。

「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」の割合が92.4%と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



利用希望事業

利用希望事業をみると、他に比べ、(同居者を含む)親族・知人にみてもらったで「1泊」の割合が、仕方なく子どもを同行させたで「2泊」の割合が高くなっています。

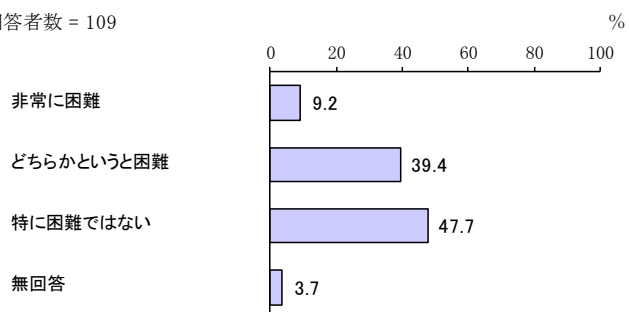
単位：%

区分	回答者数(件)	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊	7泊	8泊	9泊	10泊	11 ~ 15泊	16 ~ 20泊	21泊 以上	無回答
(同居者を含む)親族・知人にみてもらった	109	37.6	9.2	7.3	7.3	7.3	3.7	7.3	0.9	-	8.3	0.9	-	6.4	3.7
短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
仕方なく子どもを同行させた	10	20.0	40.0	-	-	20.0	-	-	-	-	10.0	-	-	-	10.0
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
その他	5	-	80.0	-	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問 28-2 その際、困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに をつけてください。

「特に困難ではない」の割合が 47.7%と最も高く、次いで「どちらかという困難」の割合が 39.4%となっています。

回答者数 = 109



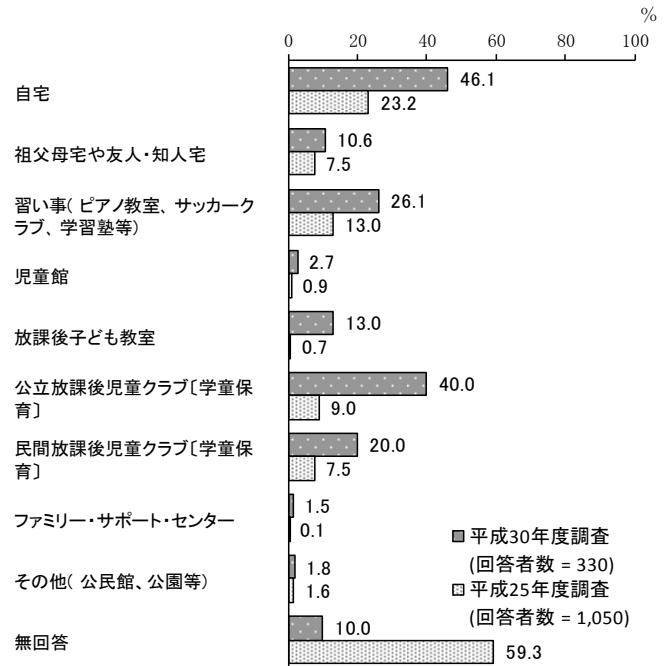
(10) 小学校就学後の放課後の過ごし方について

問 29 お子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も 内に数字でご記入ください。時間は、(例)18時30分のように24時間制でご記入ください。

小学校低学年（1～3年生）

「自宅」の割合が46.1%と最も高く、次いで「公立放課後児童クラブ〔学童保育〕」の割合が40.0%、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等)」の割合が26.1%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「自宅」「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等)」「放課後子ども教室」「公立放課後児童クラブ〔学童保育〕」「民間放課後児童クラブ〔学童保育〕」の割合が増加しています。



(ア) 希望

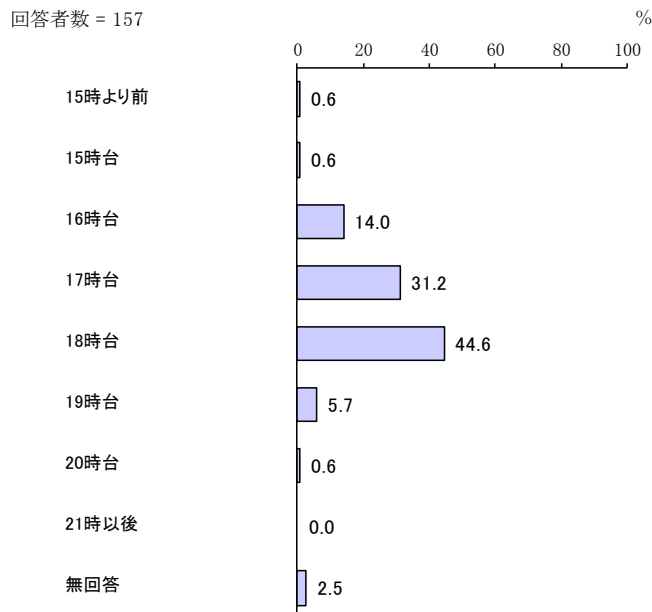
希望をみると、他に比べ、学童保育で「5日」の割合が、習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等)で「1日」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
自宅	152	1.3	7.2	13.8	10.5	55.9	0.7	4.6	5.9
祖父母宅や友人・知人宅	35	25.7	17.1	5.7	-	40.0	-	-	11.4
習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等)	86	53.5	37.2	7.0	-	1.2	-	-	1.2
児童館	9	22.2	11.1	22.2	-	33.3	11.1	-	-
放課後子ども教室	43	41.9	16.3	2.3	4.7	25.6	-	-	9.3
学童保育	157	1.3	3.2	9.6	8.3	70.7	5.1	-	1.9
ファミリー・サポート・センター	5	20.0	-	-	-	20.0	-	-	60.0
その他(公民館、公園等)	6	33.3	16.7	-	-	33.3	-	-	16.7

(イ)〔学童保育〕

「18 時台」の割合が 44.6%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 31.2%、「16 時台」の割合が 14.0%となっています。

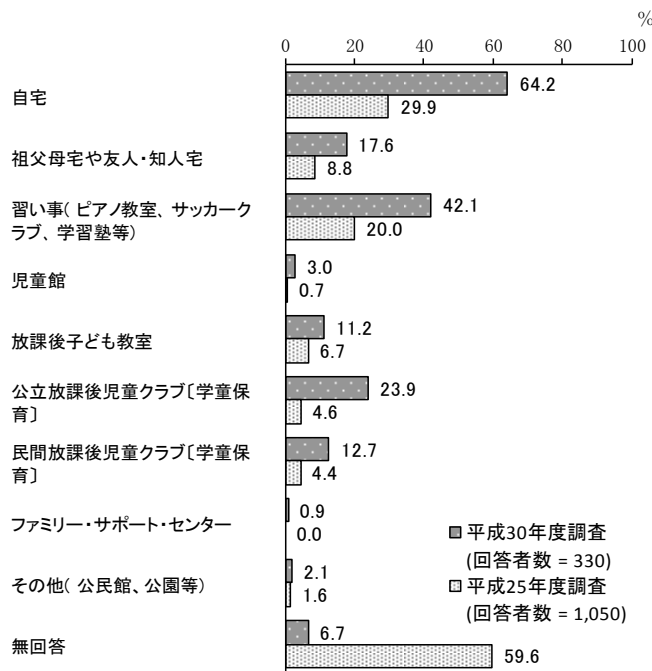


問 30 お子さんについて、小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も 内に数字でご記入ください。時間は、(例)18時30分のように24時間制でご記入ください。

小学校高学年(4～6年生)

「自宅」の割合が 64.2%と最も高く、次いで「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等)」の割合が 42.1%、「公立放課後児童クラブ〔学童保育〕」の割合が 23.9%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「自宅」「祖父母宅や友人・知人宅」「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等)」「公立放課後児童クラブ〔学童保育〕」「民間放課後児童クラブ〔学童保育〕」の割合が増加しています。



(ア) 希望

希望をみると、他に比べ、放課後子ども教室で「1日」の割合が、学童保育で「5日」の割合が高くなっています。

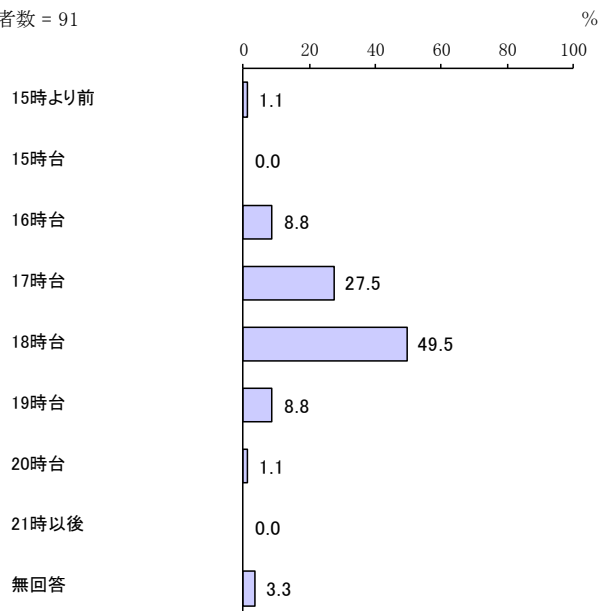
単位：%

区分	回答者数(件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
自宅	212	1.9	10.8	17.9	8.0	53.3	1.4	1.9	4.7
祖父母宅や友人・知人宅	58	6.9	39.7	13.8	3.4	29.3	-	-	6.9
習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等)	139	35.3	40.3	18.0	-	2.9	-	0.7	2.9
児童館	10	20.0	30.0	20.0	-	20.0	10.0	-	-
放課後子ども教室	37	40.5	18.9	8.1	2.7	21.6	-	-	8.1
学童保育	91	2.2	6.6	15.4	5.5	59.3	7.7	-	3.3
ファミリー・サポート・センター	3	66.7	-	-	-	33.3	-	-	-
その他(公民館、公園等)	7	28.6	28.6	-	-	28.6	-	-	14.3

(イ)〔学童保育〕

「18時台」の割合が49.5%と最も高く、次いで「17時台」の割合が27.5%となっています。

回答者数 = 91



問 31 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。(1)～(3)それぞれについて、当てはまる番号1つにをつけてください。また、利用したい時間帯を、 内に(例) 9時30分～18時30分のように24時間制でご記入ください。事業の利用には、一定の利用料がかかります。

ア 土曜日

「利用する必要はない」の割合が 65.8%と最も高く、次いで「低学年(1～3年生)の間は利用したい」の割合が 11.8%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」の割合が 10.6%となっています。

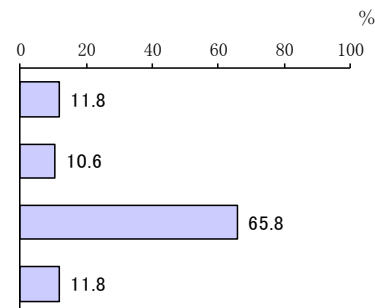
回答者数 = 161

低学年(1～3年生)の間は利用したい

高学年(4～6年生)になっても利用したい

利用する必要はない

無回答



(ア) 希望利用開始時刻

「8時台」の割合が 66.7%と最も高く、次いで「7時台」の割合が 22.2%となっています。

回答者数 = 36

6時以前

6時台

7時台

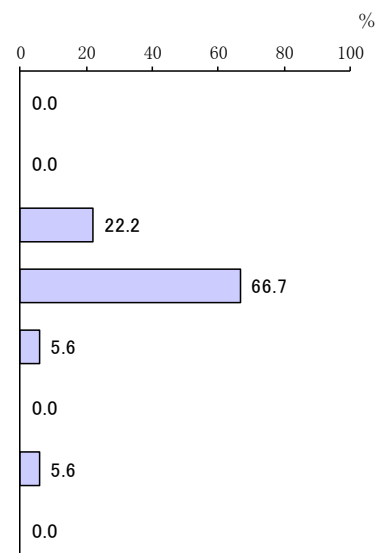
8時台

9時台

10時台

11時以降

無回答



(イ) 希望利用終了時間

「18時台」の割合が 52.8%と最も高く、次いで「17時台」の割合が 13.9%、「19時台」の割合が 11.1%となっています。

回答者数 = 36

13時より前

13時台

14時台

15時台

16時台

17時台

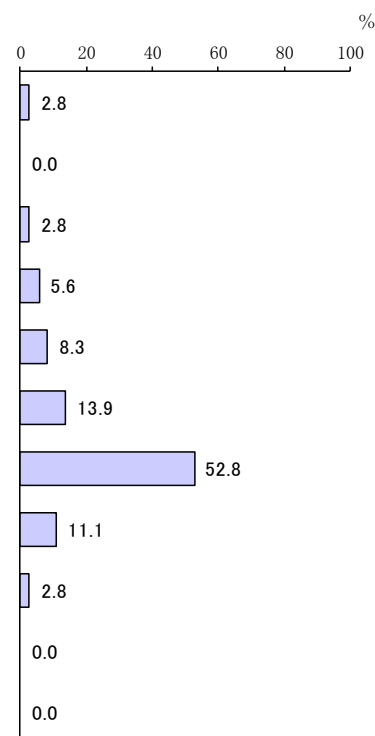
18時台

19時台

20時台

21時以後

無回答



イ 日曜・祝日

「利用する必要はない」の割合が 78.3%と最も高くなっています。

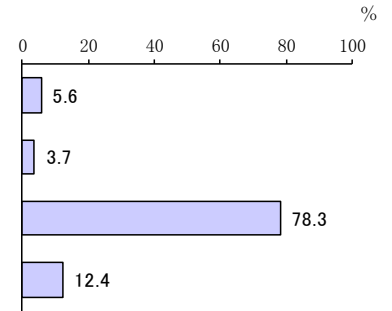
回答者数 = 161

低学年(1~3年生)の間は利用したい

高学年(4~6年生)になっても利用したい

利用する必要はない

無回答



(ア) 希望利用開始時刻

「7時台」、「8時台」の割合が 46.7%と最も高くなっています。

回答者数 = 15

6時以前

6時台

7時台

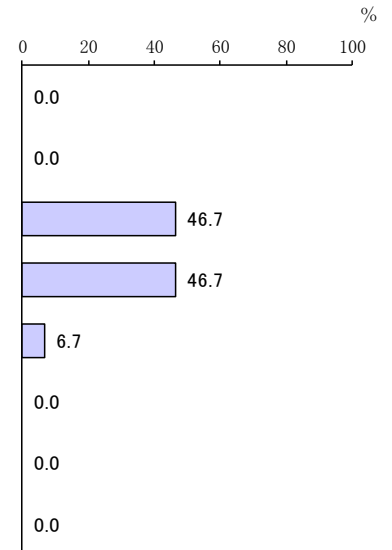
8時台

9時台

10時台

11時以降

無回答



(イ) 希望利用終了時間

「18時台」の割合が 53.3%と最も高く、次いで「17時台」の割合が 33.3%、「19時台」の割合が 13.3%となっています。

回答者数 = 15

13時より前

13時台

14時台

15時台

16時台

17時台

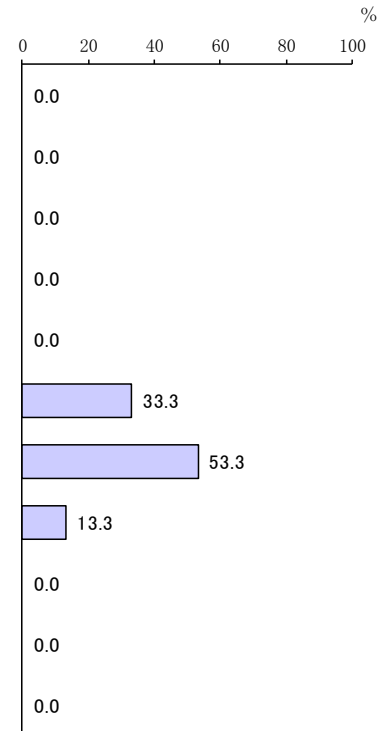
18時台

19時台

20時台

21時以後

無回答

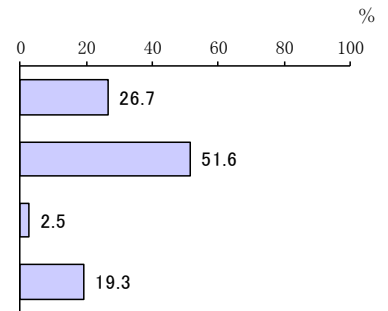


ウ 夏休み・冬休み等の長期の休暇期間中

「高学年(4~6年生)になっても利用したい」の割合が51.6%と最も高く、次いで「低学年(1~3年生)の間は利用したい」の割合が26.7%となっています。

回答者数 = 161

低学年(1~3年生)の間は利用したい
高学年(4~6年生)になっても利用したい
利用する必要はない
無回答

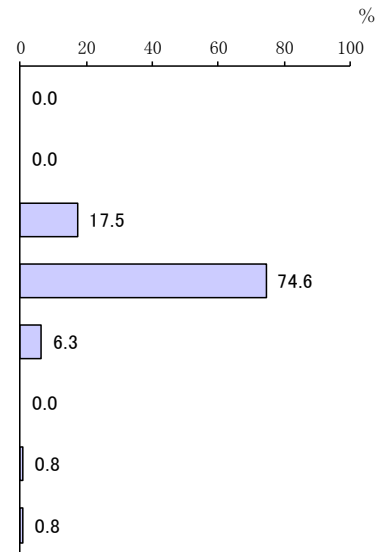


(ア) 希望利用開始時刻

「8時台」の割合が74.6%と最も高く、次いで「7時台」の割合が17.5%となっています。

回答者数 = 126

6時以前
6時台
7時台
8時台
9時台
10時台
11時以降
無回答

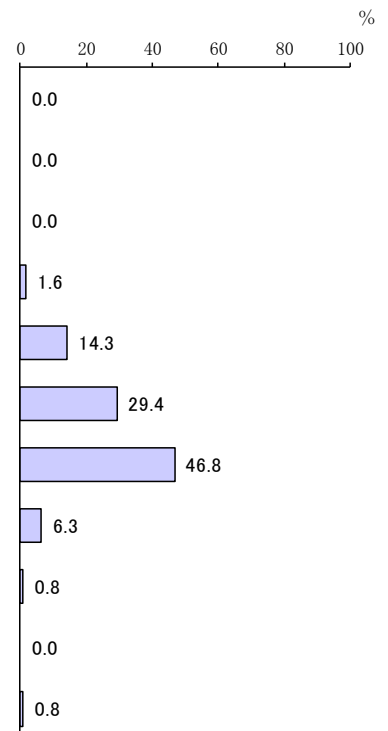


(イ) 希望利用終了時間

「18時台」の割合が46.8%と最も高く、次いで「17時台」の割合が29.4%、「16時台」の割合が14.3%となっています。

回答者数 = 126

13時より前
13時台
14時台
15時台
16時台
17時台
18時台
19時台
20時台
21時以後
無回答



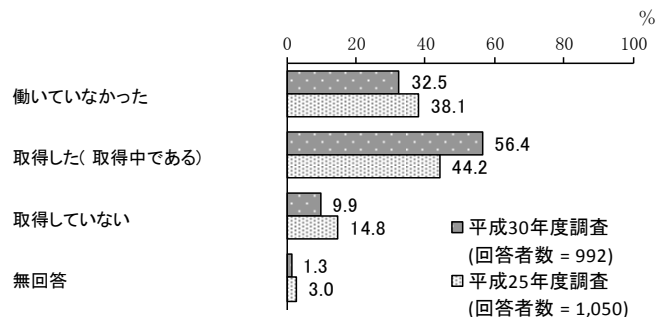
(11) 育児休業や短時間勤務制度等、職場の両立支援制度について

問 32 お子さんが生まれた時、父母のいずれか、もしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つにをつけてください。また、取得していない方は、下表から、その理由として当てはまる番号すべてを上表 枠内にご記入ください。

ア 母親

「取得した(取得中である)」の割合が56.4%と最も高く、次いで「働いていなかった」の割合が32.5%となっています。

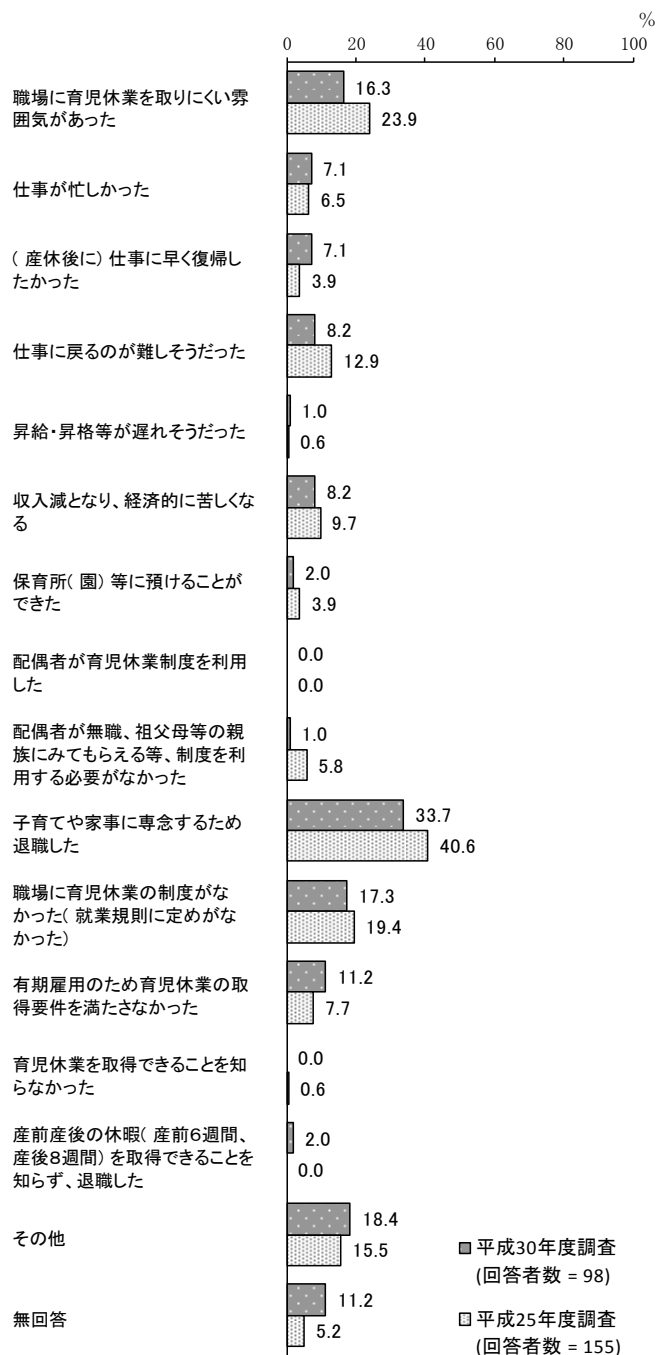
平成25年度調査と比較すると、「取得した(取得中である)」の割合が増加しています。一方、「働いていなかった」の割合が減少しています。



母親の取得していない理由

「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が33.7%と最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」の割合が17.3%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が16.3%となっています。

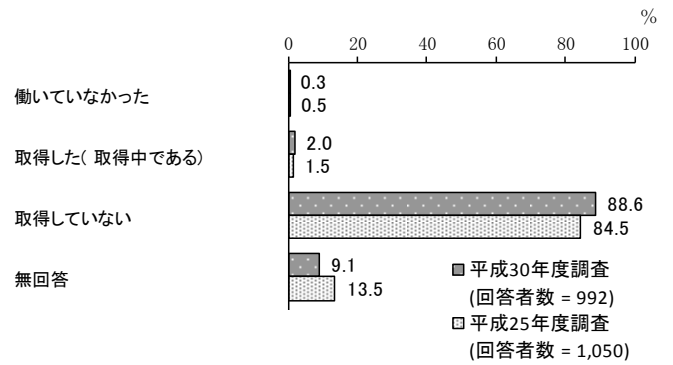
平成25年度調査と比較すると、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が減少しています。



イ 父親

「取得していない」の割合が 88.6%と最も高くなっています。

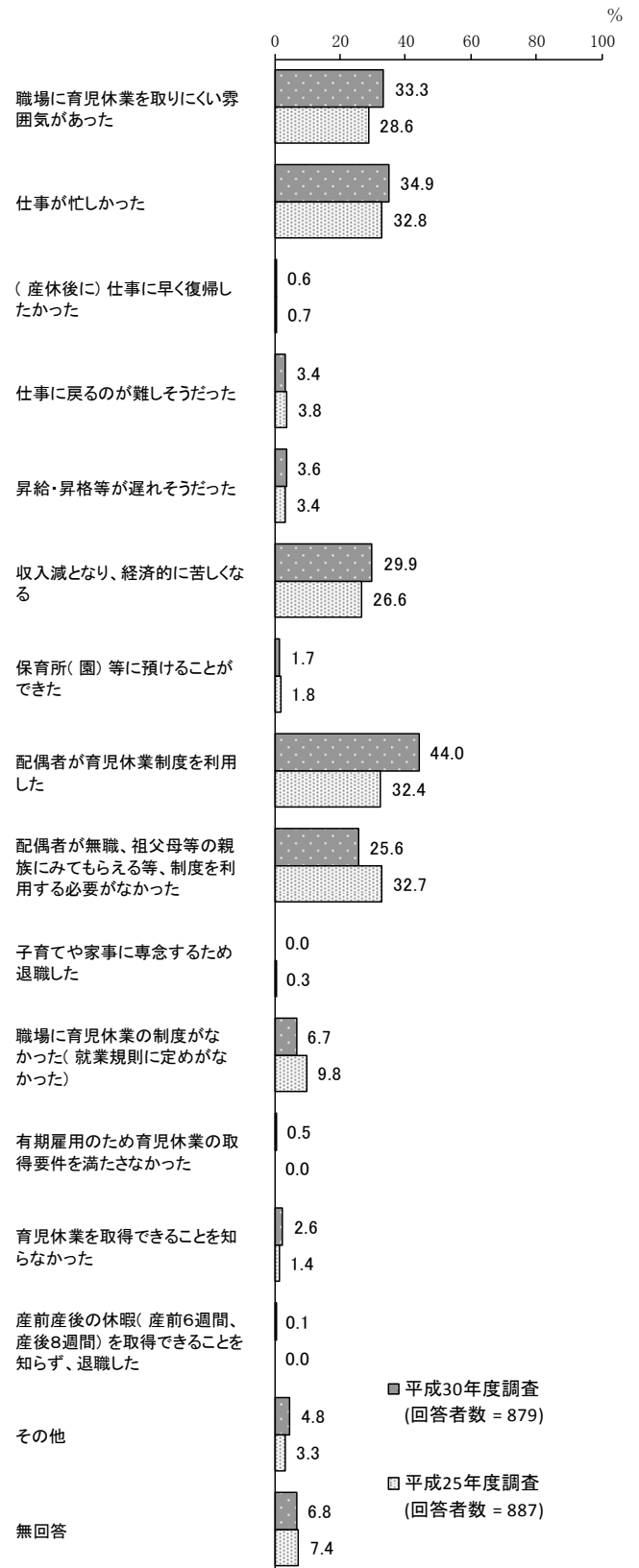
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



父親の取得していない理由

「配偶者が育児休業制度を利用した」の割合が 44.0%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」の割合が 34.9%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が 33.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「配偶者が育児休業制度を利用した」の割合が増加しています。一方、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえる等、制度を利用する必要がなかった」の割合が減少しています。



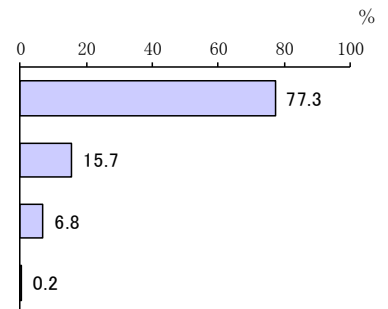
問 32-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに をつけてください。

ア 母親

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が77.3%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」の割合が15.7%となっています。

回答者数 = 559

育児休業取得後、職場に復帰した
現在も育児休業中である
育児休業中に離職した
無回答

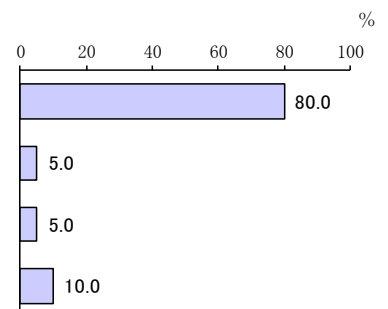


イ 父親

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が80.0%と最も高くなっています。

回答者数 = 20

育児休業取得後、職場に復帰した
現在も育児休業中である
育児休業中に離職した
無回答



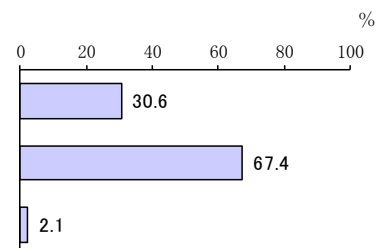
問 32-2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに をつけてください。

ア 母親

「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が30.6%、「それ以外だった」の割合が67.4%となっています。

回答者数 = 432

年度初めの入所に合わせたタイミングだった
それ以外だった
無回答

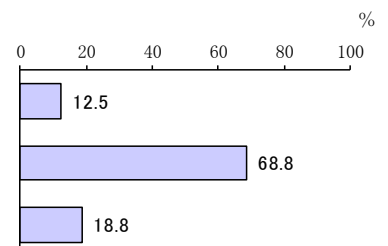


イ 父親

「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が12.5%、「それ以外だった」の割合が68.8%となっています。

回答者数 = 16

年度初めの入所に合わせたタイミングだった
それ以外だった
無回答



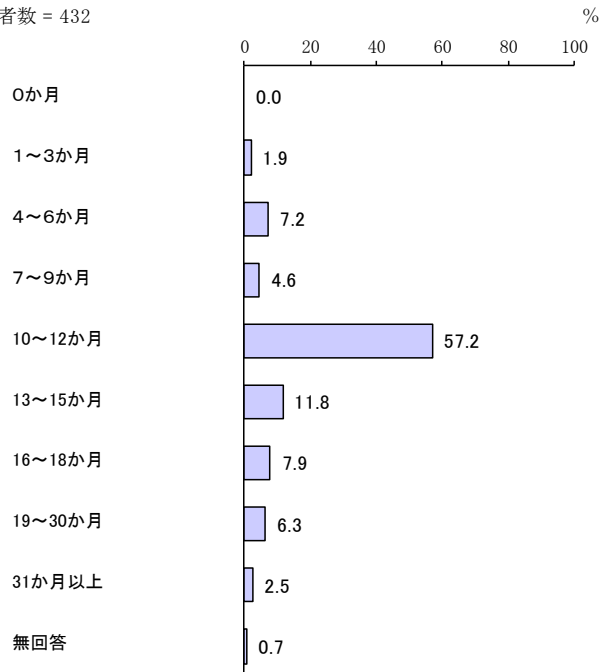
問 32-3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。 内に数字でご記入ください。

ア 母親

(ア) 実際の取得期間

「10～12 か月」の割合が 57.2%と最も高く、次いで「13～15 か月」の割合が 11.8%となっています。

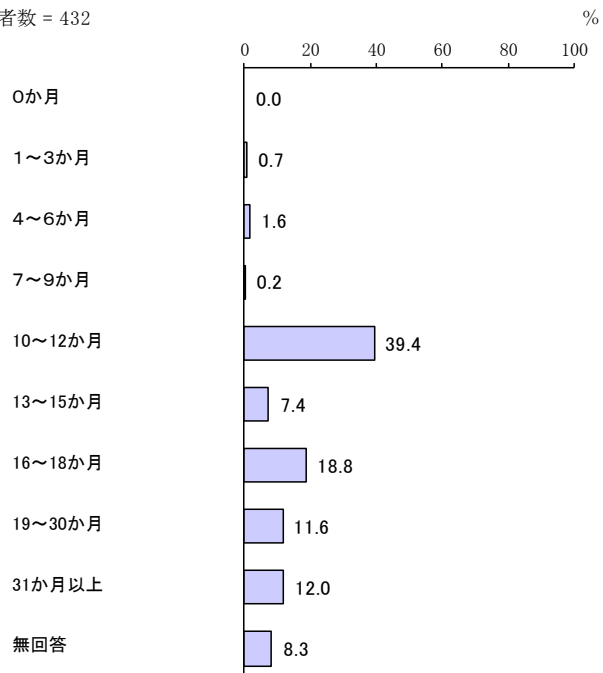
回答者数 = 432



(イ) 取得期間

「10～12 か月」の割合が 39.4%と最も高く、次いで「16～18 か月」の割合が 18.8%、「31 か月以上」の割合が 12.0%となっています。

回答者数 = 432

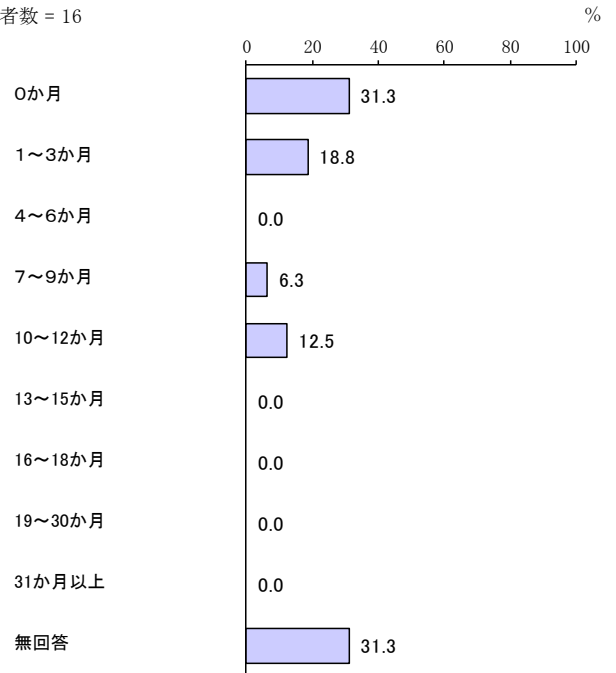


イ 父親

(ア) 取得期間

「0か月」の割合が31.3%と最も高く、次いで「1～3か月」の割合が18.8%、「10～12か月」の割合が12.5%となっています。

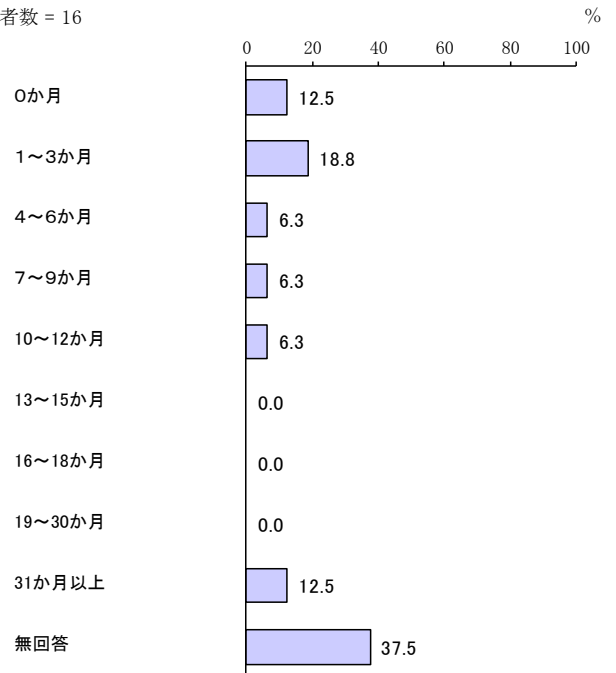
回答者数 = 16



(イ) 取得期間

「1～3か月」の割合が18.8%と最も高く、次いで「0か月」、「31か月以上」の割合が12.5%となっています。

回答者数 = 16

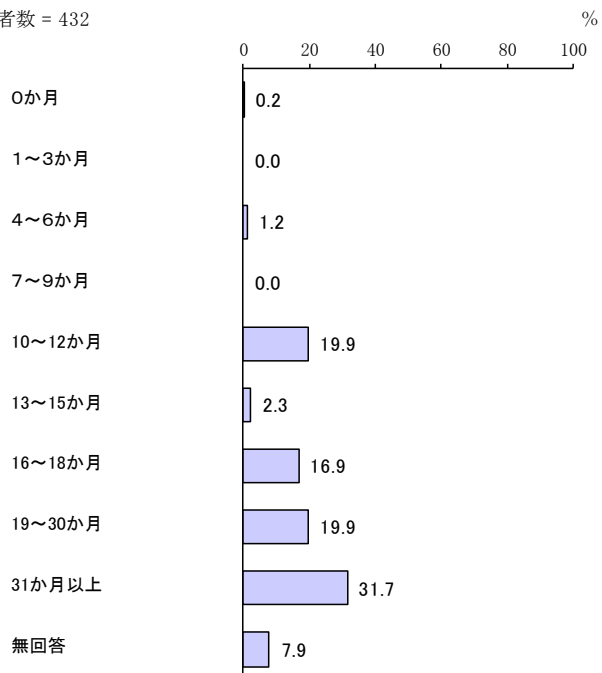


問 32-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。 内に数字でご記入ください。

ア 母親

「31 か月以上」の割合が 31.7%と最も高く、次いで「10～12 か月」、「19～30 か月」の割合が 19.9%となっています。

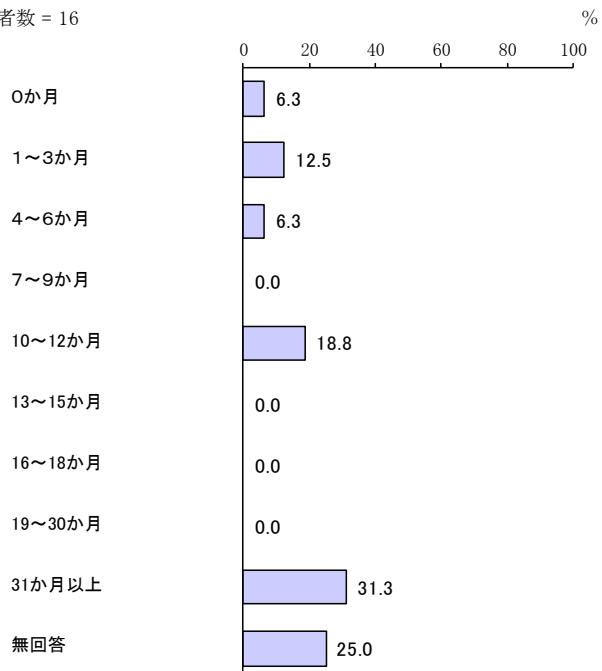
回答者数 = 432



イ 父親

「31 か月以上」の割合が 31.3%と最も高く、次いで「10～12 か月」の割合が 18.8%、「1～3 か月」の割合が 12.5%となっています。

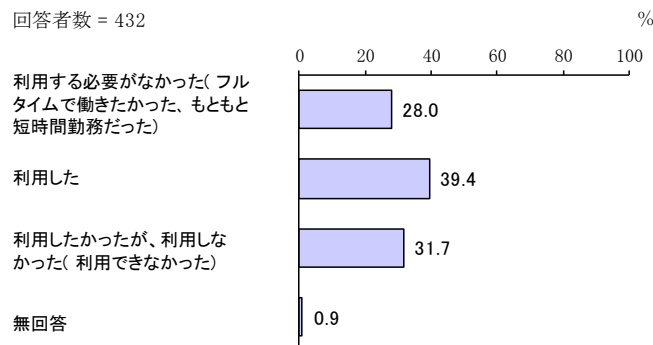
回答者数 = 16



問 32-5 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに をつけてください。

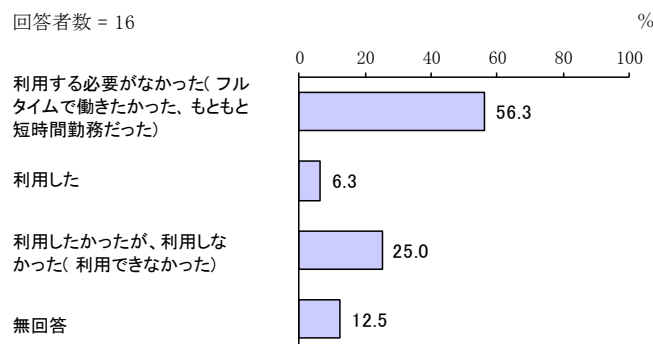
ア 母親

「利用した」の割合が 39.4%と最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」の割合が 31.7%、「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」の割合が 28.0%となっています。



イ 父親

「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」の割合が 56.3%と最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」の割合が 25.0%となっています。

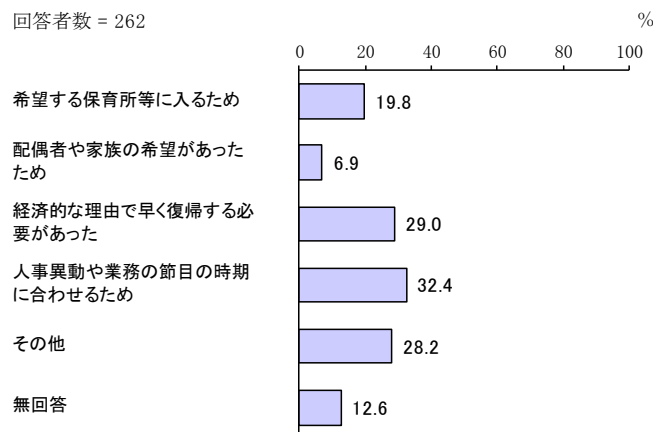


問 32-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

ア 「希望」より早く復帰した方

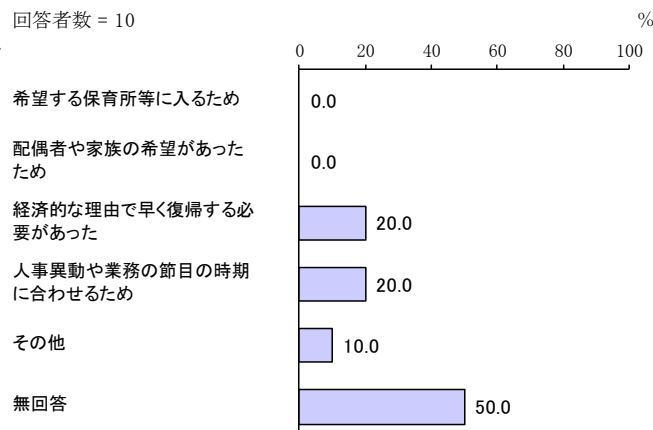
(ア) 母親の希望より早く復帰した理由

「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 32.4%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が 29.0%、「希望する保育所等に入るため」の割合が 19.8%となっています。



(イ) 父親の希望より早く復帰した理由

「経済的な理由で早く復帰する必要があった」、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 20.0%と最も高くなっています。



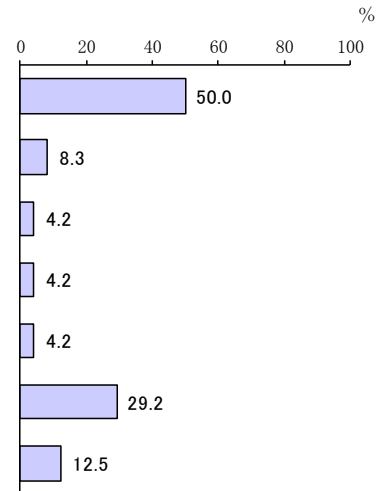
イ 「希望」より遅く復帰した方

(ア) 母親の望より遅く復帰した理由

「希望する保育所等に入れなかったため」の割合が50.0%と最も高くなっています。

回答者数 = 24

- 希望する保育所等に入れなかったため
- 自分や子ども等の体調が思わしくなかったため
- 配偶者や家族の希望があったため
- 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
- 子どもをみてくれる人がいなかったため
- その他
- 無回答



(イ) 父親の希望より遅く復帰した理由

有効回答がありませんでした。

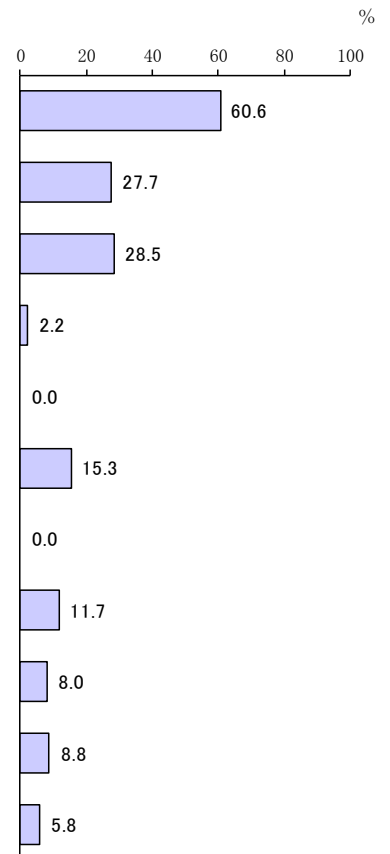
問 32-7 短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。当てはまる理由をすべてに つけてください。

ア 母親

「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が60.6%と最も高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合が28.5%、「仕事が忙しかった」の割合が27.7%となっています。

回答者数 = 137

- 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
- 仕事が忙しかった
- 短時間勤務にすると給与が減額される
- 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
- 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
- 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえる等、子どもをみてくれる人がいた
- 子育てや家事に専念するため退職した
- 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
- 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
- その他
- 無回答



イ 父親

「仕事が忙しかった」が3件となっています。
 「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえる等、子どもをみてくれる人がいた」、「短時間勤務制度を利用できることを知らなかった」が1件となっています。

回答者数 = 4

職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった

仕事が忙しかった

短時間勤務にすると給与が減額される

短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる

配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した

配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえる等、子どもをみてくれる人がいた

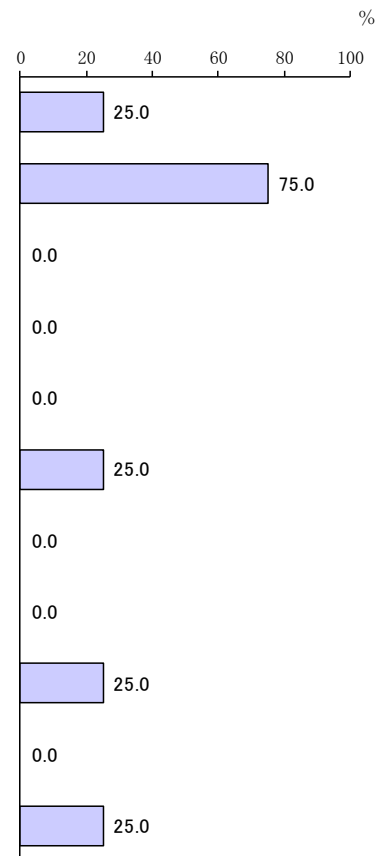
子育てや家事に専念するため退職した

職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)

短時間勤務制度を利用できることを知らなかった

その他

無回答



問 32-8 お子さんが1歳になったときに必ず預けられる事業がある場合、1歳になるまで育児休業を取得しますか、しましたか。または、1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに をつけてください。

ア 母親

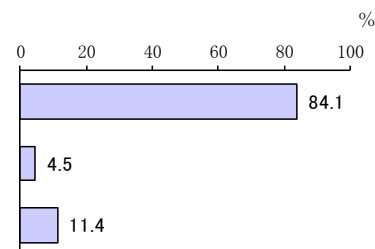
「1歳になるまで育児休業を取得したい(した)」の割合が84.1%、「1歳になる前に復帰したい」の割合が4.5%となっています。

回答者数 = 88

1歳になるまで育児休業を取得したい(した)

1歳になる前に復帰したい

無回答



イ 父親

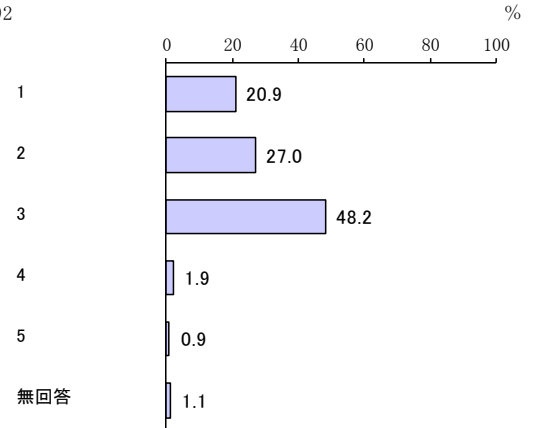
有効回答がありません。

(12) 地域の子育て支援事業全般について

問 33 児童手当について、3歳未満児までは15,000円/月、3歳～小学生までは10,000円/月(第3子以降は15,000円/月)、中学生は10,000円/月が支給されていますが、支給額について当てはまる番号に1つをつけてください。(所得制限限度額以上の場合は特例給付5,000円/月が支給されます)

「3」の割合が48.2%と最も高く、次いで「2」の割合が27.0%、「1」の割合が20.9%となっています。

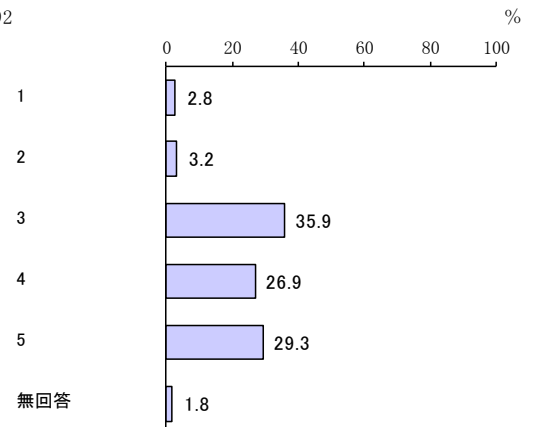
回答者数 = 992



問 34 保育所等の利用料金は国の法律及び市条例に基づき料金を設定していますが、利用料金について当てはまる番号に1つをつけてください。

「3」の割合が35.9%と最も高く、次いで「5」の割合が29.3%、「4」の割合が26.9%となっています。

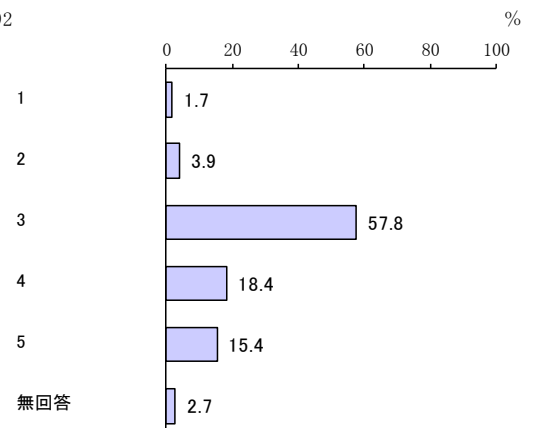
回答者数 = 992



問 35 ファミリー・サポート・センターについて、平日の7～19時までは700円/時間、それ以外は900円/時間が利用に必要ですが、利用料金について当てはまる番号に1つをつけてください。

「3」の割合が57.8%と最も高く、次いで「4」の割合が18.4%、「5」の割合が15.4%となっています。

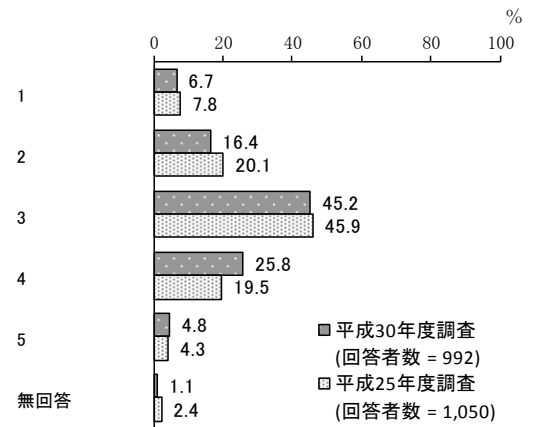
回答者数 = 992



問 36 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に1つにをつけてください。

「3」の割合が45.2%と最も高く、次いで「4」の割合が25.8%、「2」の割合が16.4%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「4」の割合が増加しています。



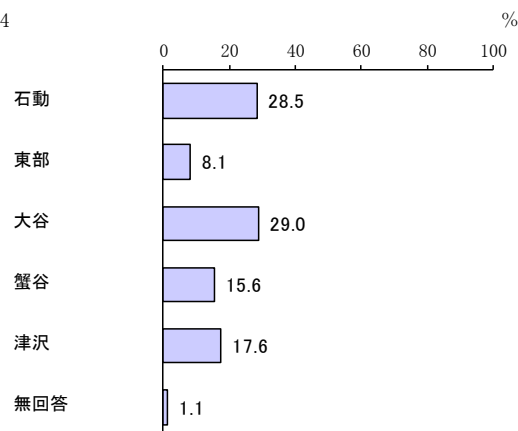
2 小学1～4年生保護者調査

(1) お住まいの地域について

問1 ご利用の小学校区として当てはまる答えの番号1つに をつけてください。

「大谷」の割合が 29.0%と最も高く、次いで「石動」の割合が 28.5%、「津沢」の割合が 17.6%となっています。

回答者数 = 754

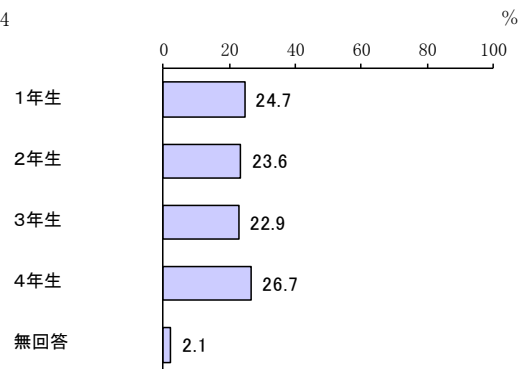


(2) お子さんのご家族の状況について

問2 お子さんの生年月をご記入ください。 内に数字でご記入ください。

「4年生」の割合が 26.7%と最も高く、次いで「1年生」の割合が 24.7%、「2年生」の割合が 23.6%となっています。

回答者数 = 754

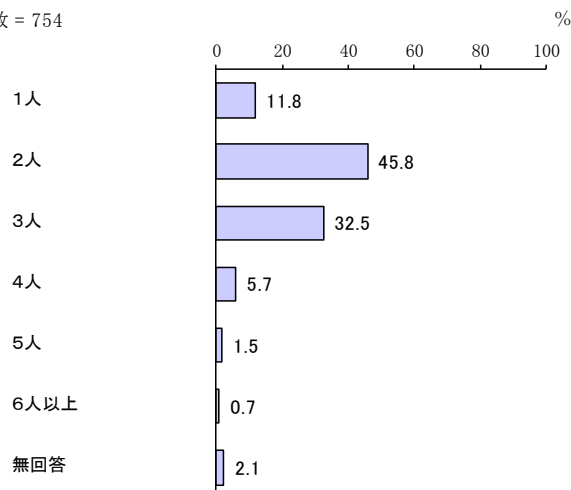


問3 お子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。お子さんを含めた人数を 内に数字でご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

(ア) きょうだい数

「2人」の割合が 45.8%と最も高く、次いで「3人」の割合が 32.5%、「1人」の割合が 11.8%となっています。

回答者数 = 754



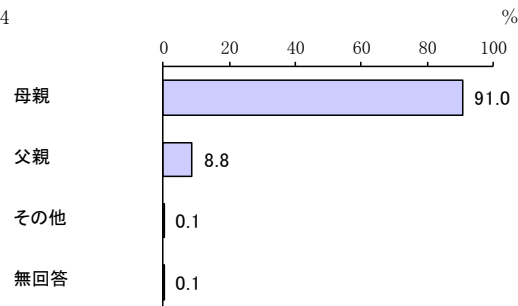
(イ) 未子の年齢

有効回答がありませんでした。

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに をつけてください。

「母親」の割合が 91.0%、「父親」の割合が 8.8%となっています。

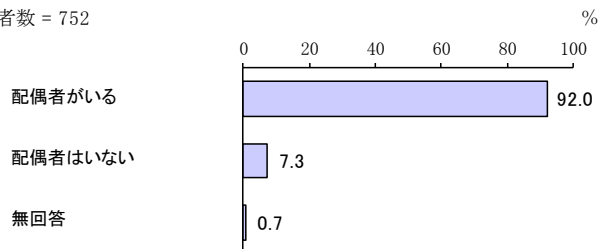
回答者数 = 754



問5 問4で、「1.母親」又は「2.父親」に○をつけた方にうかがいます。この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに をつけてください。

「配偶者がいる」の割合が 92.0%、「配偶者がいない」の割合が 7.3%となっています。

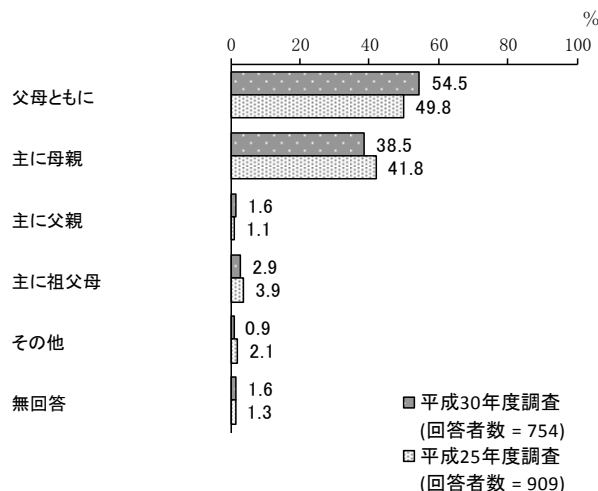
回答者数 = 752



問6 お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに をつけてください。

「父母ともに」の割合が 54.5%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が 38.5%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

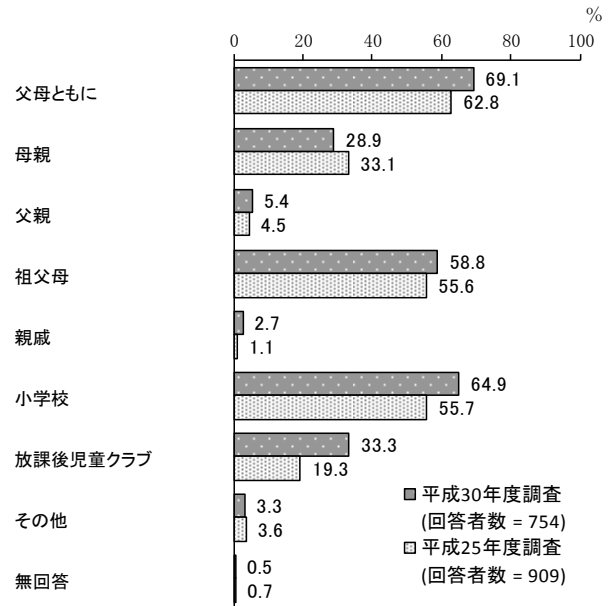


(3) お子さんの育ちをめぐる環境について

問7 お子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(子育て施設)ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに をつけてください。

「父母ともに」の割合が 69.1%と最も高く、次いで「小学校」の割合が 64.9%、「祖父母」の割合が 58.8%となっています。

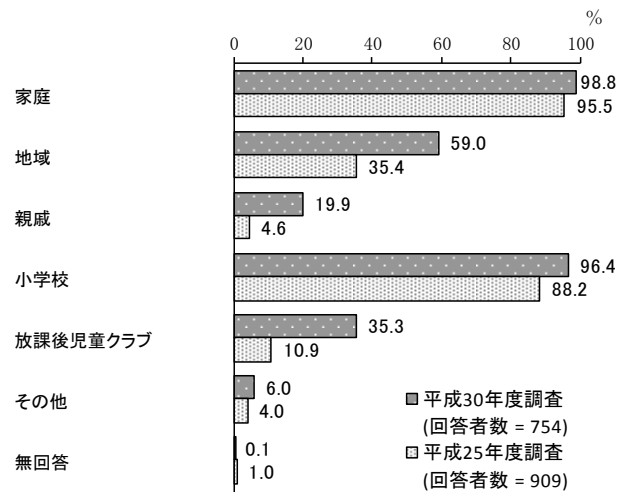
平成 25 年度調査と比較すると、「父母ともに」「小学校」「放課後児童クラブ」の割合が増加しています。



問8 お子さんの子育て(教育を含む)に、影響すると思われる環境すべてに をつけてください。

「家庭」の割合が 98.8%と最も高く、次いで「小学校」の割合が 96.4%、「地域」の割合が 59.0%となっています。

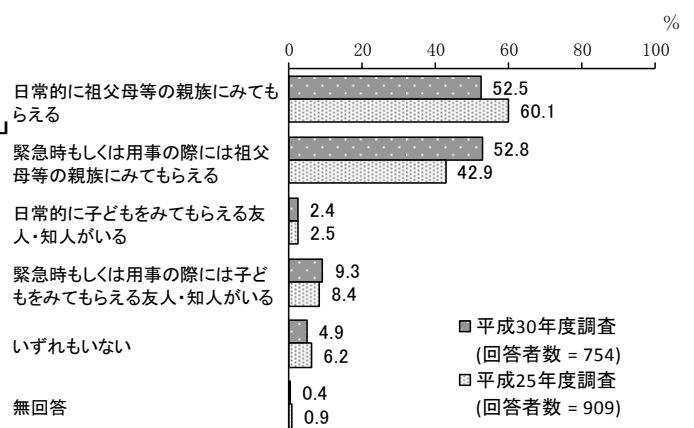
平成 25 年度調査と比較すると、「地域」「親戚」「小学校」「放課後児童クラブ」の割合が増加しています。



問9 日頃、お子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに をつけてください。

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 52.8%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 52.5%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が増加しています。一方、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が減少しています。

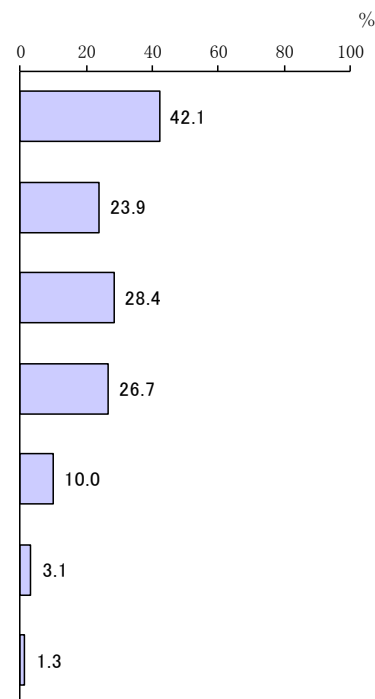


問 9 -1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当
てはまる番号すべてに をつけてください。

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時
間的制約を心配することなく、安心して子どもを
みてもらえる」の割合が 42.1%と最も高く、次
いで「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負
担が大きく心配である」の割合が 28.4%、「自分
たち親の立場として、負担をかけていることが心
苦しい」の割合が 26.7%となっています。

回答者数 = 703

- 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
- 祖父母等の親族の身体的な負担が大きく心配である
- 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
- 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
- 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
- その他
- 無回答

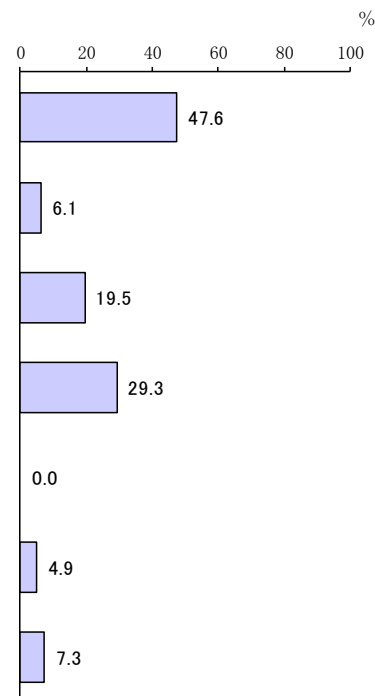


問 9 -2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当
てはまる番号すべてに をつけてください。

「友人・知人の負担や身体的・精神的な時間的
制約を心配することなく、安心して子どもをみて
もらえる」の割合が 47.6%と最も高く、次いで
「自分たち親の立場として、負担をかけているこ
とが心苦しい」の割合が 29.3%、「友人・知人の
時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」
の割合が 19.5%となっています。

回答者数 = 82

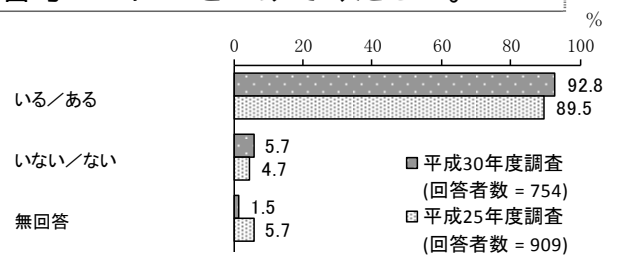
- 友人・知人の負担や身体的・精神的な時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
- 友人・知人の身体的な負担が大きく心配である
- 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
- 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
- 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
- その他
- 無回答



問 10 お子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに をつけてください。

「いる/ある」の割合が92.8%、「いない/ない」の割合が5.7%となっています。

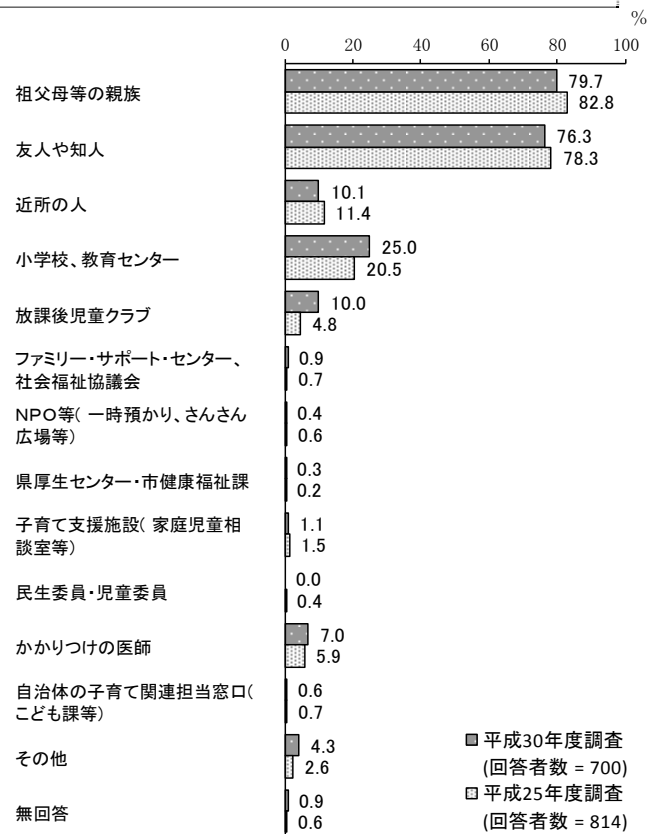
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 10-1 お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。当てはまる番号すべてに をつけてください。

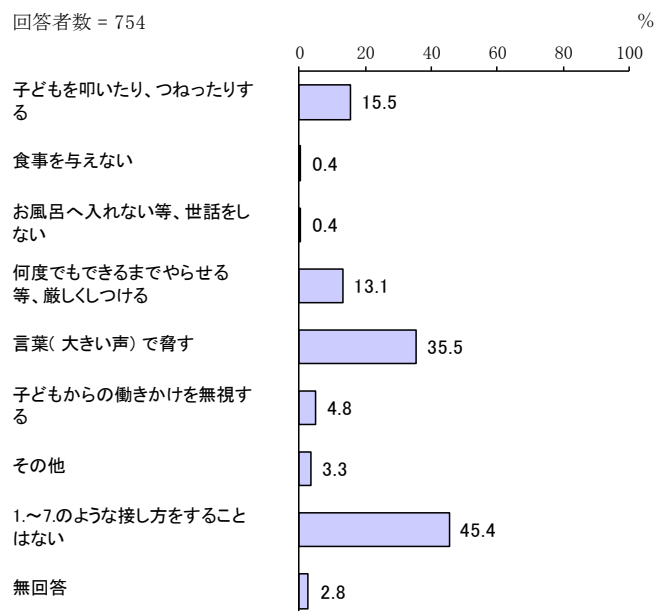
「祖父母等の親族」の割合が79.7%と最も高く、次いで「友人や知人」の割合が76.3%、「小学校、教育センター」の割合が25.0%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「放課後児童クラブ」の割合が増加しています。



問 12 お子さんへの接し方について、自分が当てはまると思う番号すべてに をつけてください。

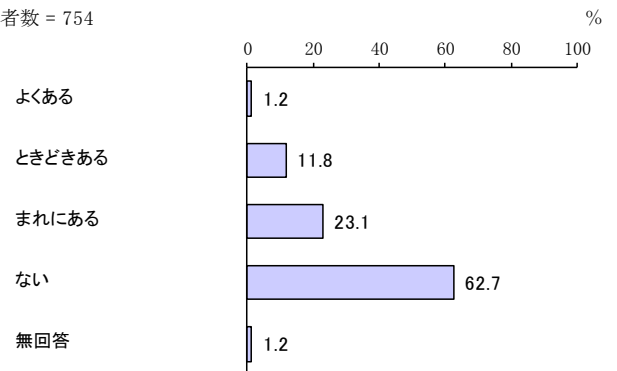
「1.~7.のような接し方をする事はない」の割合が45.4%と最も高く、次いで「言葉(大きい声)で脅す」の割合が35.5%、「子どもを叩いたり、つねったりする」の割合が15.5%となっています。



問 13 自分は子どもを虐待しているかもしれないと思うときがありますか。当てはまる番号1つに をつけてください。

「ない」の割合が 62.7%と最も高く、次いで「まれにある」の割合が 23.1%、「ときどきある」の割合が 11.8%となっています。

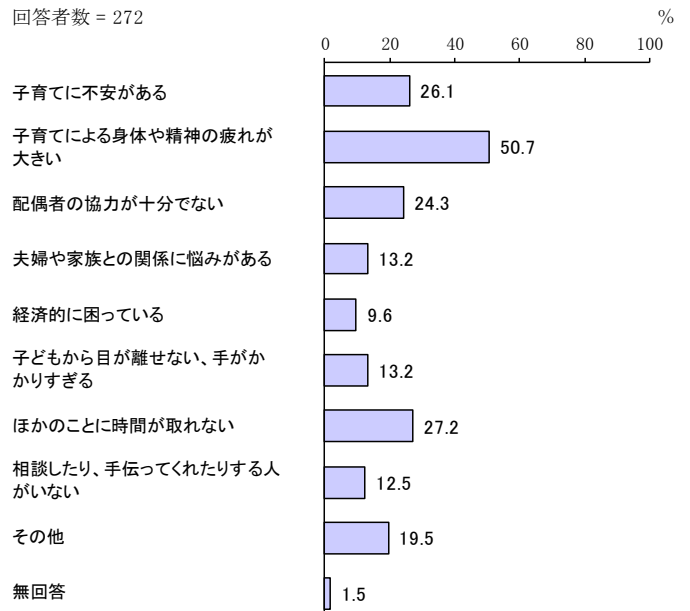
回答者数 = 754



問 13-1 虐待しているかもしれないと思ったとき、ご自分はどのような状況でしたか。当てはまる番号すべてに をつけてください。

「子育てによる身体や精神の疲れが大きい」の割合が 50.7%と最も高く、次いで「ほかのことに時間が取れない」の割合が 27.2%、「子育てに不安がある」の割合が 26.1%となっています。

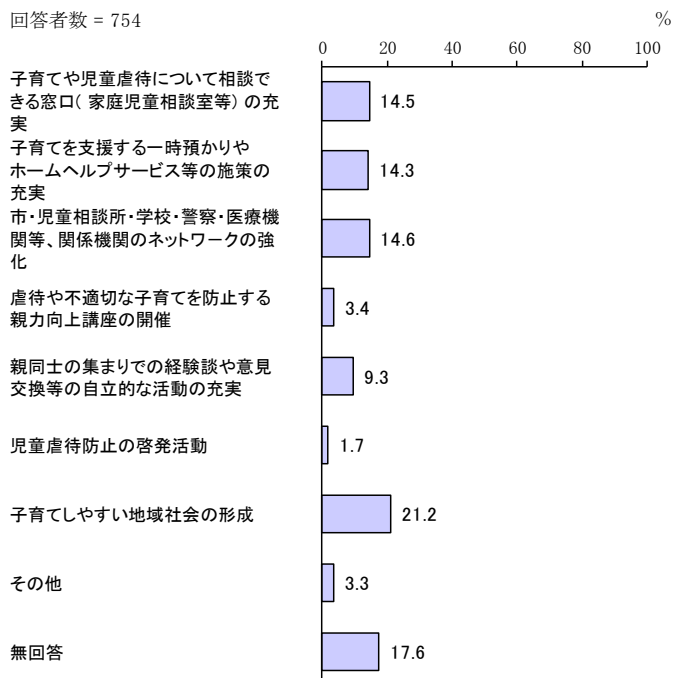
回答者数 = 272



問 14 児童虐待や不適切な子育ての防止について、最も効果的だと思う番号1つに をつけてください。

「子育てしやすい地域社会の形成」の割合が 21.2%と最も高く、次いで「市・児童相談所・学校・警察・医療機関等、関係機関のネットワークの強化」の割合が 14.6%、「子育てや児童虐待について相談できる窓口(家庭児童相談室等)の充実」の割合が 14.5%となっています。

回答者数 = 754



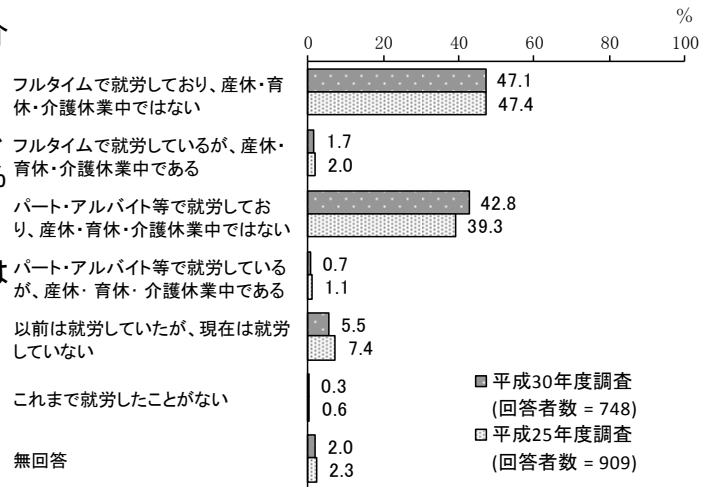
(4) お子さんの保護者の就労状況について

問 15 お子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。当てはまる番号1つに をつけてください。

ア 母親について

「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が47.1%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が42.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

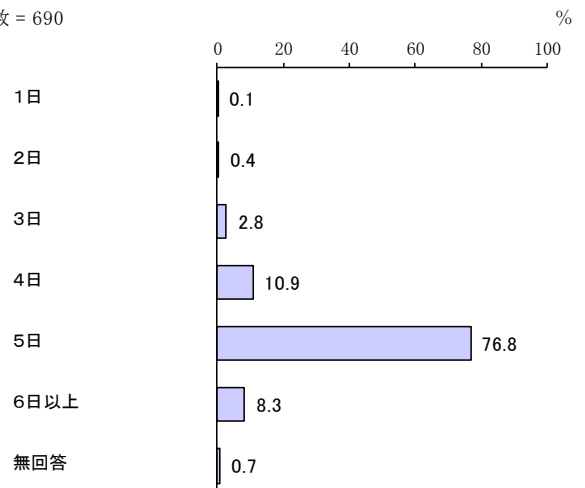


(1)-1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(内に数字でご記入ください。)

(ア) 1週当たりの就労日数

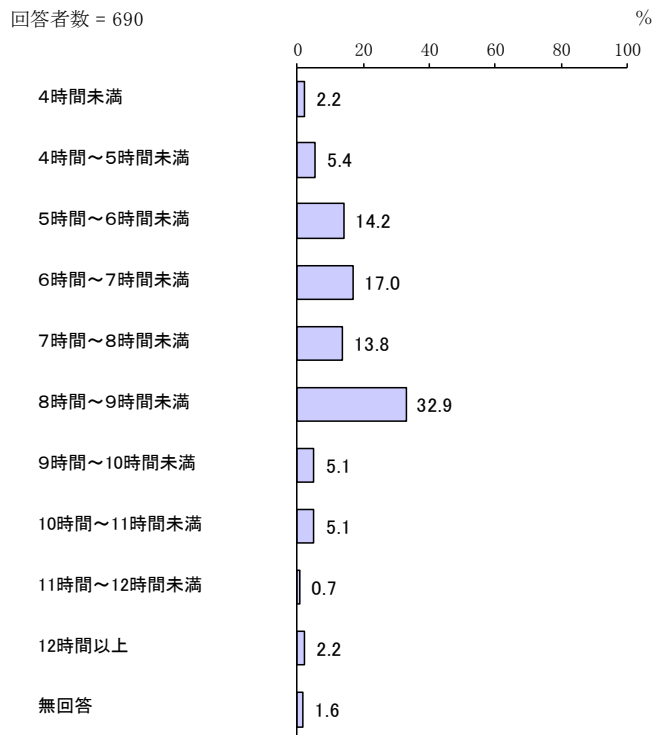
「5日」の割合が76.8%と最も高く、次いで「4日」の割合が10.9%となっています。

回答者数 = 690



(イ) 1日当たりの就労時間

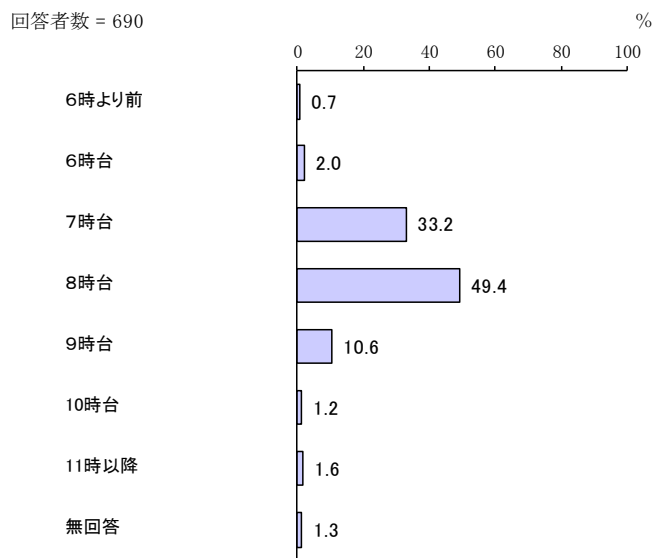
「8時間～9時間未満」の割合が32.9%と最も高く、次いで「6時間～7時間未満」の割合が17.0%、「5時間～6時間未満」の割合が14.2%となっています。



(1)-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、(例) 8時30分、18時30分のように、24時間制でお答えください。(内に数字でご記入ください。)

(ア) 家を出る時間

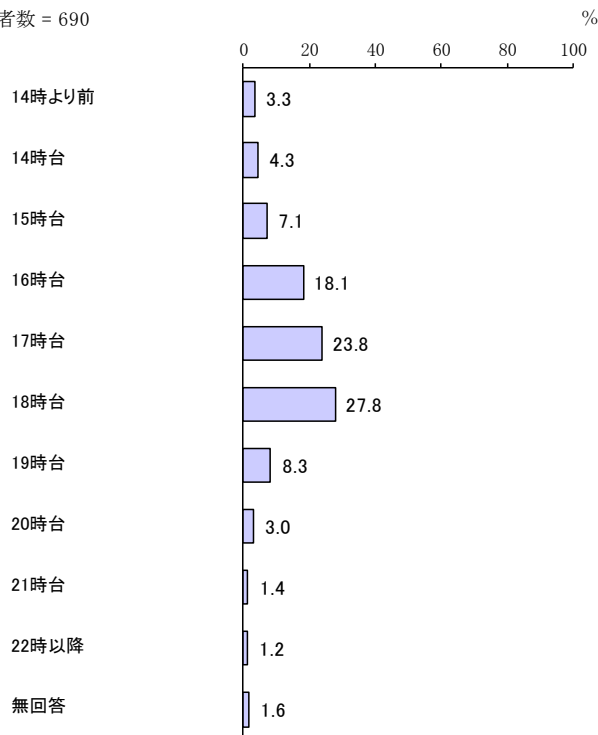
「8時台」の割合が49.4%と最も高く、次いで「7時台」の割合が33.2%、「9時台」の割合が10.6%となっています。



(イ) 帰宅時刻

「18 時台」の割合が 27.8%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 23.8%、「16 時台」の割合が 18.1%となっています。

回答者数 = 690



イ 父親について

「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が 90.2%と最も高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない

フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である

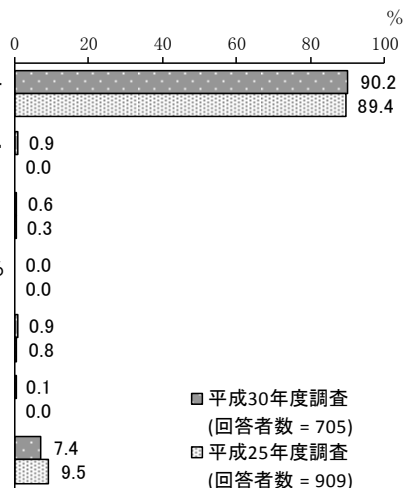
パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない

パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である

以前は就労していたが、現在は就労していない

これまで就労したことがない

無回答

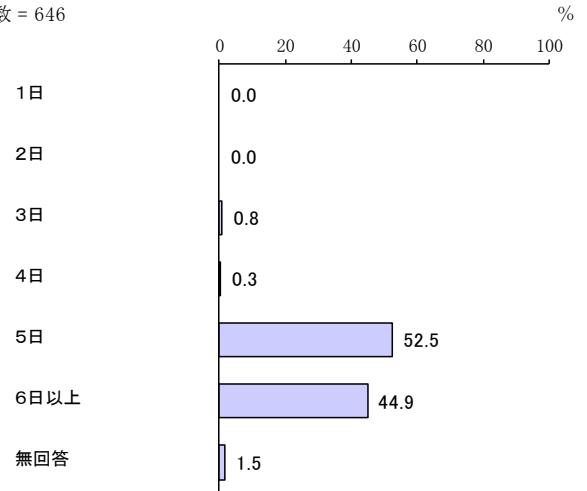


(2)-1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(内に数字でご記入ください。)

(ア) 1週当たりの就労日数

「5日」の割合が52.5%と最も高く、次いで「6日以上」の割合が44.9%となっています。

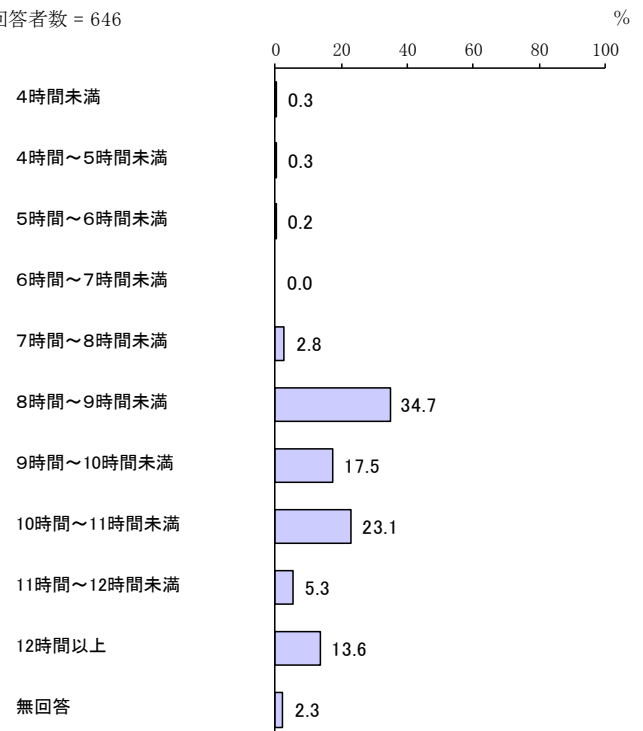
回答者数 = 646



(イ) 1日当たりの就労時間

「8時間～9時間未満」の割合が34.7%と最も高く、次いで「10時間～11時間未満」の割合が23.1%、「9時間～10時間未満」の割合が17.5%となっています。

回答者数 = 646

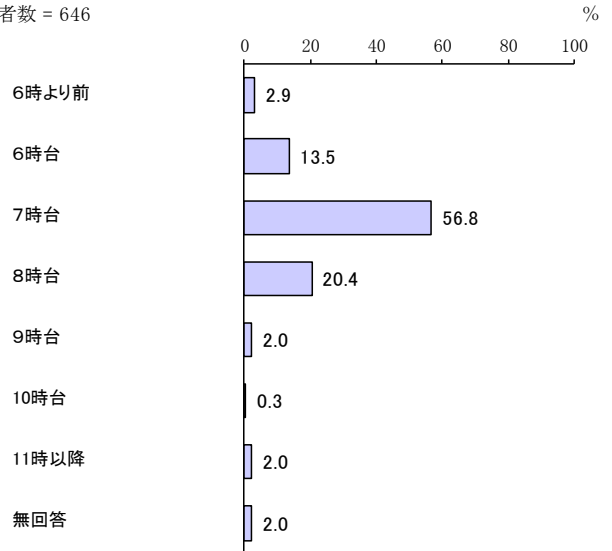


(2)-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、(例) 8時30分、18時30分のように、24時間制でお答えください。(内に数字でご記入ください。)

(ア) 家を出る時間

「7時台」の割合が56.8%と最も高く、次いで「8時台」の割合が20.4%、「6時台」の割合が13.5%となっています。

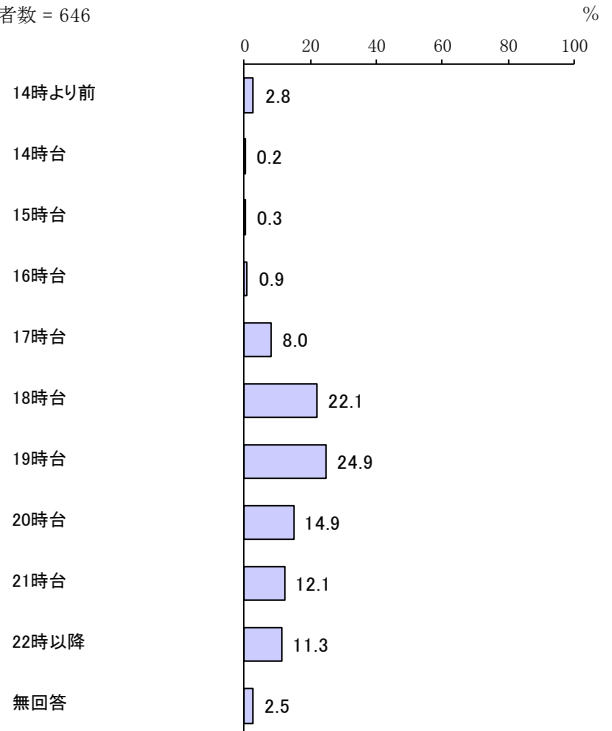
回答者数 = 646



(イ) 帰宅時刻

「19時台」の割合が24.9%と最も高く、次いで「18時台」の割合が22.1%、「20時台」の割合が14.9%となっています。

回答者数 = 646

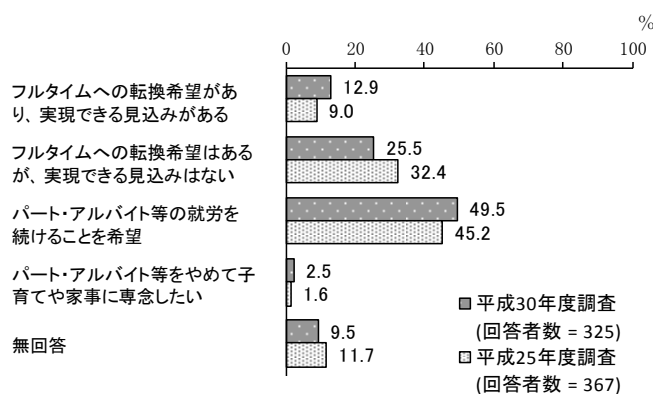


問 16 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに をつけてください。

ア 母親

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が 49.5%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が 25.5%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合が 12.9%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が減少しています。



イ 父親

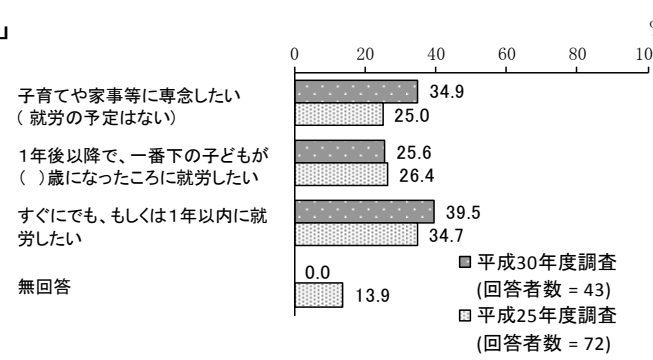
「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 2 件となっています。「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 1 件となっています。

問 17 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号1つに をつけ、該当する記号には1つに をつけ、該当する 内には数字でご記入ください。

ア 母親

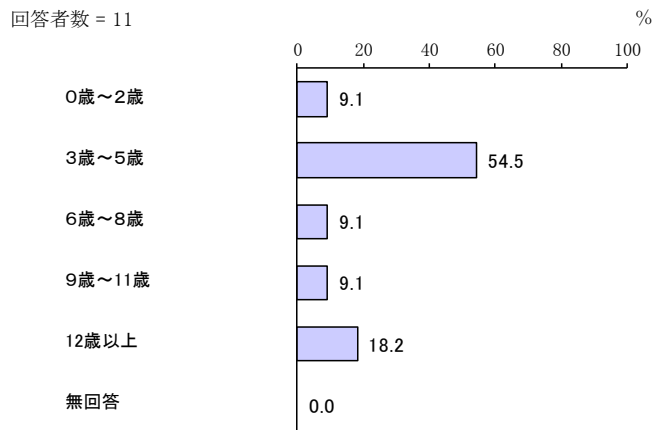
「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が 39.5%と最も高く、次いで「子育てや家事等に専念したい(就労の予定はない)」の割合が 34.9%、「1年後以降で、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」の割合が 25.6%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「子育てや家事等に専念したい(就労の予定はない)」の割合が増加しています。



(ア) 就労希望時の子どもの年齢

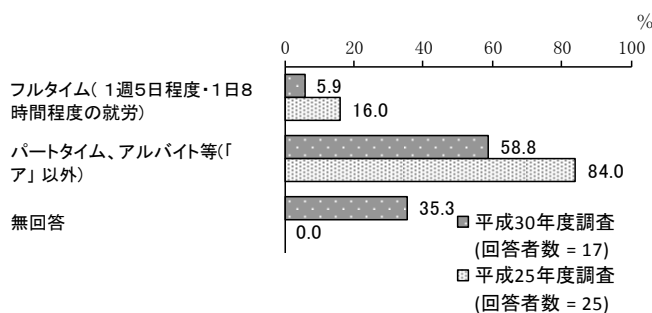
「3歳～5歳」の割合が54.5%と最も高く、次いで「12歳以上」の割合が18.2%となっています。



(イ) 希望する就労形態

「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」の割合が5.9%、「パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)」の割合が58.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」「パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)」の割合が減少しています。

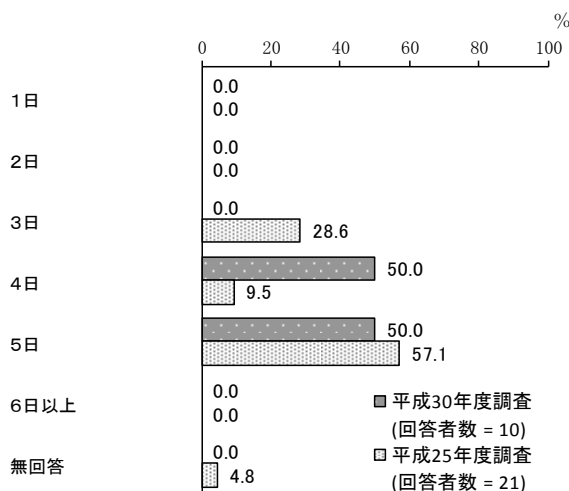


パートタイム・アルバイト等

(ア) 1週当たり希望就労日数

「4日」、「5日」の割合が50.0%と最も高くなっています。

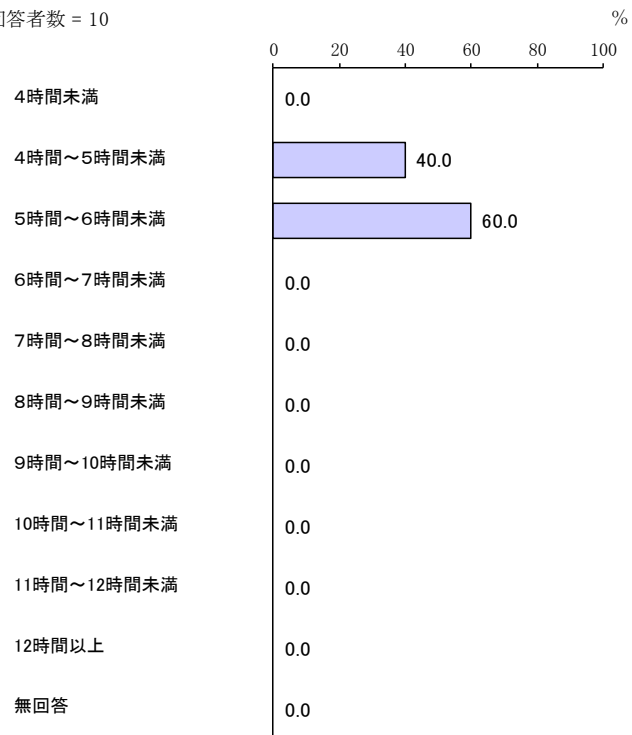
平成25年度調査と比較すると、「4日」の割合が増加しています。一方、「3日」「5日」の割合が減少しています。



(イ) 1日当たり希望就労時間

「5時間～6時間未満」の割合が60.0%と最も高く、次いで「4時間～5時間未満」の割合が40.0%となっています。

回答者数 = 10



イ 父親

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が7件となっています。

(ア) 就労希望時の子どもの年齢

有効回答がありませんでした。

(イ) 希望する就労形態

「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」が1件、「パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)」が0件となっています。

パートタイム・アルバイト等

(ア) 父親の1週当たり希望就労日数

有効回答がありませんでした。

(イ) 父親の1日当たり希望就労時間

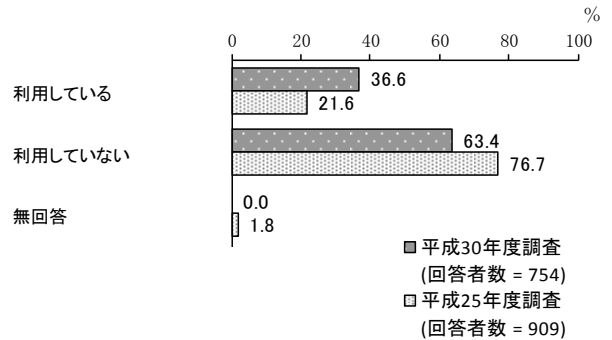
有効回答がありませんでした。

(5) お子さんの平日・土曜日の「定期的な保育事業」の利用状況について

問 18 お子さんは現在、放課後児童クラブ(学童保育)等の「定期的」な保育事業を利用されていますか。当てはまる番号1つに をつけてください。

「利用している」の割合が36.6%、「利用していない」の割合が63.4%となっています。

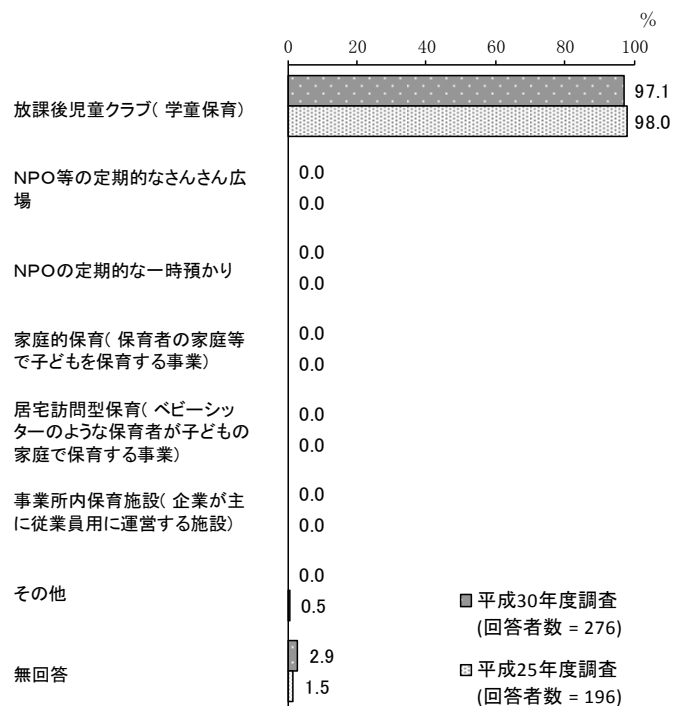
平成25年度調査と比較すると、「利用している」の割合が増加しています。一方、「利用していない」の割合が減少しています。



問 18-1 お子さんは、平日・土曜日にどのような保育事業を利用していますか。年間を通じて「定期的」に利用している事業の当てはまる番号1つに をつけてください。また、放課後児童クラブ(学童保育)の場合には、当てはまる記号1つに をつけてください。

「放課後児童クラブ(学童保育)」の割合が97.1%と最も高くなっています。

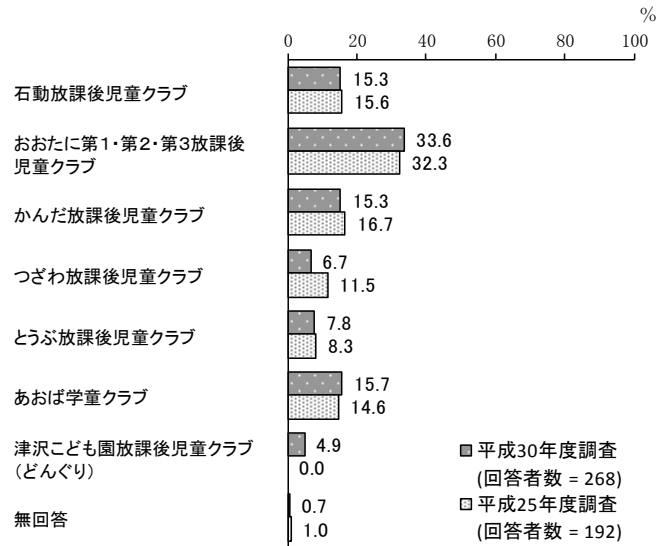
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



放課後児童クラブ(学童保育)

「おおたに第1・第2・第3放課後児童クラブ」の割合が33.6%と最も高く、次いで「あおば学童クラブ」の割合が15.7%、「石動放課後児童クラブ」、「かんだ放課後児童クラブ」の割合が15.3%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

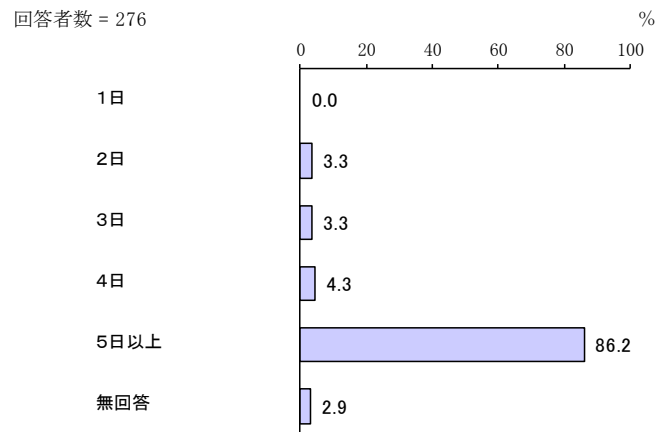


問 18-2 平日・土曜日に「定期的」に利用している保育事業について、どのくらい利用していますか。1週あたり何日、1日あたり何時間何分(何時何分～何時何分)かを、内に具体的な数字でご記入ください。時間は、(例)9時30分～18時30分のように24時間制でご記入ください。

ア 平日

(ア) 1週あたり利用日数

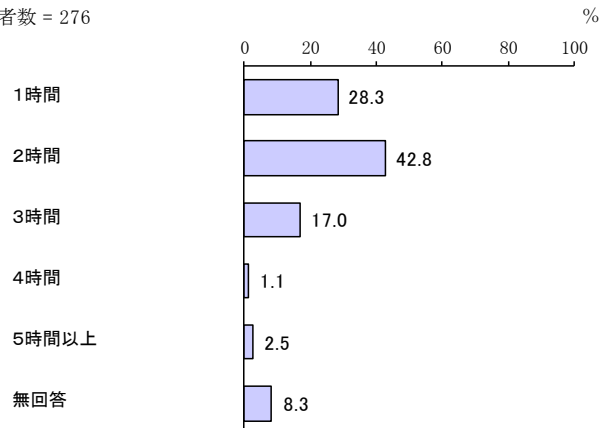
「5日以上」の割合が86.2%と最も高くなっています。



(イ) 1日あたり利用時間

「2時間」の割合が42.8%と最も高く、次いで「1時間」の割合が28.3%、「3時間」の割合が17.0%となっています。

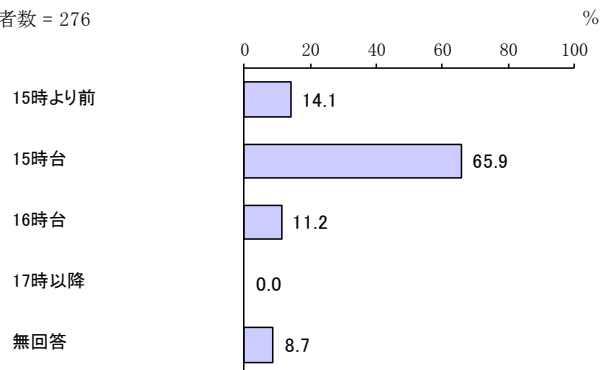
回答者数 = 276



(ウ) 利用開始時刻

「15時台」の割合が65.9%と最も高く、次いで「15時より前」の割合が14.1%、「16時台」の割合が11.2%となっています。

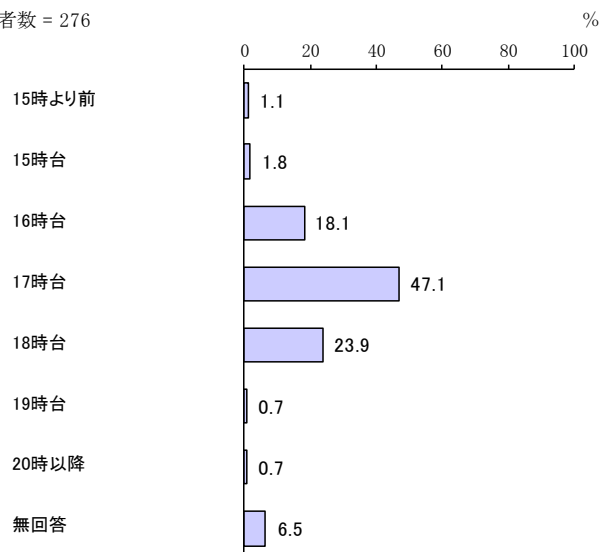
回答者数 = 276



(エ) 利用終了時刻

「17時台」の割合が47.1%と最も高く、次いで「18時台」の割合が23.9%、「16時台」の割合が18.1%となっています。

回答者数 = 276

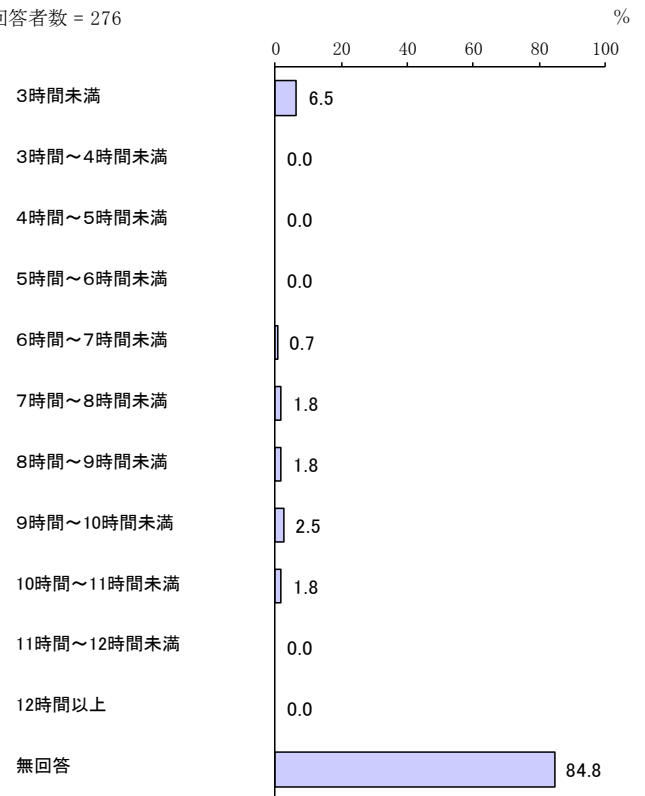


イ 土曜日

(ア) 1日あたり利用時間

「3時間未満」の割合が6.5%と最も高くなっています。

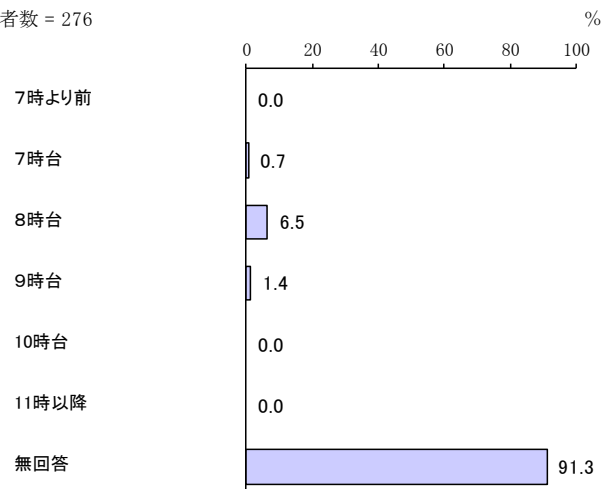
回答者数 = 276



(イ) 利用開始時刻

「8時台」の割合が6.5%と最も高くなっています。

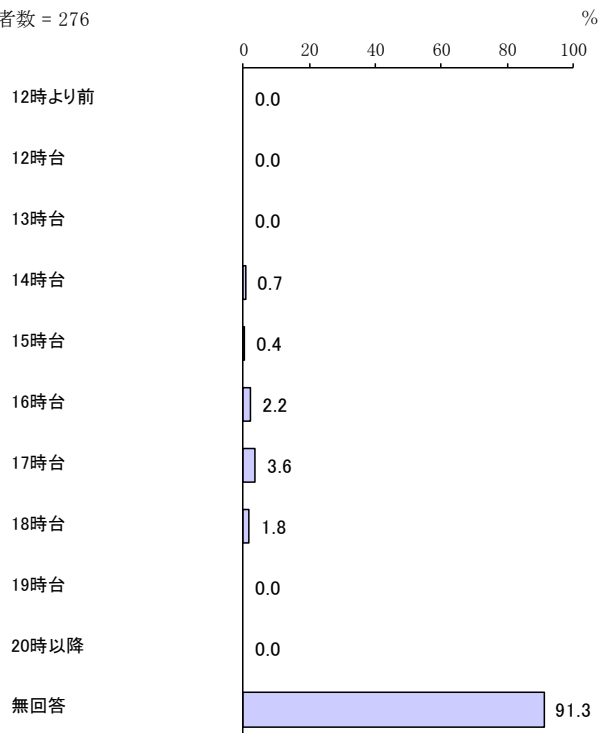
回答者数 = 276



(ウ) 利用終了時刻

「17時台」の割合が3.6%と最も高くなっています。

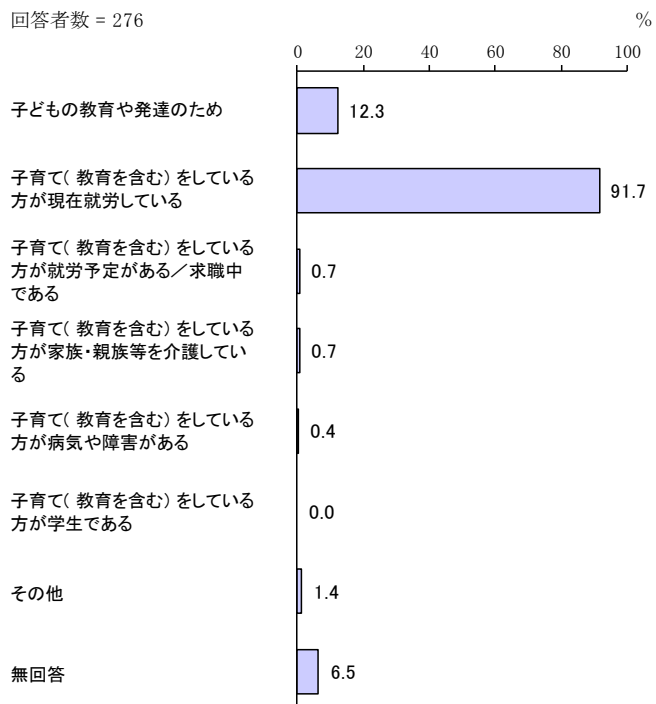
回答者数 = 276



問 18-3 平日・土曜日に「定期的」に保育事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに をつけてください。

「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」の割合が91.7%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」の割合が12.3%となっています。

回答者数 = 276



問 19 利用していない理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに をつけてください。

「利用する必要がない(子どもの教育や発達のため、母親か父親がみている等)」の割合が 57.5% と最も高く、次いで「子どもの祖父母や親戚の人がみている」の割合が 47.1% となっています。

回答者数 = 478

利用する必要がない(子どもの教育や発達のため、母親か父親がみている等)

子どもの祖父母や親戚の人がみている

近所の人や父母の友人・知人がみている

利用したいが、保育の事業に空きがない

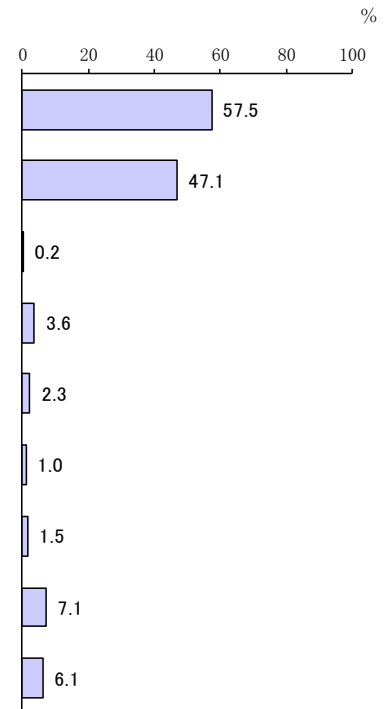
利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない

利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない

利用したいが、事業の質や場所等、納得できる事業がない

その他

無回答



(6) お子さんの放課後児童クラブ(学童保育)の利用希望について

問 20 お子さんについて、放課後児童クラブ(学童保育)の利用希望をうかがいます。当てはまる番号 1 つに をつけてください。

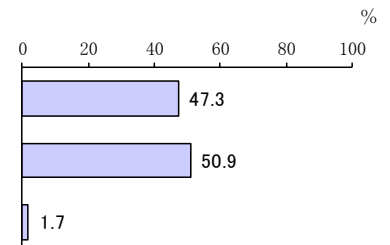
「利用したい」の割合が 47.3%、「利用する必要はない」の割合が 50.9% となっています。

回答者数 = 754

利用したい

利用する必要はない

無回答



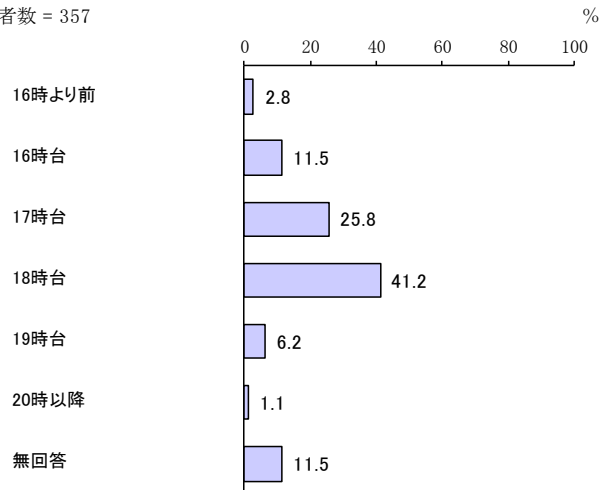
問 20-1 (1)～(4)それぞれについて、利用を希望する時間帯と学年を 内にご記入ください。時間は(例) 9時30分～18時30分のように24時間制でご記入ください。
 なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

ア 平日

(ア) 利用終了時刻

「18時台」の割合が41.2%と最も高く、次いで「17時台」の割合が25.8%、「16時台」の割合が11.5%となっています。

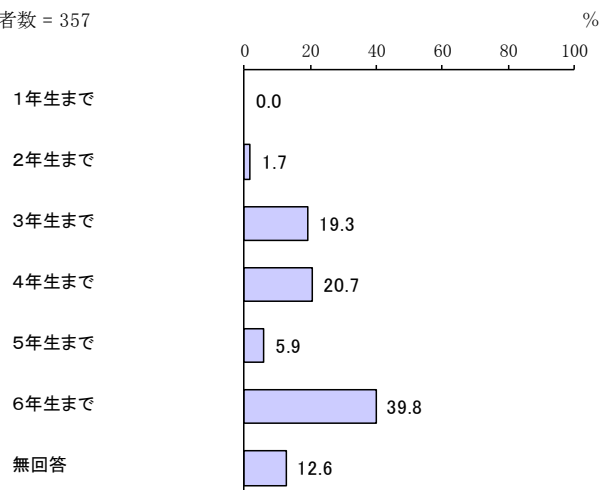
回答者数 = 357



(イ) 利用したい学年

「6年生まで」の割合が39.8%と最も高く、次いで「4年生まで」の割合が20.7%、「3年生まで」の割合が19.3%となっています。

回答者数 = 357

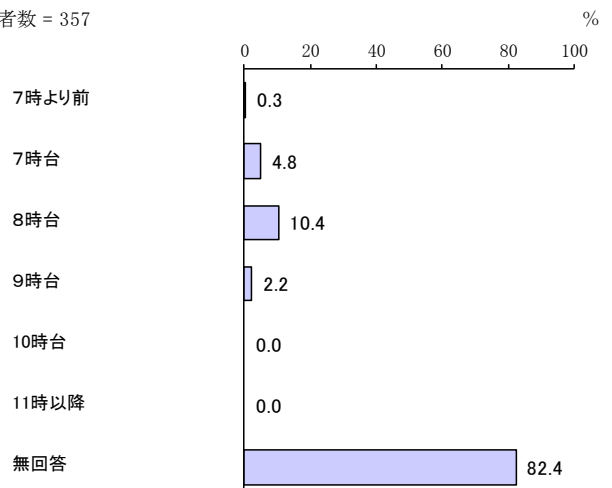


イ 土曜日

(ア) 利用開始時刻

「8時台」の割合が10.4%と最も高くなっています。

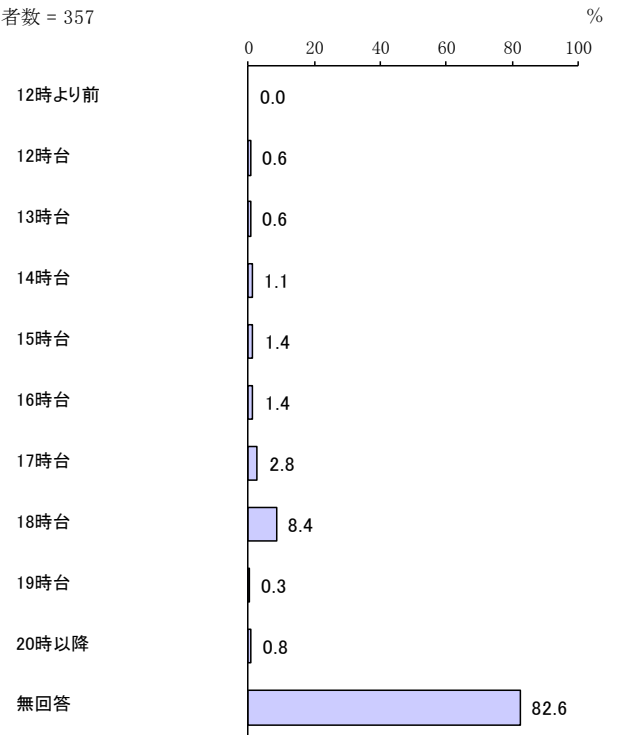
回答者数 = 357



(イ) 利用終了時刻

「18時台」の割合が8.4%と最も高くなっています。

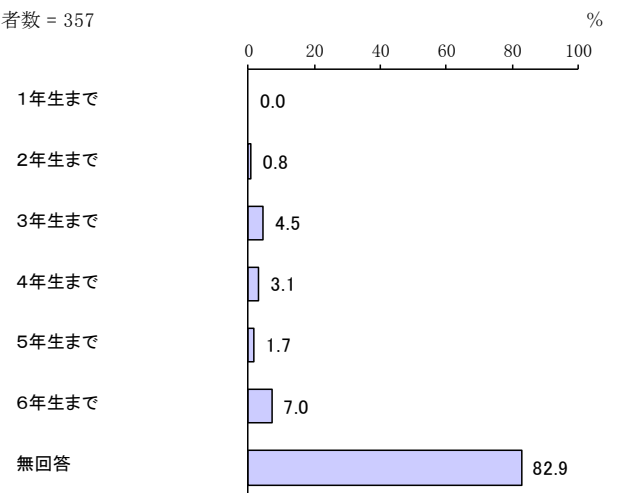
回答者数 = 357



(ウ) 利用したい学年

「6年生まで」の割合が7.0%と最も高くなっています。

回答者数 = 357



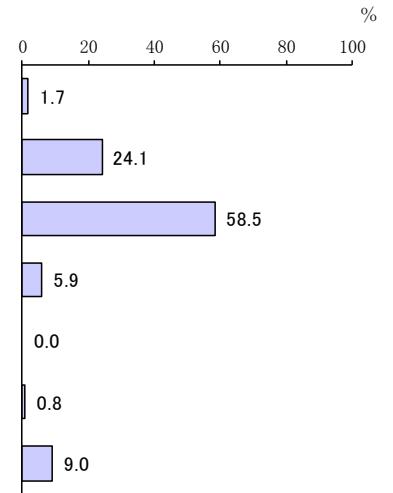
ウ 夏休み等の長期の休暇期間中

(ア) 利用開始時刻

「8時台」の割合が58.5%と最も高く、次いで「7時台」の割合が24.1%となっています。

回答者数 = 357

7時より前
7時台
8時台
9時台
10時台
11時以降
無回答

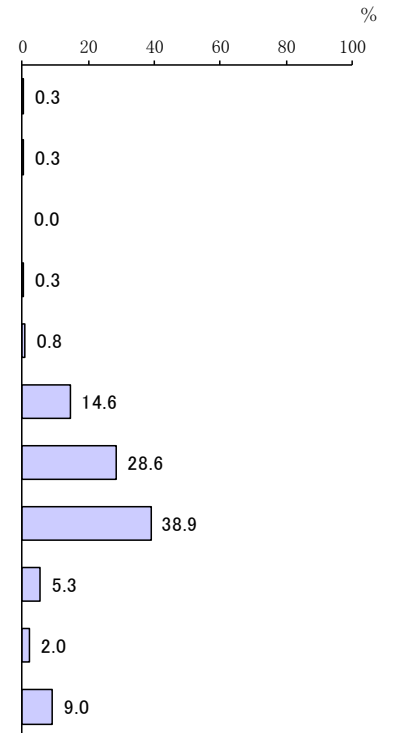


(イ) 利用終了時刻

「18時台」の割合が38.9%と最も高く、次いで「17時台」の割合が28.6%、「16時台」の割合が14.6%となっています。

回答者数 = 357

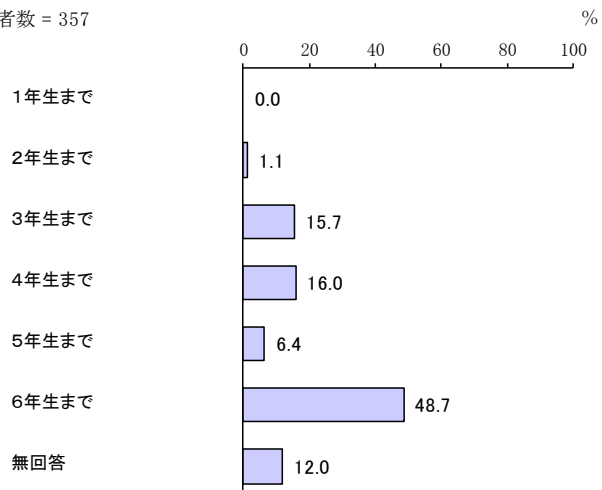
12時より前
12時台
13時台
14時台
15時台
16時台
17時台
18時台
19時台
20時以降
無回答



(ウ) 利用したい学年

「6年生まで」の割合が48.7%と最も高く、次いで「4年生まで」の割合が16.0%、「3年生まで」の割合が15.7%となっています。

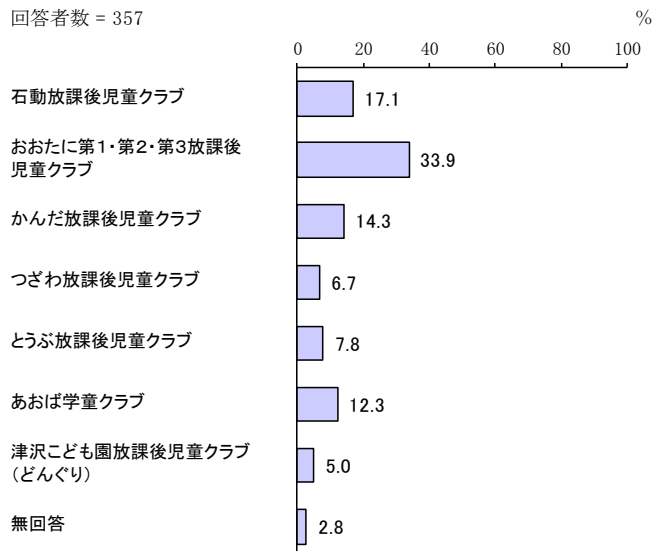
回答者数 = 357



問 20-2 利用希望の放課後児童クラブはどこですか。当てはまる番号1つに をつけてください。

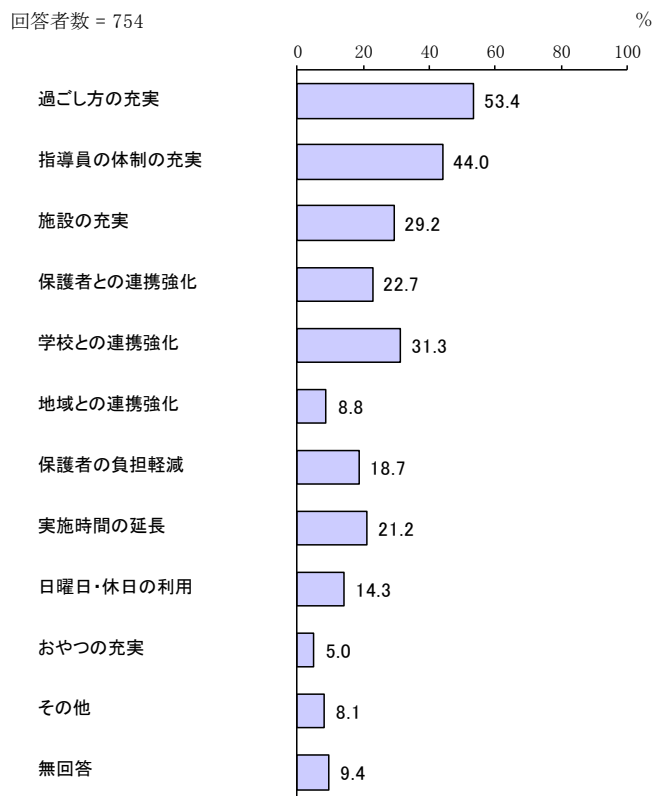
「おおたに第1・第2・第3放課後児童クラブ」の割合が33.9%と最も高く、次いで「石動放課後児童クラブ」の割合が17.1%、「かんだ放課後児童クラブ」の割合が14.3%となっています。

回答者数 = 357



問 21 すべての方に、放課後児童クラブ(学童保育)に今後望むことをうかがいます。当てはまる番号すべてに をつけてください。

「過ごし方の充実」の割合が 53.4%と最も高く、次いで「指導員の体制の充実」の割合が 44.0%、「学校との連携強化」の割合が 31.3%となっています。

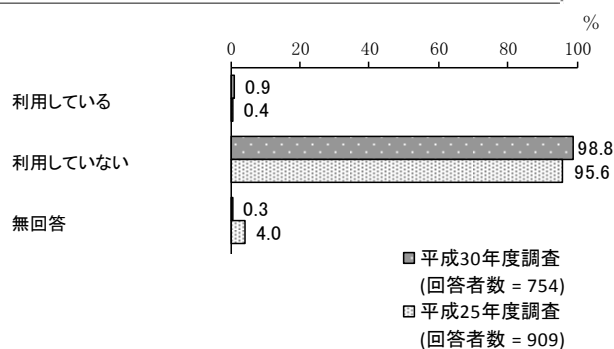


(7) お子さんの「不定期」な保育事業や一時預かり等の利用について

問 22 お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で「不定期」に利用している保育事業はありますか。当てはまる番号1つに をつけてください。

「利用している」の割合が 0.9%、「利用していない」の割合が 98.8%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 22-1 利用している場合、当てはまる番号すべてに をつけ、1年間の利用日数(おおよそ)も 内に数字でご記入ください。

「ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)」が4件となっています。
 「一時預かり(私用等、理由を問わずに施設で一時的に子どもを保育する事業)」が2件となっています。

利用日数

利用日数をみると、他に比べ、ファミリー・サポート・センターで「21日以上」の件数が、一時預かりで「2日」の件数が多くなっています。

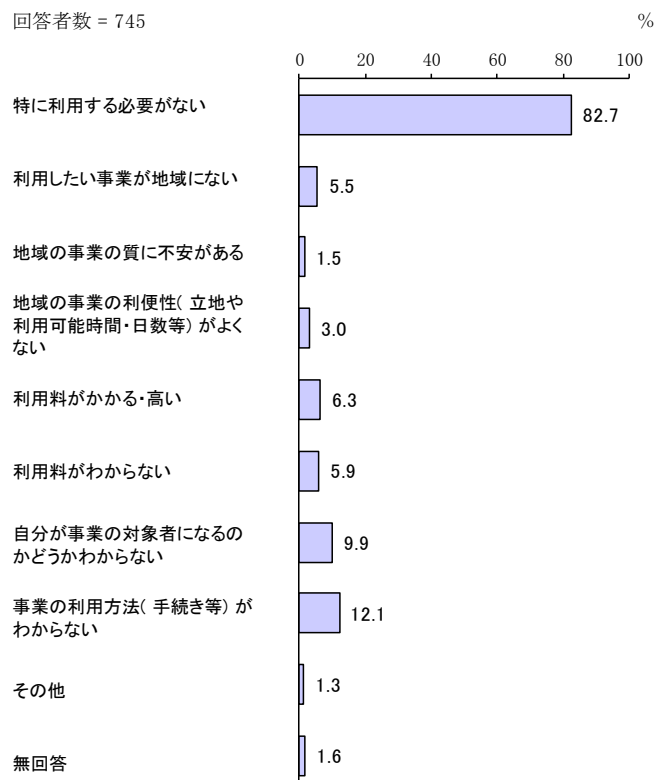
単位：%

区分	回答者数(件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11 ~ 15日	16 ~ 20日	21 日以上	無回答
一時預かり	2	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ファミリー・サポート・センター	4	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	25.0
家庭的保育	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
居宅訪問型保育	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0

問 22-2 現在、利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに をつけてください。

「特に利用する必要がない」の割合が 82.7%と最も高く、次いで「事業の利用方法(手続き等)がわからない」の割合が 12.1%となっています。

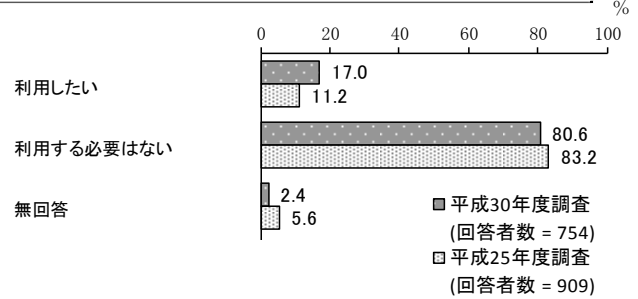
回答者数 = 745



問 23 今後、お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、「不定期」に保育事業を利用する必要があると思いますか。当てはまる番号1つに をつけてください。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

「利用したい」の割合が17.0%、「利用する必要はない」の割合が80.6%となっています。

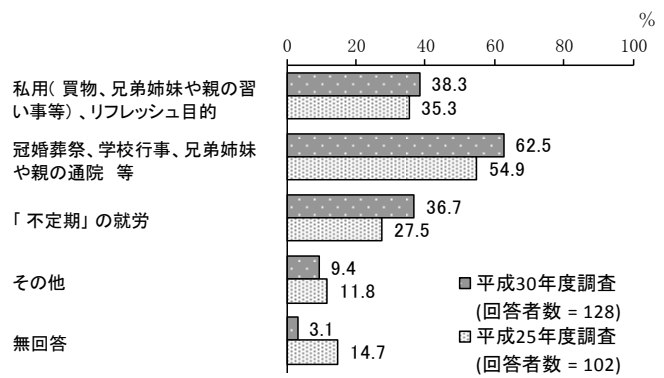
平成25年度調査と比較すると、「利用したい」の割合が増加しています。



問 23-1 利用したい場合、当てはまる番号すべてに をつけ、必要と思われる日数以内に数字でご記入ください。

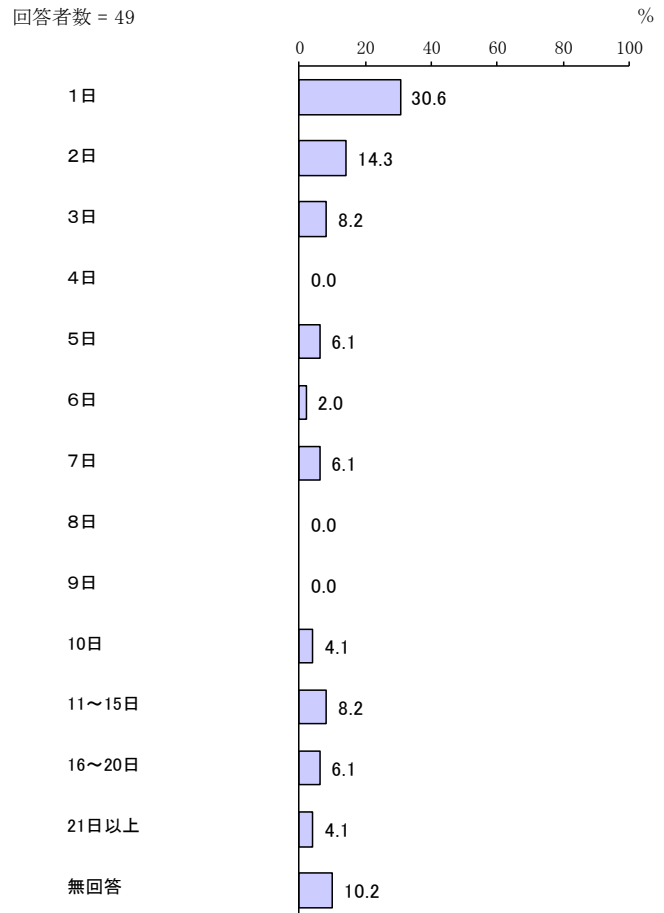
「冠婚葬祭、学校行事、兄弟姉妹や親の通院等」の割合が62.5%と最も高く、次いで「私用(買物、兄弟姉妹や親の習い事等)、リフレッシュ目的」の割合が38.3%、「不定期」の就労」の割合が36.7%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「冠婚葬祭、学校行事、兄弟姉妹や親の通院 等」「不定期」の就労」の割合が増加しています。



ア 私用(買物、兄弟姉妹や親の習い事等)、リフレッシュ目的

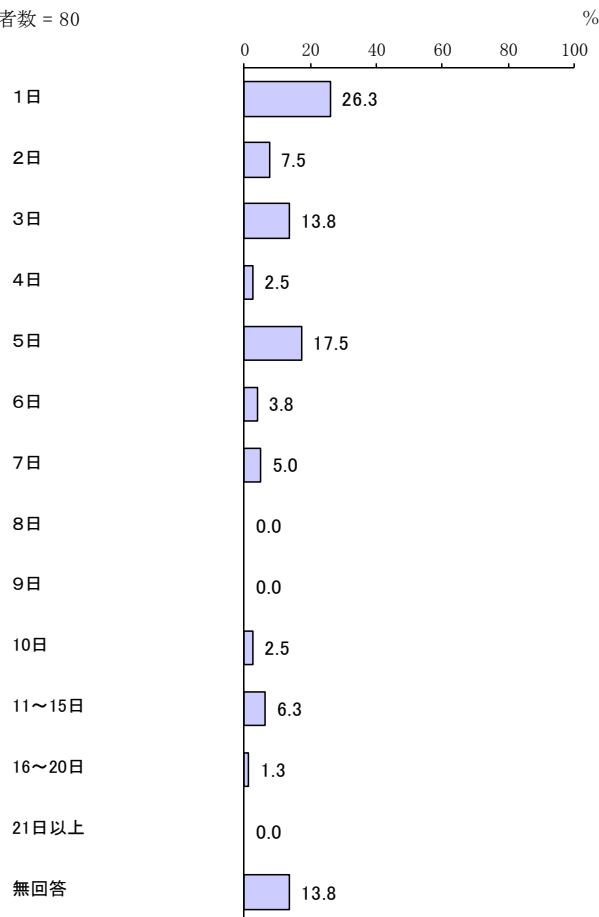
「1日」の割合が30.6%と最も高く、次いで「2日」の割合が14.3%となっています。



イ 冠婚葬祭、学校行事、兄弟姉妹や親の通院等

「1日」の割合が26.3%と最も高く、次いで「5日」の割合が17.5%、「3日」の割合が13.8%となっています。

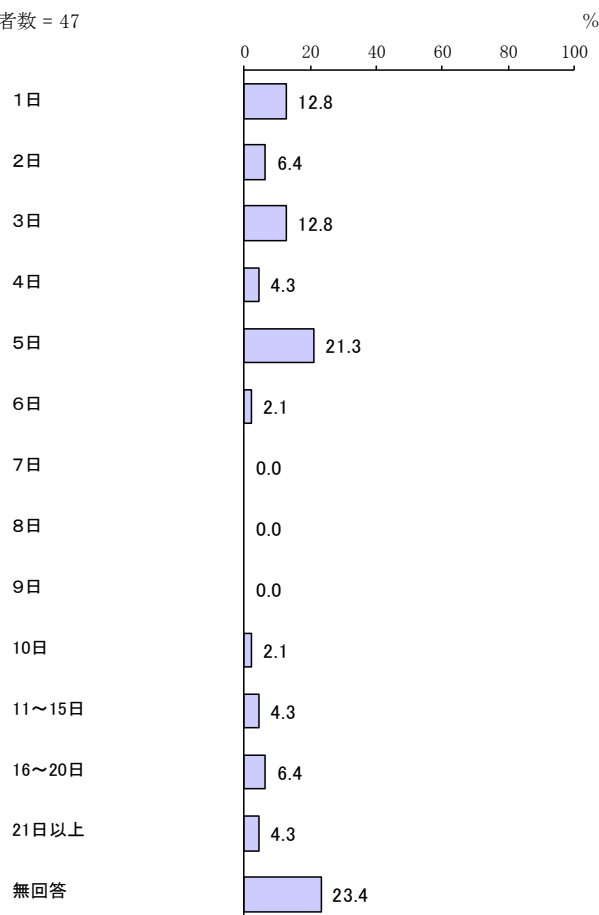
回答者数 = 80



ウ 「不定期」の就労

「5日」の割合が21.3%と最も高く、次いで「1日」、「3日」の割合が12.8%となっています。

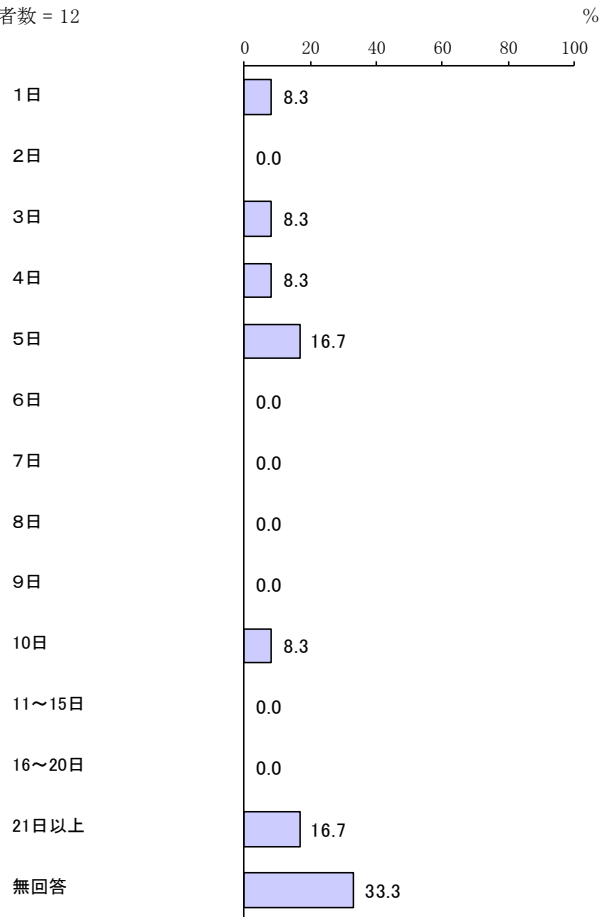
回答者数 = 47



エ その他

「5日」、「21日以上」の割合が16.7%と最も高くなっています。

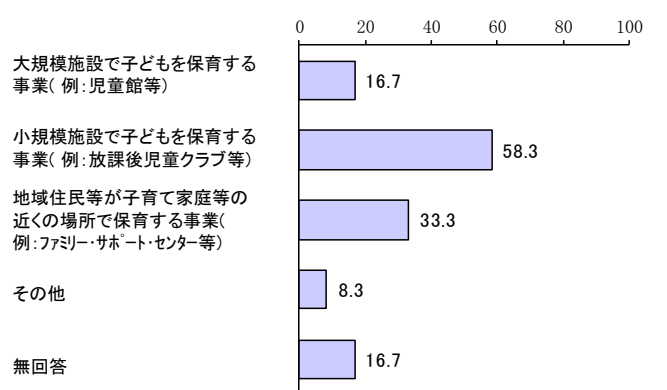
回答者数 = 12



問 23-2 問 23-1 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるか。当てはまる番号すべてに をつけてください。

「小規模施設で子どもを保育する事業(例：放課後児童クラブ等)」の割合が58.3%と最も高く、次いで「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業(例：ファミリー・サポート・センター等)」の割合が33.3%、「大規模施設で子どもを保育する事業(例：児童館等)」の割合が16.7%となっています。

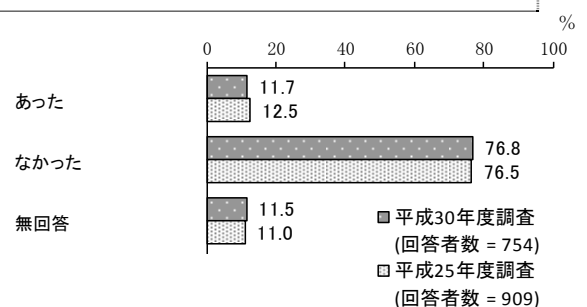
回答者数 = 12



問 24 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気等)により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。当てはまる番号1つに をつけてください。

「あった」の割合が11.7%、「なかった」の割合が76.8%となっています。

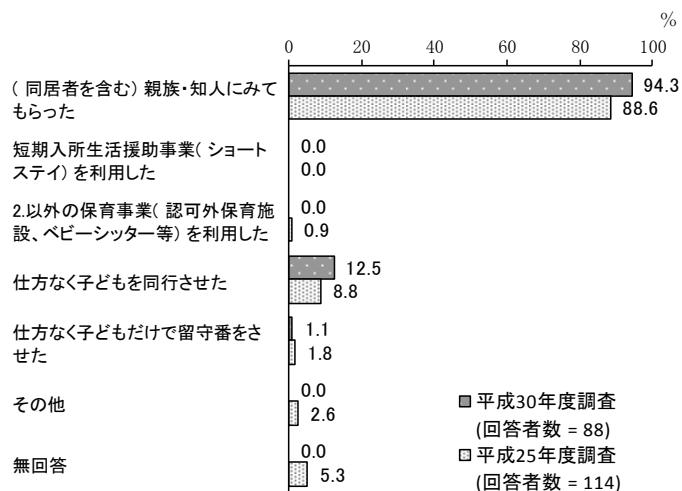
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 24-1 あった場合、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに をつけ、それぞれの日数も 内に数字でご記入ください。

「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」の割合が 94.3%と最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」の割合が 12.5%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」の割合が増加しています。



対処方法

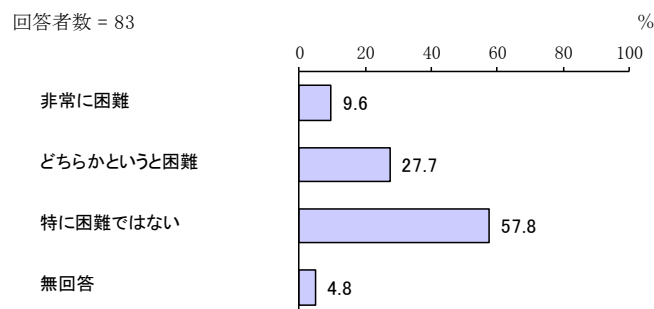
対処方法をみると、他に比べ、仕方なく子どもを同行させたで「1泊」の割合が、(同居者を含む)親族・知人にみてもらったで「2泊」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	(件) 回答者数	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊	7泊	8泊	9泊	10泊	11 ~ 15泊	16 ~ 20泊	21泊 以上	無回答
(同居者を含む)親族・知人にみてもらった	83	41.0	20.5	4.8	1.2	3.6	2.4	2.4	-	-	4.8	-	-	2.4	16.9
短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
仕方なく子どもを同行させた	11	72.7	18.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9.1
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問 24-2 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに をつけてください。

「特に困難ではない」の割合が 57.8%と最も高く、次いで「どちらかという困難」の割合が 27.7%となっています。



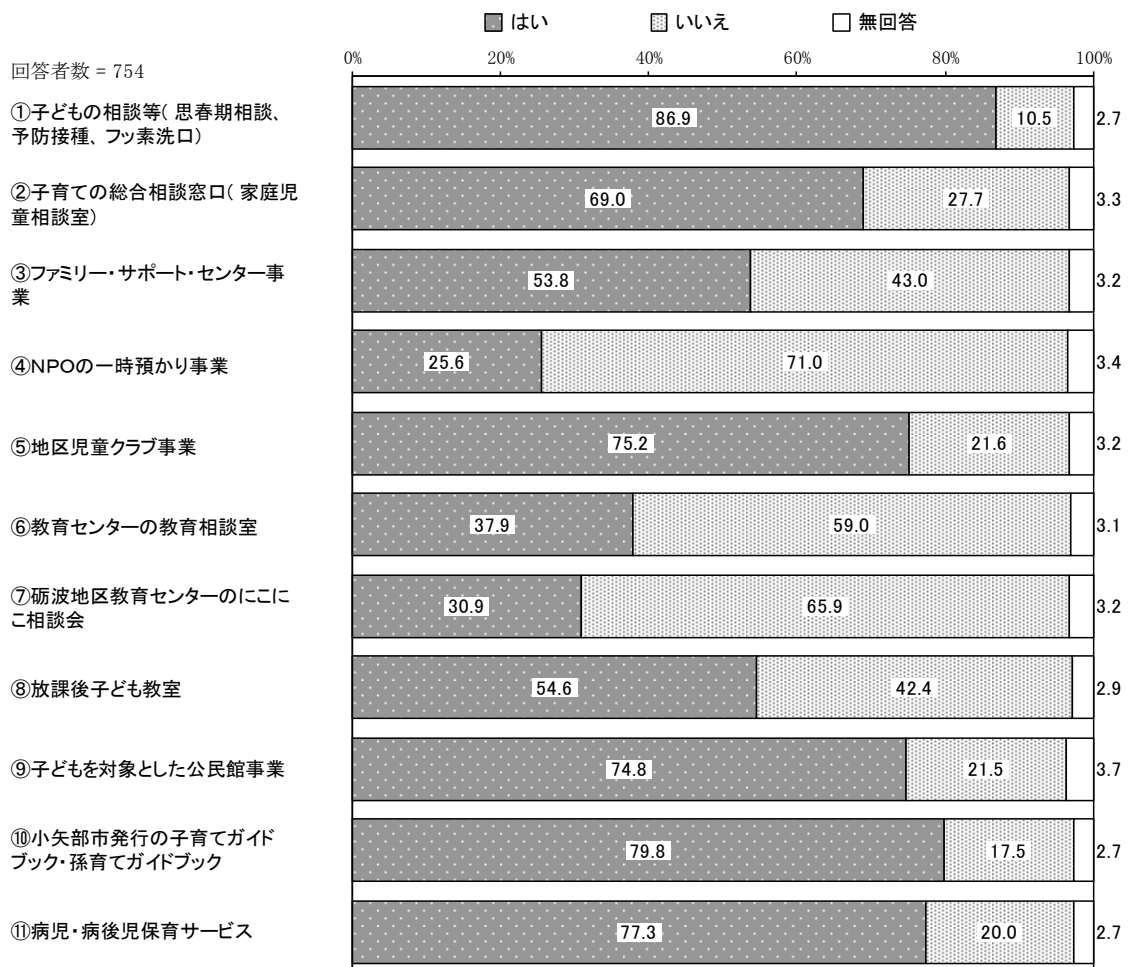
(8) お子さんの「不定期」な子育て支援事業の利用状況について

問 25 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに をつけてください。

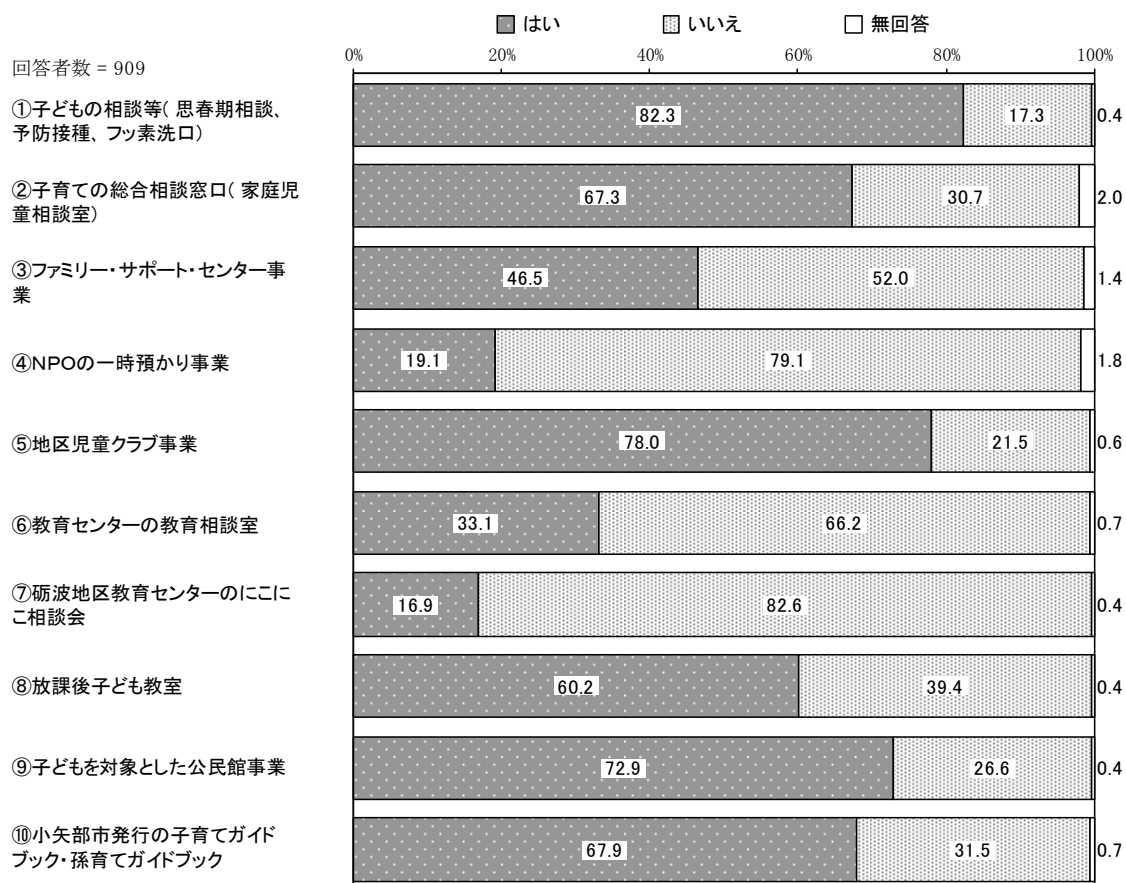
ア 知っている

知っているをみると、他に比べ、 子どもの相談等（思春期相談・予防接種・フッ素洗口）で「はい」の割合が、 NPOの一時預かり事業で「いいえ」の割合が高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、 ファミリー・サポート・センター事業、 NPOの一時預かり事業、 砺波地区教育センターのにこにこ相談会、 小矢部市発行の子育てガイドブック・孫育てガイドブックで「はい」の割合が増加しています。一方、 放課後子ども教室で「はい」の割合が、 子どもの相談等（思春期相談、予防接種、フッ素洗口）、 ファミリー・サポート・センター事業、 NPOの一時預かり事業、 教育センターの教育相談室、 砺波地区教育センターのにこにこ相談会、 子どもを対象とした公民館事業、 小矢部市発行の子育てガイドブック・孫育てガイドブックで「いいえ」の割合が減少しています。



平成 25 年度調査



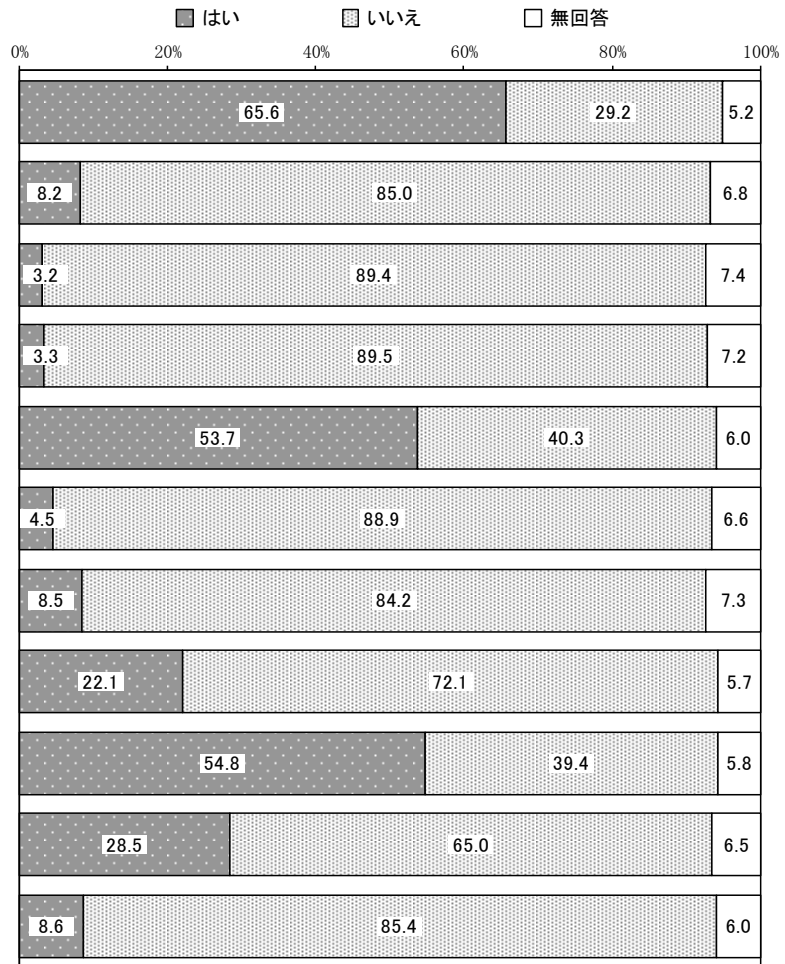
イ 利用したことがある

利用したことがあるをみると、他に比べ、子どもの相談等(思春期相談、予防接種、フッ素洗口)で「はい」の割合が、ファミリー・サポート・センター事業、NPOの一時預かり事業、教育センターの教育相談室で「いいえ」の割合が高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、砺波地区教育センターのにこにこ相談会、放課後子ども教室、子どもを対象とした公民館事業、小矢部市発行の子育てガイドブック・孫育てガイドブックで「はい」の割合が増加しています。一方、NPOの一時預かり事業、教育センターの教育相談室で「はい」の割合が、子どもの相談等(思春期相談、予防接種、フッ素洗口)、ファミリー・サポート・センター事業 砺波地区教育センターのにこにこ相談会、放課後子ども教室、子どもを対象とした公民館事業、小矢部市発行の子育てガイドブック・孫育てガイドブックで「いいえ」の割合が減少しています。

回答者数 = 754

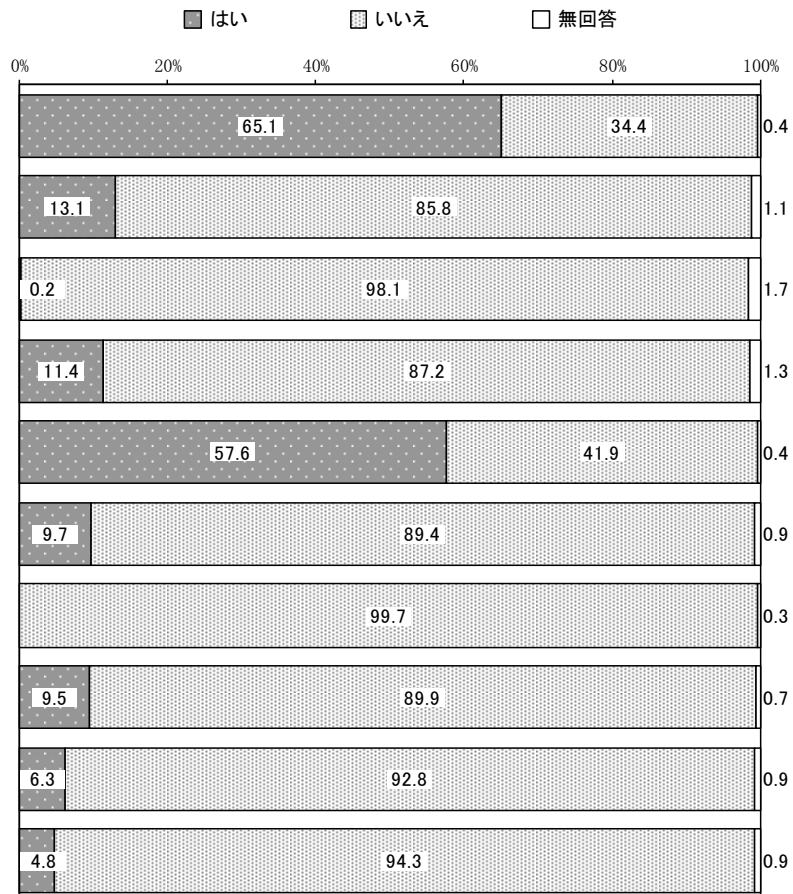
- ①子どもの相談等(思春期相談、
予防接種、フッ素洗口)
- ②子育ての総合相談窓口(家庭児
童相談室)
- ③ファミリー・サポート・センター事
業
- ④NPOの一時預かり事業
- ⑤地区児童クラブ事業
- ⑥教育センターの教育相談室
- ⑦砺波地区教育センターのにここ
相談会
- ⑧放課後子ども教室
- ⑨子どもを対象とした公民館事業
- ⑩小矢部市発行の子育てガイド
ブック・孫育てガイドブック
- ⑪病児・病後児保育サービス



平成 25 年度調査

回答者数 = 909

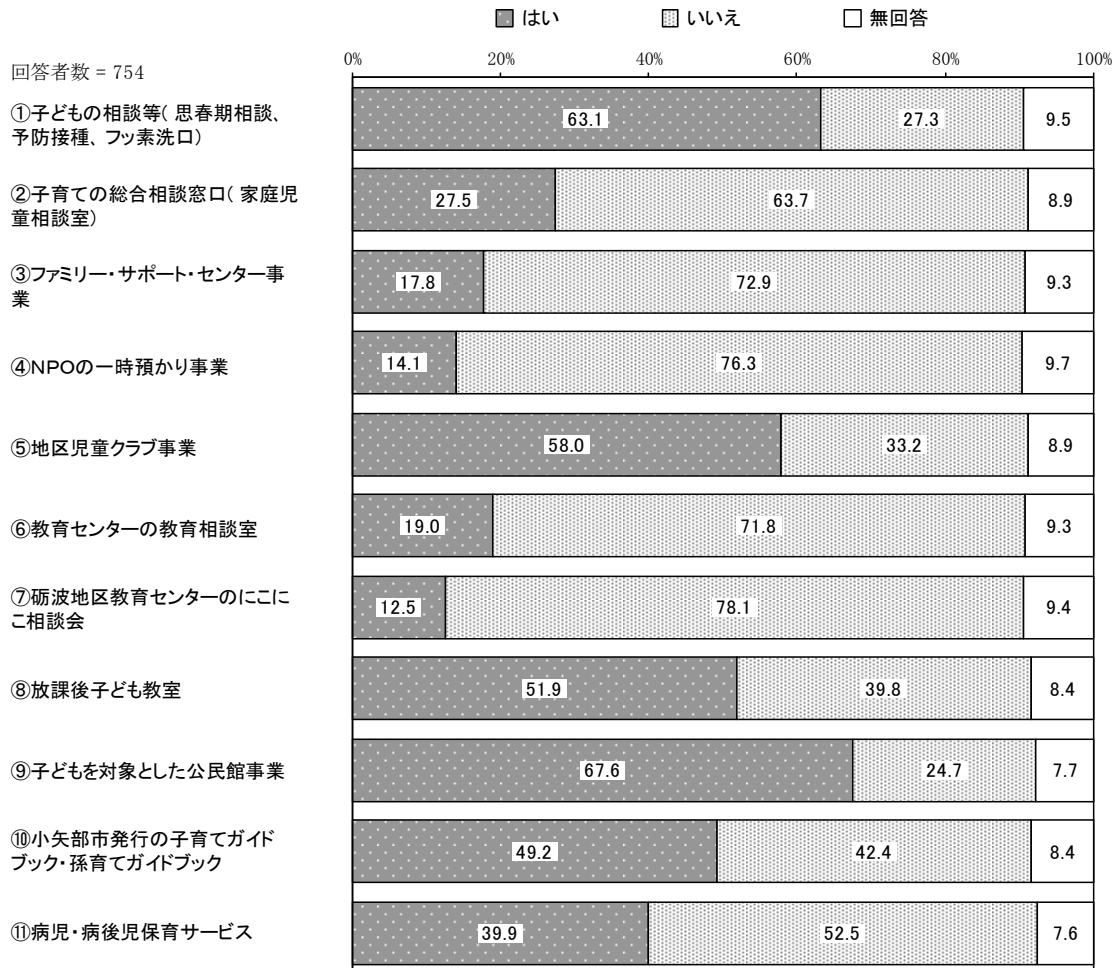
- ①子どもの相談等(思春期相談、
予防接種、フッ素洗口)
- ②子育ての総合相談窓口(家庭児
童相談室)
- ③ファミリー・サポート・センター事
業
- ④NPOの一時預かり事業
- ⑤地区児童クラブ事業
- ⑥教育センターの教育相談室
- ⑦砺波地区教育センターのにここ
相談会
- ⑧放課後子ども教室
- ⑨子どもを対象とした公民館事業
- ⑩小矢部市発行の子育てガイド
ブック・孫育てガイドブック



ウ 今後利用したい

今後利用したいをみると、他に比べ、子どもを対象とした公民館事業で「はい」の割合が、砺波地区教育センターのにこにこ相談会、NPOの一時預かり事業で「いいえ」の割合が高くなっています。

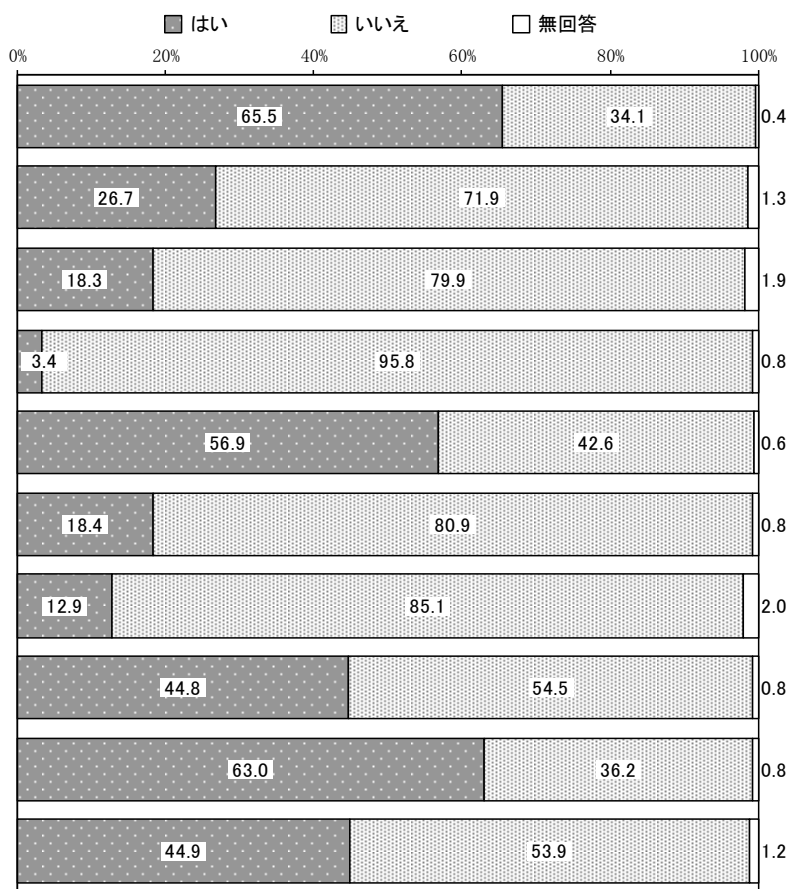
平成 25 年度調査と比較すると、NPOの一時預かり事業、放課後子ども教室で「はい」の割合が増加しています。一方、すべての事業で「いいえ」の割合が減少しています。



平成 25 年度調査

回答者数 = 909

- ①子どもの相談等(思春期相談、
予防接種、フッ素洗口)
- ②子育ての総合相談窓口(家庭児
童相談室)
- ③ファミリー・サポート・センター事
業
- ④NPOの一時預かり事業
- ⑤地区児童クラブ事業
- ⑥教育センターの教育相談室
- ⑦砺波地区教育センターのにこに
こ相談会
- ⑧放課後子ども教室
- ⑨子どもを対象とした公民館事業
- ⑩小矢部市発行の子育てガイド
ブック・孫育てガイドブック

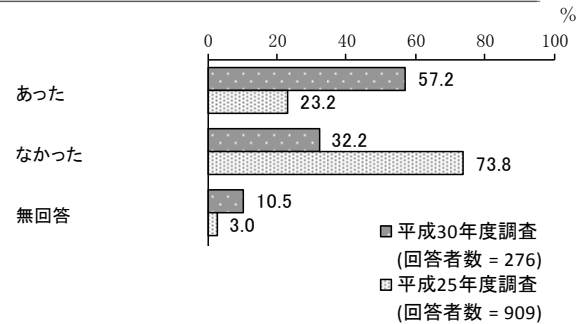


(9) お子さんの病気やケガの際の対応について

問 26 この1年間に、お子さんが病気やケガで定期的な保育事業が利用できなかったことはありましたか。当てはまる番号1つに をつけてください。

「あった」の割合が57.2%、「なかった」の割合が32.2%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「あった」の割合が増加しています。一方、「なかった」の割合が減少しています。



【学年別】

学年別でみると、他に比べ、3年生で「あった」の割合が、4年生で「なかった」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	あった	なかった	無回答
1年生	95	58.9	28.4	12.6
2年生	84	53.6	34.5	11.9
3年生	69	63.8	29.0	7.2
4年生	22	45.5	50.0	4.5

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではないで「あった」の割合が高くなっています。

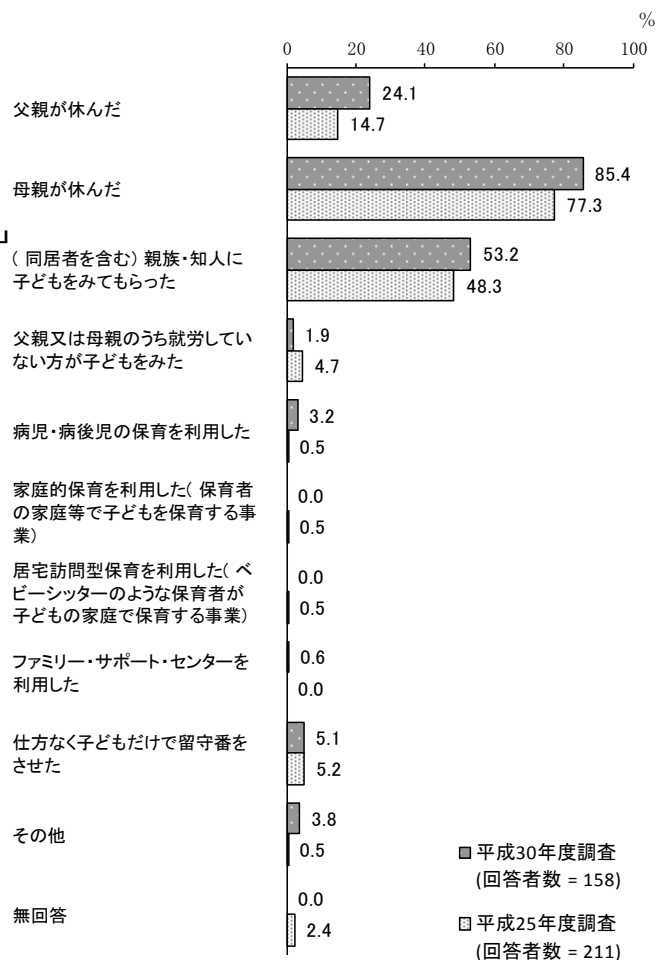
単位：%

区分	有効回答数(件)	あった	なかった	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	150	55.3	38.0	6.7
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	-	-	-	-
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	115	60.0	24.3	15.7
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	3	66.7	33.3	-
以前は就労していたが、現在は就労していない	1	-	100.0	-
これまで就労したことがない	-	-	-	-

問 26-1 あった場合、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに をつけ、それぞれの日数も 内に数字でご記入ください(半日程度の場合も1日と計算してください)。

「母親が休んだ」の割合が85.4%と最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が53.2%、「父親が休んだ」の割合が24.1%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「父親が休んだ」「母親が休んだ」の割合が増加しています。



【学年別】

学年別でみると、他に比べ、4年生で「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が、1年生から3年生で「母親が休んだ」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	父親が休んだ	母親が休んだ	(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した	家庭的保育を利用した(保育者の家庭等で子どもを保育する事業)	居宅訪問型保育を利用した(ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
1年生	56	21.4	87.5	57.1	-	1.8	-	-	-	5.4	5.4	-
2年生	45	28.9	86.7	53.3	4.4	4.4	-	-	2.2	2.2	-	-
3年生	44	25.0	86.4	47.7	-	2.3	-	-	-	6.8	4.5	-
4年生	10	20.0	70.0	60.0	10.0	-	-	-	-	10.0	-	-

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではないで「母親が休んだ」の割合が、フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではないで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	父親が休んだ	母親が休んだ	(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した	家庭的保育を利用した(保育者の家庭等で子どもを保育する事業)	子どもの家庭で保育する事業(ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)	居宅訪問型保育を利用した(在宅訪問型保育を利用した)	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	83	32.5	79.5	65.1	1.2	6.0	-	-	1.2	6.0	2.4	-	
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	69	15.9	91.3	43.5	2.9	-	-	-	-	4.3	4.3	-	
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	2	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
以前は就労していたが、現在は就労していない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
これまで就労したことがない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

対処方法

対処方法をみると、他に比べ、父親が休んだで「1日」の割合が、母親が休んだで「3日」の割合が高くなっています。

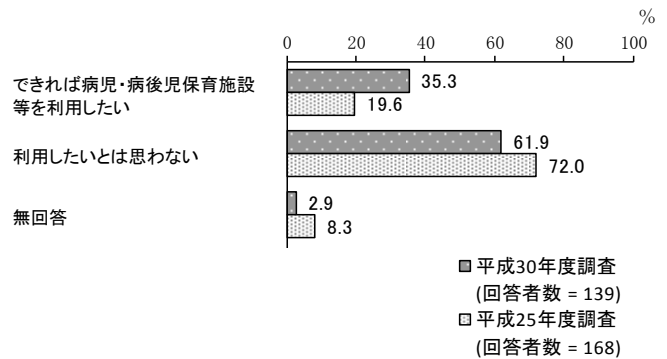
単位：％

区分	回答者数(件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日 ～ 15日	16日 ～ 20日	21日以上	無回答
父親が休んだ	38	50.0	28.9	10.5	2.6	5.3	-	-	-	-	-	-	-	-	2.6
母親が休んだ	135	12.6	15.6	17.0	5.9	17.8	0.7	4.4	0.7	-	8.9	3.0	2.2	0.7	10.4
(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	84	19.0	25.0	15.5	1.2	22.6	1.2	-	1.2	-	2.4	2.4	-	1.2	8.3
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	3	33.3	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-
病児・病後児の保育を利用した	5	20.0	-	-	20.0	-	-	-	20.0	-	-	20.0	-	-	20.0
家庭的保育を利用した	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
居宅訪問型保育を利用した	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ファミリー・サポート・センターを利用した	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	8	25.0	12.5	25.0	-	-	-	-	-	-	12.5	-	-	-	25.0
その他	6	33.3	16.7	16.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3

問 26-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに をつけてください。利用したいと思う場合は、望ましい事業形態について当てはまる記号すべてに をつけ、日数についても 内に数字でご記入ください。利用したいとは思わない場合は、その理由について当てはまる記号すべてに をつけてください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が 35.3%、「利用したいとは思わない」の割合が 61.9%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が増加しています。一方、「利用したいとは思わない」の割合が減少しています。



利用希望事業

利用希望事業をみると、他に比べ、他の施設で「5日」の割合が、小児科に併設した施設で子どもを保育する事業で「3日」の割合が高くなっています。

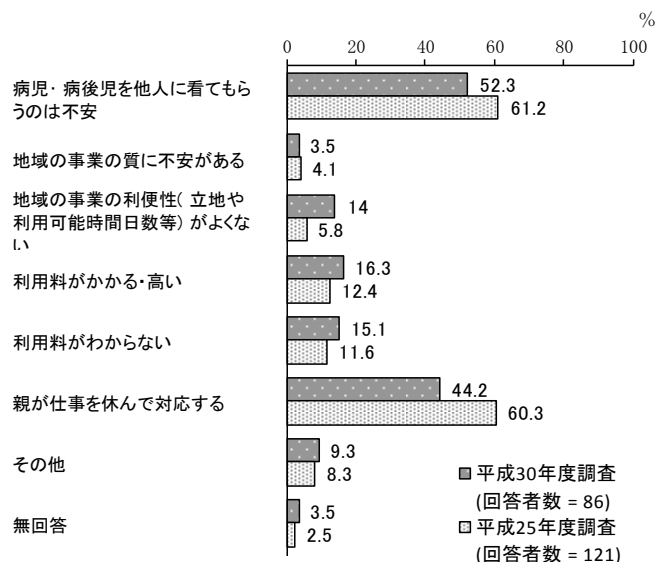
単位：%

区分	回答者数(件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日 15日	16日 20日	21日以上	無回答
他の施設	24	20.8	12.5	8.3	-	29.2	4.2	12.5	-	-	8.3	-	-	-	4.2
小児科に併設した施設で子どもを保育する事業	38	13.2	10.5	10.5	5.3	23.7	-	10.5	-	-	7.9	2.6	-	-	15.8
地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-

利用したいとは思わない

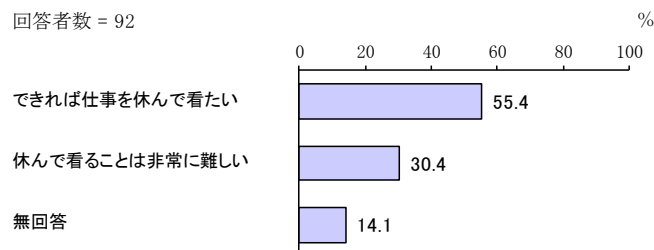
「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」の割合が 52.3%と最も高く、次いで「親が仕事を休んで対応する」の割合が 44.2%、「利用料がかかる・高い」の割合が 16.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「地域の事業の利便性(立地や利用可能時間日数等)がよくない」の割合が増加しています。一方、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」「親が仕事を休んで対応する」の割合が減少しています。



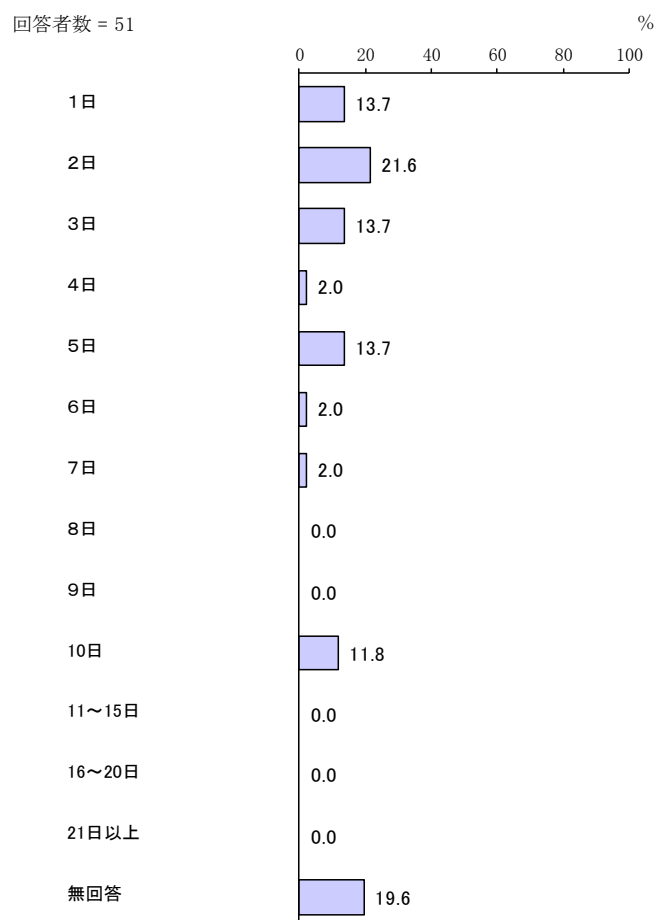
問 26-3 その際、「できれば仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに をつけ、仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください。「休んで看ることは非常に難しい」と思われた場合、その理由について当てはまる記号すべてに をつけてください。

「できれば仕事を休んで看たい」の割合が 55.4%、「休んで看ることは非常に難しい」の割合が 30.4%となっています。



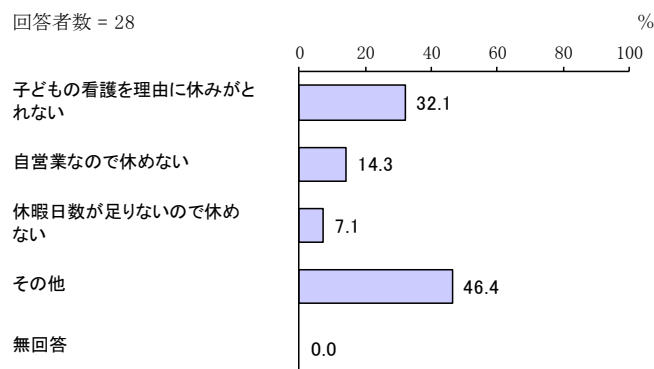
(ア) できれば仕事を休んで看たい

「2日」の割合が 21.6%と最も高く、次いで「1日」、「3日」、「5日」の割合が 13.7%となっています。



(イ) 休んで看ることは非常に難しい

「子どもの看護を理由に休みがとれない」の割合が 32.1%と最も高く、次いで「自営業なので休めない」の割合が 14.3%となっています。

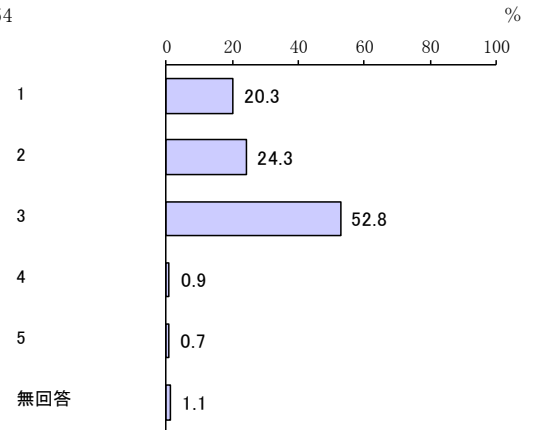


(10) 地域の子育て支援事業全般について

問 27 児童手当について、3歳未満児までは15,000円/月、3歳～小学生までは10,000円/月(第3子以降は15,000円/月)、中学生は10,000円/月が支給されていますが、支給額について当てはまる番号1つに をつけてください。(所得制限限度額以上の場合は特例給付5,000円/月が支給されます)

「3」の割合が52.8%と最も高く、次いで「2」の割合が24.3%、「1」の割合が20.3%となっています。

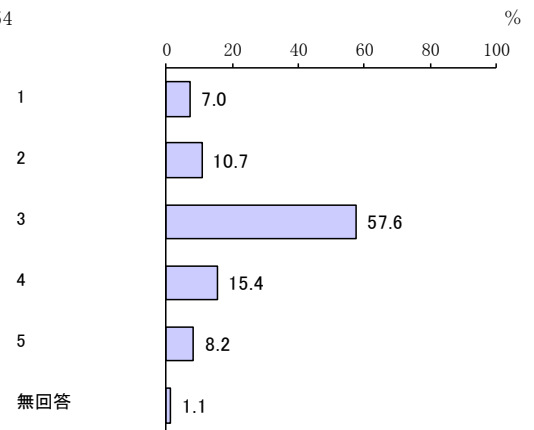
回答者数 = 754



問 28 小矢部市立の放課後児童クラブについて、平日は3,750円/月、土曜日は別途600円/月が利用に必要ですが、利用料金について当てはまる番号1つに をつけてください。

「3」の割合が57.6%と最も高く、次いで「4」の割合が15.4%、「2」の割合が10.7%となっています。

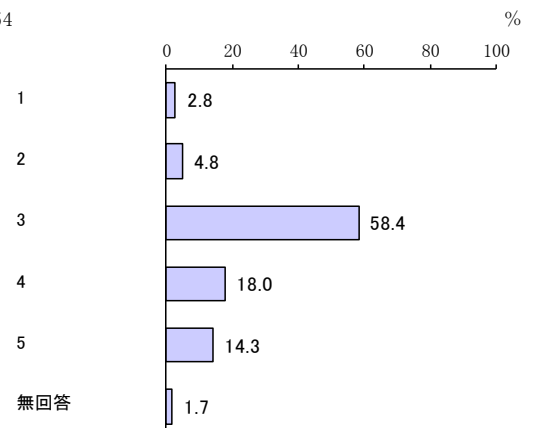
回答者数 = 754



問 29 ファミリー・サポート・センターについて、平日の7～19時までは700円/時間、それ以外は900円/時間が利用に必要ですが、利用料金について当てはまる番号1つに をつけてください。

「3」の割合が58.4%と最も高く、次いで「4」の割合が18.0%、「5」の割合が14.3%となっています。

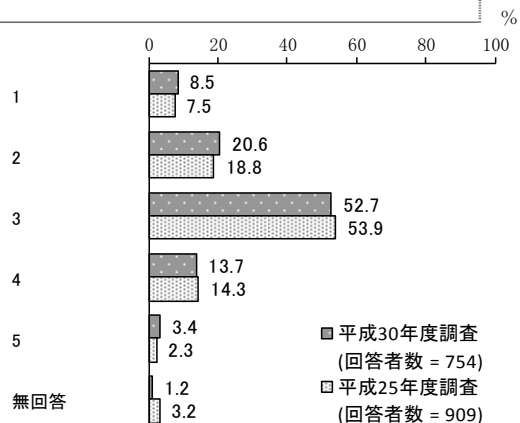
回答者数 = 754



問 30 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに をつけてください。

「3」の割合が52.7%と最も高く、次いで「2」の割合が20.6%、「4」の割合が13.7%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 31 子育て(教育を含む)をする上で、どのような地域の子育て支援施設やサービスが必要とお考えでしょうか。当てはまる番号すべてに をつけてください。

「子どもたちだけで安心して遊ぶことができる公園や児童遊園の整備」の割合が68.3%と最も高く、次いで「児童館等、子どもが自由にのびのび遊べる施設の充実」の割合が63.8%、「放課後・休日に児童が利用できる施設の充実」の割合が59.4%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「放課後・休日に児童が利用できる施設の充実」「児童館等、子どもが自由にのびのび遊べる施設の充実」「障がいのある子どもや虐待を受けている子どもに対する支援の充実」「男性も女性も仕事と子育てが両立しやすい環境の整備」「利便性のある居住環境の整備」「子育て家庭のための住宅施策の推進」の割合が増加しています。

